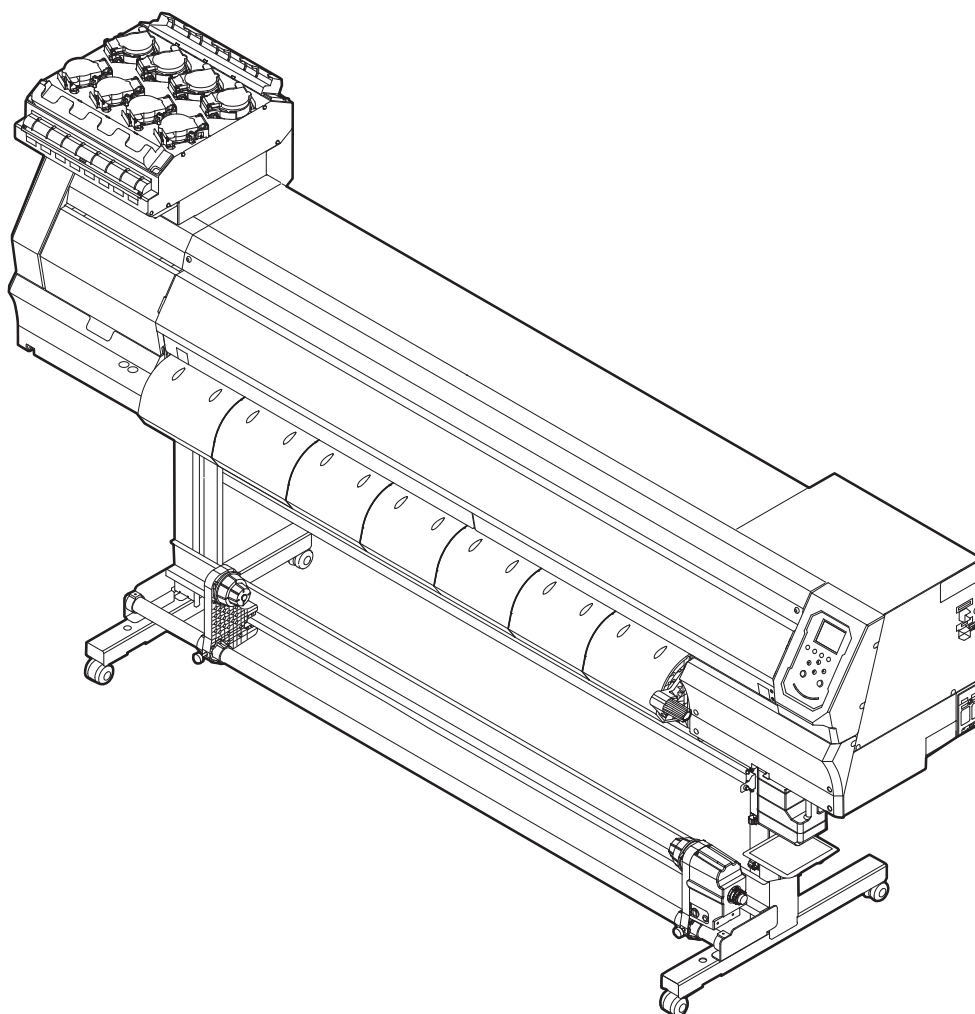


UV INKJET PRINTER

UJV100-160 ***UJV100-160Plus***

取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

<https://japan.mimaki.com/>

D203465-20

Original instructions

Operation Manual

目次

はじめに	5
安全にお使いいただくために	6
シンボルマーク表示について	6
使用上の警告と注意	7
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意 事項.....	11
インク仕様	12
インク消費有効期限に対する本機の制限について	12
設置上のご注意	14
設置スペース	15
本機を移設したいとき	15
安全インターロックについて	16
警告ラベル	17

第 1 章 ご使用の前に

1.1 各部の名称とはたらき	20
正面	20
背面/右側面	21
キャリッジ	22
キャッピングステーション	22
ピンチローラーとグリットローラー	22
プラテン	23
メディアセンサー	23
電源スイッチ	24
操作パネル	25
1.2 電源ケーブルを接続する	29
電源を入れる	29
電源を切る	30
1.3 本機とコンピューターを接続する	32
USBケーブルを使う	32
LANケーブルを使う	32
1.4 システム構成	34
Mimakiドライバーをインストールする	35
RIP用ソフトウェアをインストールする	35
カラープロファイルを入手する	35
RIP用ソフトウェアを準備する	35
1.5 インクの交換方法	37
インクニアエンドが表示されたとき	37
インクエンドが表示されたとき	37
インクを交換する	38

第 2 章 プリントしてみる

2.1 プリントの流れ	48
2.2 プリントヘッドの高さを調整する	51

2.3 メディアをセットする.....	53
メディアについて	53
巻き取りユニットについて.....	54
ロールメディアをセットする	56
2.4 テストプリントをする.....	60
テストプリントの配置方向を変更する.....	60
ホワイトインクの吐出を確認する.....	60
吐出不良について	61
2.5 ヘッドクリーニングをする.....	62
2.6 フィード補正をする	63
フィード補正の手順	63
2.7 ドット位置補正をする.....	65
ドット位置補正の手順.....	65
2.8 RIPデータを準備する.....	67
2.9 プリントする	69
原点を変更する.....	69
プリントを開始する	69
プリントを中止する（データクリア）	70
2.10 メディアを裁断する	71
2.11 引き戻し印刷について（UCJV100Plus）	72
トンボ付きの引き戻し印刷をする場合.....	72
トンボ検出に失敗した場合.....	73

第 3 章 各種設定

3.1 設定メニュー	78
設定タイプ名称の変更方法.....	80
3.2 メンテナンスメニュー	81
ノズルリカバリーを登録する	82
3.3 マシン設定メニュー	85
イベントメール機能の設定.....	88
3.4 ノズルチェックメニュー	90
3.5 情報メニュー	91

第 4 章 メンテナンス

4.1 メンテナンスに関するご注意	94
-------------------------	----

4.2 メンテナンスの方法	95
メンテナンス項目とタイミング	95
インクのメンテナンス	96
ホワイトインクのメンテナンス	96
ワイパーの清掃	97
キャップゴムの清掃	98
NCUの清掃	99
キャリッジ底面の清掃	100
自動補正センサー（DAS）の清掃	101
インク排出経路の洗浄	102
メディアセンサーの清掃	103
メディア押さえの清掃	104
プラテンの清掃	104
カバー（外装）の清掃	105
長期間使用しないときは	105
4.3 消耗品の交換	108
ワイパーの交換	108
キャップの交換	109
キャップ吸収材の交換	110
LEDガラスの交換	112
ピンチローラーの交換	113
メディア押さえの交換	113
メディア裁断カッターの交換	116
廃インクタンクの交換	117

第 5 章 困ったときは

5.1 故障かな?と思ったときは	122
電源が入らない	122
プリントできない	122
メディア詰まり、メディアが汚れる	122
画質不良が発生した	123
インクが漏れた	125
遮光カバーが外れてしまった	125
5.2 メッセージを表示するトラブル	127
ワーニングメッセージ	127
インクエラー	129
インクICチップ登録画面で表示されるメッセージ	129
エラーメッセージ	130
SYSTEM HALT	135

第 6 章 付録

6.1 仕様	138
6.2 LICENSE Library (EPL5 StarterWare)	140

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター UJV100-160, UJV100-160plusをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

RasterLinkは、株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2020 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- UJV100-160, UJV100-160plus（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害が発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることで試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

● 電波障害自主規制

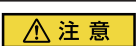
本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警告



- ・ 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注意



- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったら、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- ・ 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気のある場所へ移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・ すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110 番に相談してください。
（大阪）072-727-2499 24時間対応
（つくば）029-852-9999 9～21時対応

注 記



- ・ インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

⚠ 警告



- 付属の電源ケーブルを使用してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。なお、本機以外の電気機器には使用できません。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

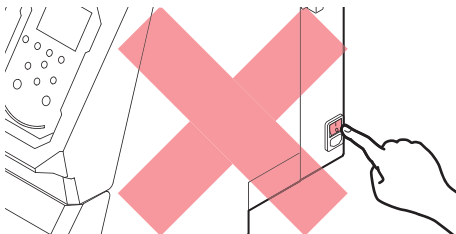


- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

注 記



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に差し込んでください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● 可動部に注意してください

 注意

- ・顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。



- ・長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

 警告

- ・本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● カッターの取り扱いについて

 注意

- ・カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。

● 紫外線（UV）、UV-LEDユニットについて

 警告

- ・UV-LEDユニットの下に可燃物を置いたり、紙や布でUV-LEDユニットを覆ったりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。
- ・UV-LEDユニットから、微量の紫外線が漏れてしまうことがあります。目や皮膚に紫外線を浴びないように、UV遮光メガネや遮光面、マスク、手袋、長袖の服を着用してください。
 - (1) 皮膚に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。炎症を起こさない場合でも、長期間、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - ・急性障害：炎症など
 - ・慢性障害：皮膚がん、シワ、シミなど
 - (2) 点灯中のライトを肉眼で見た場合、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。目の痛みを起こさない場合でも、長期、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - ・急性障害：紫外線角膜炎、結膜炎、異物感、とう痛、涙が流れるなど
 - ・慢性障害：翼状片、白内障など

 注意

- ・UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- ・UV-LEDユニットの光を皮膚や目に直接、または間接的にあてないでください。UV-LEDユニットは、紫外線（UV）を発生させています。光を皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。



- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。

注 記



- UV-LEDユニットに無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。変形や故障の原因になります。
- UV-LEDユニットの下面についているガラスは、素手で触れないでください。UV インクの硬化が低下する原因になります。汚れが付着したときは、エタノールを含ませた清潔な柔らかい布で拭いてください。その際、カバーや他の部品にエタノールを付着させないように注意してください。変形や故障の原因になります。

● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警 告



- 本機に子供を近づけないでください。

注 記



- クランプレバーが下がっている（メディアが保持されている）ときは、メディアを強く引っ張らないでください。本機が故障する原因になります。

重要!

- プリント済みメディアの保管状態（巻き取ったメディアの平置きによる荷重など）やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。

● 本機の廃棄について

⚠ 注 意



- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。<https://japan.mimaki.com/supply/sds/>

⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注 記



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



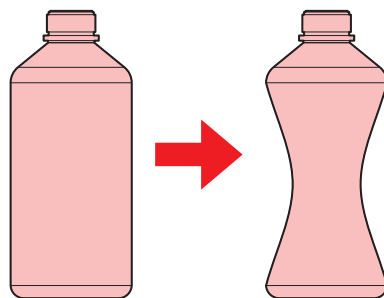
- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。
 - (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
 - (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
 - (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。



- ・ インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。



- ・ 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。
- ・ 本機にセットしているインクボトルがへこんでしまっても、使用上問題ありません。



インク仕様

項目		内容
種類		専用UV硬化インク（弊社純正品）
カラー		シアン（C） マゼンタ（M） イエロー（Y） ブラック（K） ホワイト（W） クリアインク（CL）
形態		ボトル
インク容量		1,000 ml
消費有効期限		インクボトルに記載されているとおり。 ただし、開封後は消費有効期限内であっても3か月以内。
保存温度	保存時	5 - 30℃（1日の平均気温） ただし、30℃の場合1か月以内 ・ 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。
	輸送時	1 - 60℃ ただし、60℃の場合120 時間以内、40℃の場合1か月以内 ・ 0℃より低温になる場所、40℃より高温になる場所は、できる限り避けること。 ・ 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。

インク消費有効期限に対する本機の制限について

例）消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- ・ 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- ・ 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- ・ 同年7月：プリントすることができません。



- ・ ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。

重要!

- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

設置上のご注意

⚠ 警告



- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

⚠ 注意



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
 - (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
 - (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注記



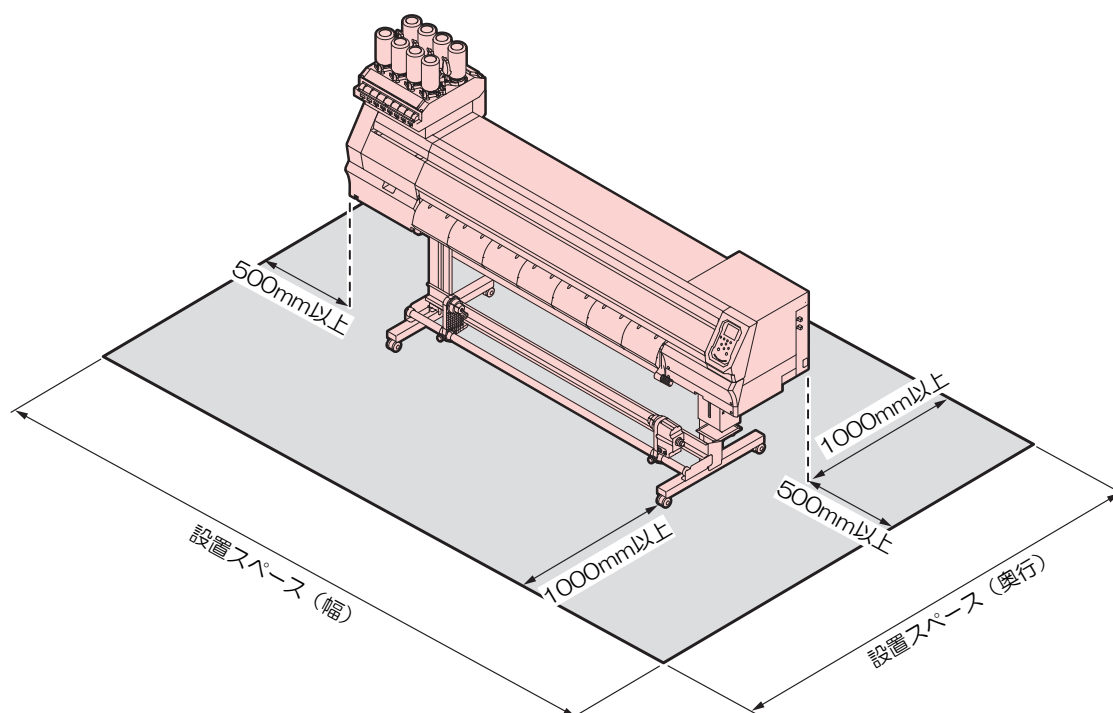
- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風が当たる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満してたりする場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。



項目	UJV100-160
幅 ^{*1}	3,775 mm以上 (2,775 mm)
奥行き ^{*1}	2,700 mm以上 (700 mm)
高さ ^{*1, *2}	(1,475 mm)
重量	167 kg

*1. () 内は、本機のサイズ

*2. インクボトルの高さを除く

本機を移設したいとき

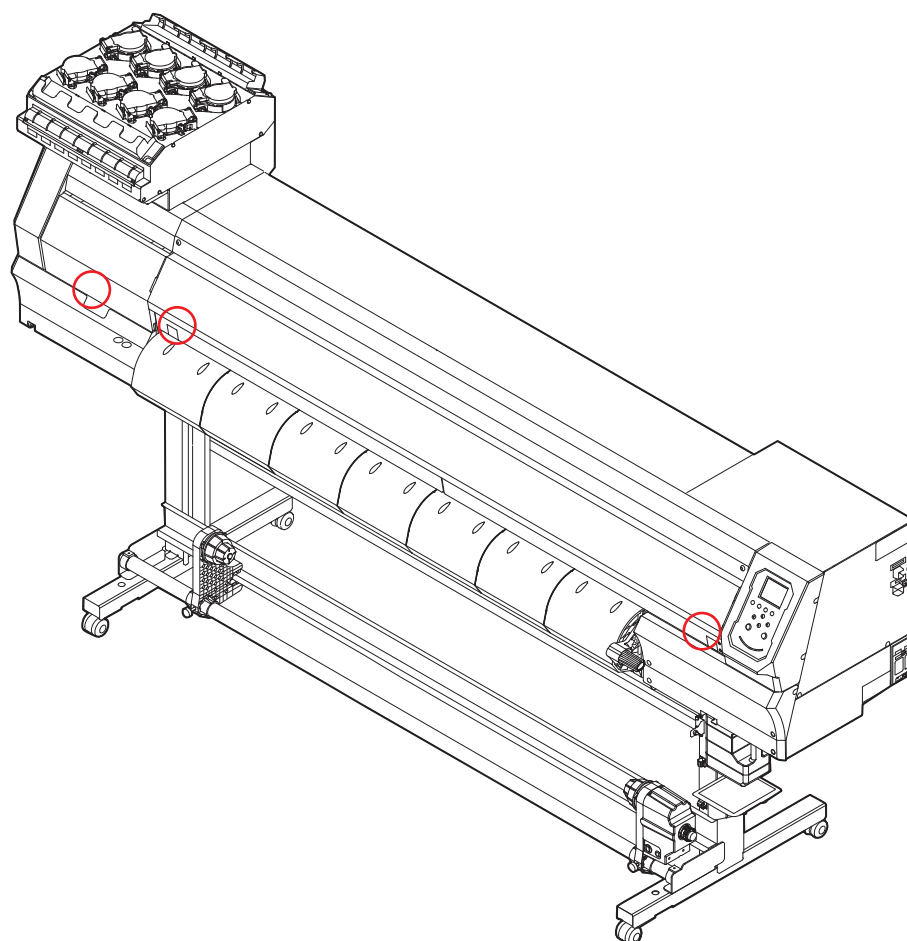
販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

安全インターロックについて

本機は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。

プリント実行中にカバーを開けるとプリントが中断されます。再度RIPデータの受信が必要になります。

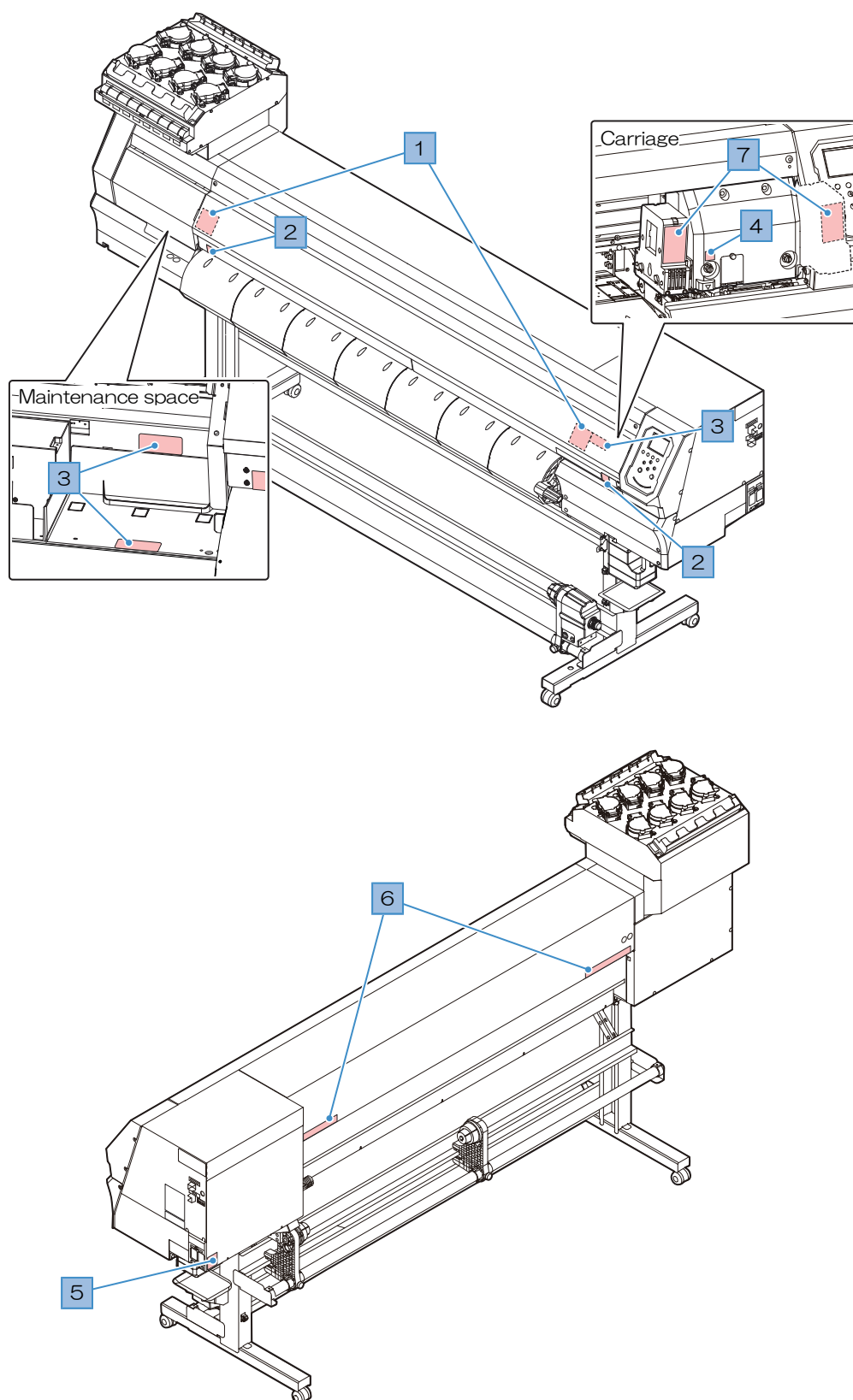
- インターロック設置場所



警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル	内容
1	M910931		カバーの開閉に注意してください。手を挟むとケガをするおそれがあります。
2	M907833		危険な可動部を示しています。
3	M903330		作業中に保護メガネや手袋を着用してください。
4	M903405		カッターに注意してください。
5	M907935		危険な電圧部を示しています。
6	M905811		危険な可動部を示しています。
7	M913419		紫外線に注意してください。
8	M906144		高温部を示しています。 (この銘板はオプションに貼られています。)

第1章 ご使用の前に



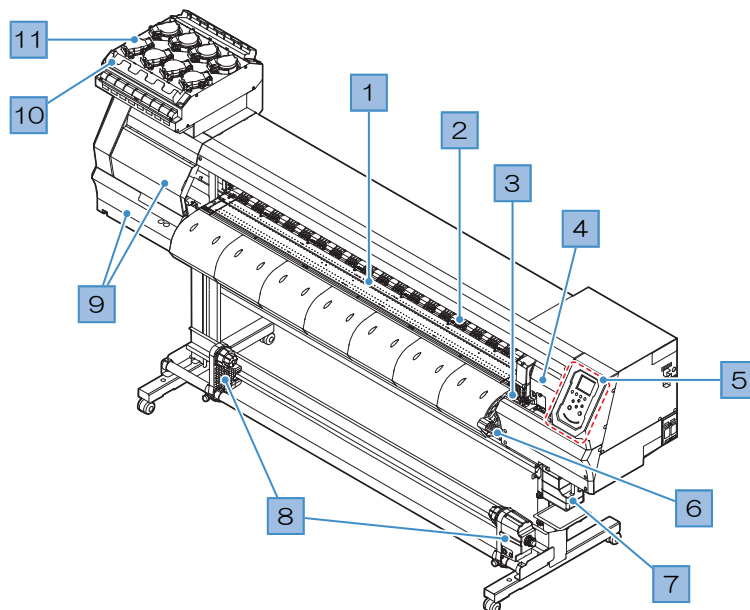
この章では...

各部の名称など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

各部の名称とはたらき.....	20	本機とコンピューターを接続する	32
正面	20	USBケーブルを使う	32
背面/右側面	21	LANケーブルを使う	32
キャリッジ	22	システム構成	34
キャッピングステーション	22	Mimakiドライバーをインストールする	35
ピンチローラーとグリットローラー	22	RIP用ソフトウェアをインストールする	35
プラテン	23	カラープロファイルを入手する	35
メディアセンサー	23	RIP用ソフトウェアを準備する	35
電源スイッチ	24	インクの交換方法	37
操作パネル	25	インクニアエンドが表示されたとき	37
電源ケーブルを接続する	29	インクエンドが表示されたとき	37
電源を入れる	29	インクを交換する	38
電源を切る	30		

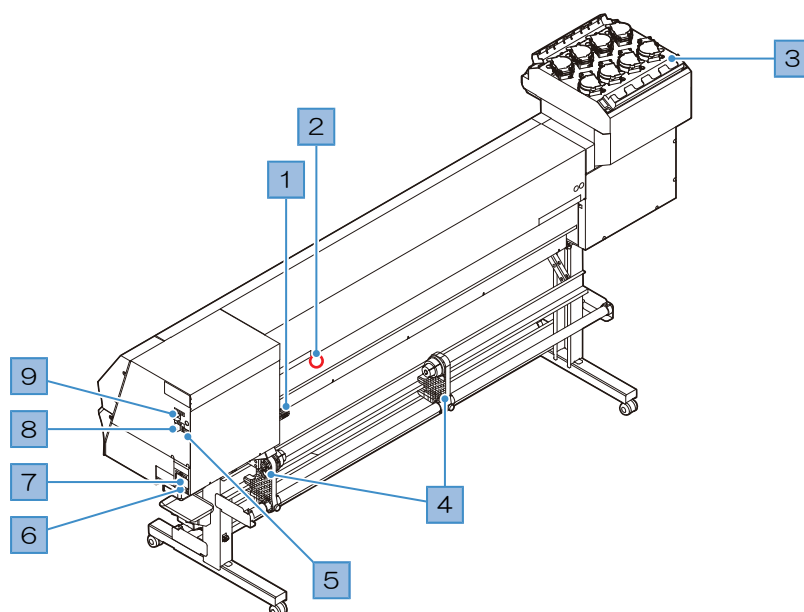
1.1 各部の名称とはたらき

正面



No.	名称	概要
1	プラテン	プリントするエリアです。☞「 プラテン 」(P. 23)
2	ピンチローラー グリットローラー	ピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえてフィードしています。☞「 ピンチローラーとグリットローラー 」(P. 22)
3	キャッピングステーション	キャップやワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。☞「 キャッピングステーション 」(P. 22)
4	キャリッジ	プリントヘッドやUV-LEDライト、ジャムセンサー、メディア裁断カッターなどで構成されています。☞「 キャリッジ 」(P. 22)
5	操作パネル	各種設定や項目を表示するディスプレイ、操作キーが付いています。☞「 操作パネル 」(P. 25)
6	クランプレバー（前）	クランプレバーを下げるとメディアが保持され、クランプレバーを上げるとメディアが開放されます。
7	廃インクタンク	廃インクを溜める容器です。☞「 廃インクタンクの交換 」(P. 117)
8	巻き取りユニット	プリントされたロールメディアを巻き取ります。☞「 巻き取りユニットについて 」(P. 54)
9	メンテナンスカバー	カバーを開けて、キャリッジ底面をメンテナンスします。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。
10	インクふき取りフィルター	ボトルキャップに付いたインク滴を吸い取るためのフィルターです。
11	インク供給ユニット	インクボトルを挿し込んで、プリントヘッドにインクを供給します。☞「 インクの交換方法 」(P. 37)

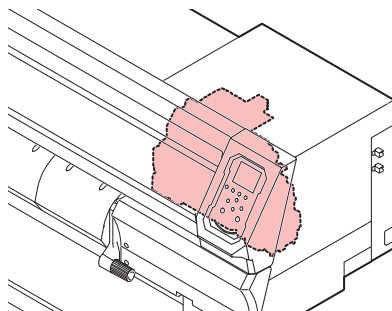
背面/右側面



No.	名称	概要
1	クランプレバー（後）	前面にあるクランプレバーと連動しています。
2	メディアセンサー	メディアの有無を感知しています。🔗 「メディアセンサー」 (P. 23)
3	インクふき取りフィルター	ボトルキャップに付いたインク滴を吸い取るためのフィルターです。
4	繰り出しユニット	プリントする前のロールメディアを取り付けます。2インチと3インチの紙管に対応しています。
5	インクICチップスロット	インクボトルに付属しているインクICチップを挿し込んで、インクボトルの情報を登録します。🔗 「インクを交換する」 (P. 38)
6	ACインレット	付属されている電源ケーブルを使用してください。🔗 「電源ケーブルを接続する」 (P. 29)
7	主電源スイッチ	本機の主電源です。プリントヘッドの吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を防止するため、主電源は切らないでください。🔗 「電源を入れる」 (P. 29) 🔗 「電源を切る」 (P. 30)
8	LANポート	ネットワーク機能をお使いになるときに使用します。🔗 「LANケーブルを使う」 (P. 32)
9	USBポート	USBインターフェイスケーブルでコンピューターと接続します。🔗 「USBケーブルを使う」 (P. 32)

キャリッジ

キャリッジは、インクを吐出するプリントヘッド、UVインクを硬化するUV-LEDライトとメディアが詰まったときにキャリッジを停止させるジャムセンサーなどで構成されています。左右にスキャンしながらインクを吐出して、プリントしています。

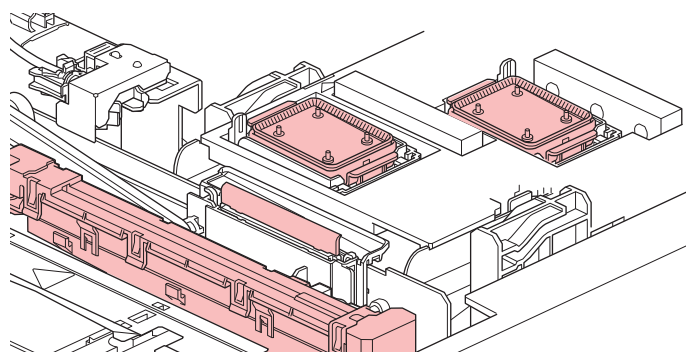


- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。

キャッピングステーション

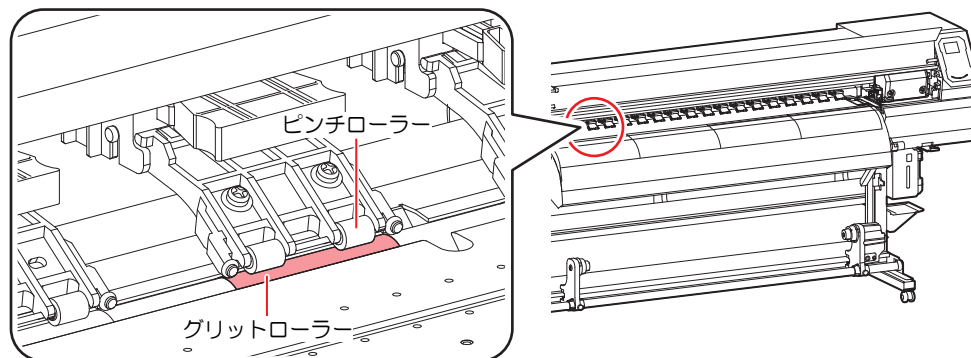
キャッピングステーションは、プリントヘッドのノズル面の乾燥を防止するキャップやプリントヘッドのメンテナンスに必要なワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。

NCU（Nozzle Check Unit）は、ノズル詰まりがあるかどうかを自動でチェックするユニットです。各種機能を設定すれば、プリントヘッドの自動クリーニングや別のノズルを使ってプリントさせることができます。🔊「ノズルチェックメニュー」（P. 90）🔊「ノズルリカバリーを登録する」（P. 82）



ピンチローラーとグリットローラー

ピンチローラーとグリットローラーで押さえて、メディアをフィードしています。



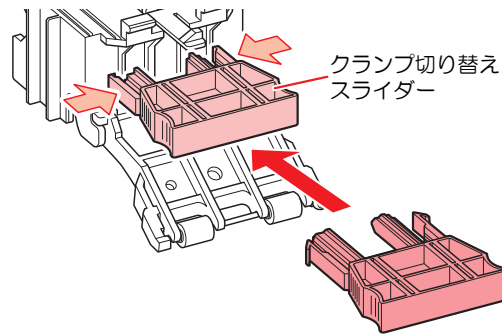


本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

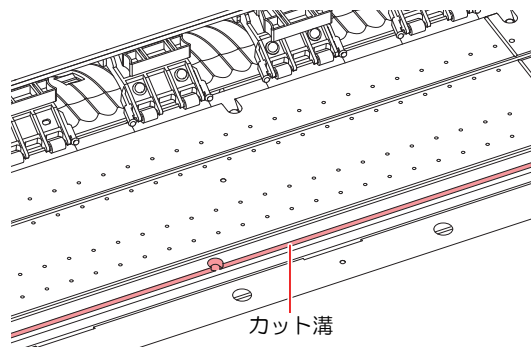


- クランプ切り替えスライダーは、左右のメディア端のピンチローラーに取り付けて使用します。クランプ切り替えスライダーを取り付けると、ピンチローラーを上げることができます。左右のメディア端を押さえないことで、安定してメディアをフィードさせることができます。



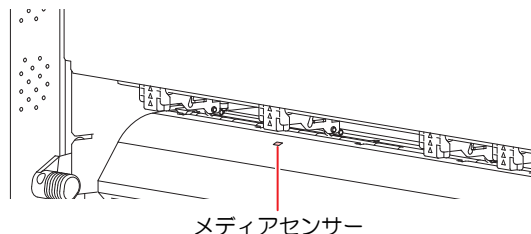
プラテン

プリントするエリアです。プラテンは、メディアを吸着してメディアの浮きを抑えています。またメディアを裁断するカット溝があります。



メディアセンサー

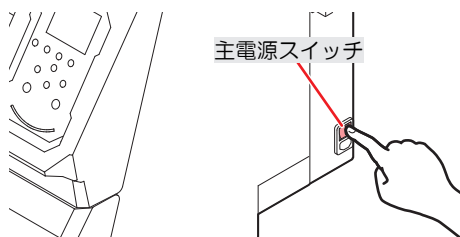
メディアセンサーは、メディアの有無を検出しています。メディアがセンサーを覆い隠していると、メディア幅を検出することができます。



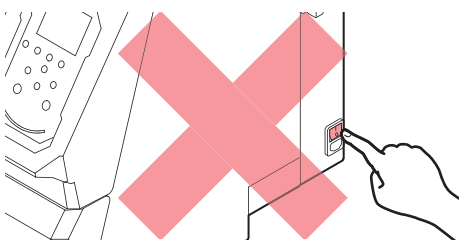
電源スイッチ

● 主電源スイッチ

本機の右側面にあります。

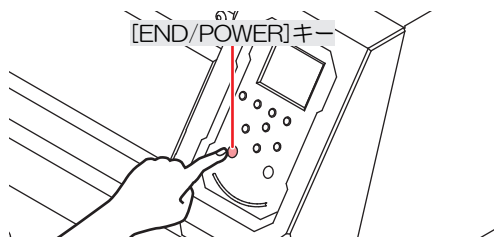


- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



● [END/POWER]キー

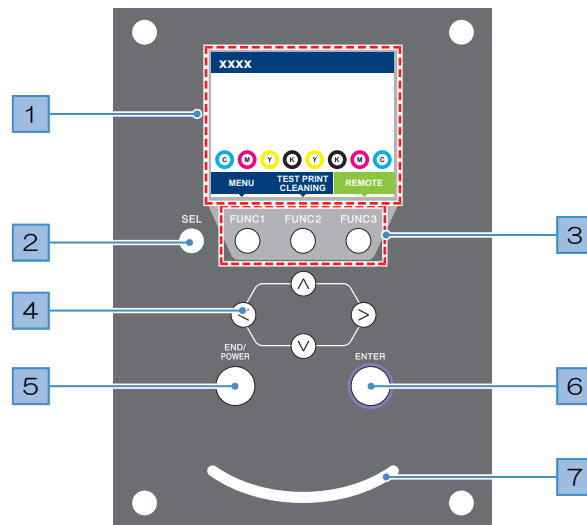
通常の電源オン/オフは、[END/POWER]キーを使用します。



- 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

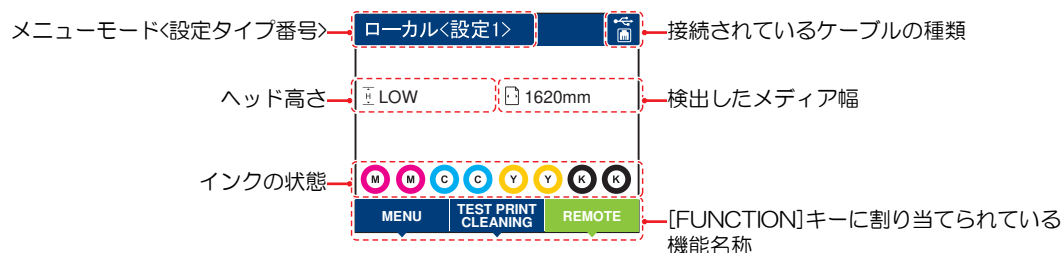
操作パネル

設定や各種操作をすることができます。



No.	名称	概要																
1	ディスプレイ	☞ 「ディスプレイ」 (P. 26)																
2	[SEL]キー	[FUNCTION]キーの機能を切り替えます。																
3	[FUNCTION]キー	テストプリントしたり、ヘッドクリーニングしたり、各種設定などしたりするときに使用します。☞ 「[FUNCTION]キー」 (P. 27)																
4	[JOG]キー ▲▼◀▶	キャリッジを移動したり、メディアをフィードしたり、各種設定の項目選択したりするときに使用します。																
5	[END/POWER]キー	直前に入力した設定をキャンセルしたり、設定メニューを1つ前の階層に戻したり、また電源をオン/オフしたりするときに使用します。 - 電源がオンのときは、青色に点灯しています。☞ 「電源を入れる」 (P. 29) - 電源をオフにしたいときは、長押ししてください。☞ 「電源を切る」 (P. 30)																
6	[ENTER]キー	次の階層メニューに移動したり、設定を確定したりするときに使用します。また、本機の情報を表示させることができます。☞ 「本機の情報を表示する (ローカルガイダンス)」 (P. 28)																
7	ステータスランプ	本機の状態をランプでお知らせします。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2">消灯</td><td>ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">水色</td><td>点灯</td><td>リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。</td></tr> <tr> <td>点滅</td><td>プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。</td></tr> <tr> <td>青色</td><td>点灯</td><td>プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">赤色</td><td>点滅</td><td>エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 130)</td></tr> <tr> <td>点灯</td><td>システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 135)</td></tr> </table>	消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。	水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。	点滅	プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。	青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。	赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 130)	点灯	システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 135)
消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。																
水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。																
	点滅	プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。																
青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。																
赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 130)																
	点灯	システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 135)																

ディスプレイ



メニューモード

4つのメニューモードがあります。

名称	概要
ローカルモード	テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定します。
リモートモード	コンピューターから受信したプリントデータをプリントします。
メニューモード	ローカルモード画面から[MENU]を押すと、メニューモードになります。各種機能を設定します。
ノットレディモード	メディアを検出する前の状態です。

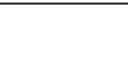
インクの状態

インクの残量やエラーなど、インクボトルの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	概要							
	インクの残量を9段階のアイコンでお知らせします。							
	フル	1/8消費	1/4消費	3/8消費	1/2消費	5/8消費	3/4消費	7/8消費
	インクニアエンドになると表示されます。インクの残りがわずかになっていますので、新しいインクを準備してください。							
	プリントすることができません。インクエンドやインクエラーになると表示されます。🔊 「インクエラー」 (P. 129)							
	インクの消費有効期限が切れる则表示されます。新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。🔊 「インク消費有効期限に対する本機の制限について」 (P. 12)							

[FUNCTION]キー

[FUNCTION]キーに割り当てられている機能と役割を説明します。

アイコン	概要
	各種メニュー画面を表示します。☞ 「各種設定」 (P. 77)
	テストプリント、クリーニングなどのメンテナンス画面を表示します。
	ローカルモードからリモートモードに移行します。
	フィード補正、ドット位置補正などの調整画面を表示します。
	受信データをクリアします。
	リモートモードからローカルモードに移行します。
	メディアを裁断したいときに使用します。
	各種メニュー画面で、前の画面へ移動します。
	各種メニュー画面で、次の画面へ移動します。
	メッセージが表示された場合など、確認画面を終了します。
	各種機能を無効にします。
	機能が割り当てられています。設定や機能を表示します。
	複数ある項目の有効/無効を切り替えます。

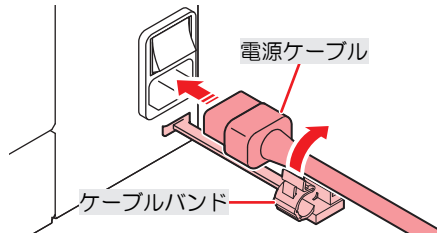
本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すごとに、以下の情報を表示させることができます。

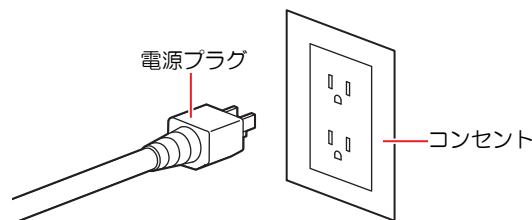
- インク情報：インク種類、インク残量、インクエラーが表示されます。
- インクICチップ登録情報：インクICチップの登録されている情報が表示されます。
- ワーニング：発生しているすべてのワーニングが表示されます。
- 情報：メディア幅、ヘッド高さ、本機シリアルNo.、ファームウェアバージョン、コマンドバージョン、LAN 接続状態が表示されます。
- ノズルチェック：ノズルチェックで検出したノズル詰まりしているノズル数が表示されます。

1.2 電源ケーブルを接続する

- 1 主電源が切れているかどうかを確認する。
- 2 本機にケーブルバンドを挿し込む。
- 3 本機のインレットに電源ケーブルを挿し込む。
- 4 ケーブルバンドに電源ケーブルを固定する。
 - ・ クランプに電源ケーブルを通して、「カチッ」と音がするまでクランプしてください。



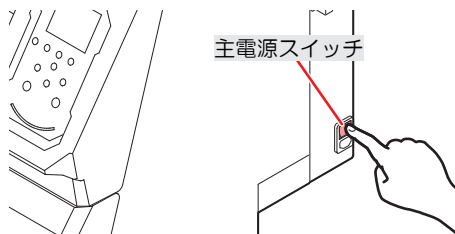
- 5 コンセントに電源プラグを挿し込む。



・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

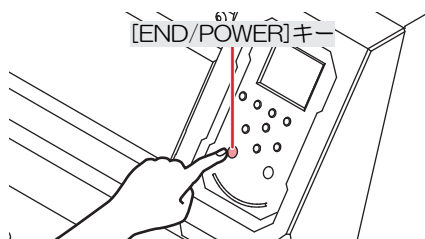
電源を入れる

- 1 主電源が入っていることを確認する。
 - ・ 主電源が入っていない場合は、主電源を「I」側に倒します。



2 [END/POWER]キーを押して、電源を入れる。

- ディスプレイにファームウェアのバージョンが表示されて、初期動作が実行されます。そのあと、ローカルモードになって本機を使用することができます。



- 本機に使われているインクは温めてから吐出をしています。インクの加温制御中は、プリントやクリーニングすることはできませんのでご了承ください。

3 接続しているコンピューターの電源を入れる。



- 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

電源を切る

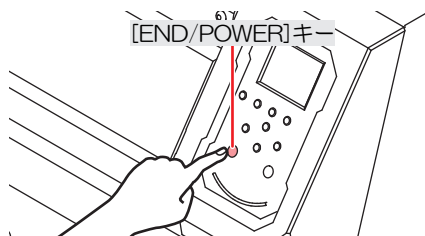


- 電源を切るときは、以下を確認してください。
 - 正面カバーやメンテナンスカバーが閉じていること。
 - カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。
 - キャッピングステーションにキャリッジが戻っていること。
 - プリントヘッドのノズル面が乾燥して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
 - データを受信していないこと。
 - エラーが発生していないこと。
 - 🖨️ 「メッセージを表示するトラブル」 (P. 127)

1 接続しているコンピューターの電源を切る。

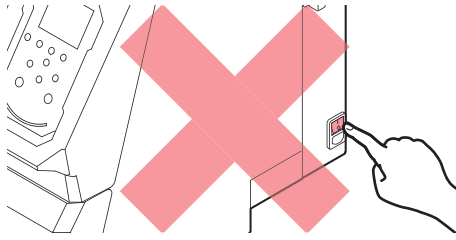
2 [END/POWER]キーを長押しする。

- 電源OFF確認画面が表示されます。[ENTER]キーを押すと、電源が切れます。





- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



1.3 本機とコンピューターを接続する

USBケーブルを使う

USBインターフェースケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。



- ・データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。



- ・USBインターフェースに対応しているRIP用ソフトウェアを使用してください。



- ・コンピューターにUSBポートが付いていない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

USB接続についての注意事項

● 1台のコンピューターに複数のUJV100-160を接続する場合

UJV100-160を正常に認識できないおそれがあります。

複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートでも本機を認識できるかどうかを確認してください。USBポートを差し替えても認識しない場合は、市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。

● USBケーブルを延長する場合

市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。ただし、USBケーブルとUSBアクティブリピーターケーブルの総距離が、20m以下になるようにしてください。

USBケーブルで延長した場合、本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USBハイスピードモードの周辺機器について

本機を接続しているコンピューターにUSB ハイスピードモードの周辺機器（USB メモリ、USB-HDDなど）を接続しても認識できないおそれがあります。また、外付けのUSB ハードディスクドライブなどを接続すると本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USBメモリーの抜きかた

本機を接続しているコンピューターからUSBメモリーを抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。[ERROR **コマンドエラー] 発生の原因になります。

LANケーブルを使う

LANケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。カチッと音がするまでLANケーブルを差し込んでください。



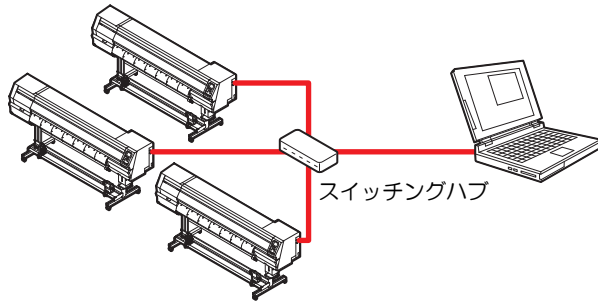
- ・データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

● イーサネット経由で接続するときの注意事項

イーサネットを以下の環境で構築してください。環境が適正でないとプリントすることができません。

- ・カテゴリ6以上のLANケーブルを使用してください。

- 本機とプリントデータを転送するコンピューターは、同じイーサネットに設定してください。ルーターを経由した接続はできません。
- 1000BASE-T対応のコンピューター、スイッチングハブを使用してください。未対応の場合はプリントすることができません。



● LAN接続確認方法

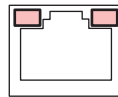
1 本機のディスプレイを確認する。

- ローカルガイダンスで確認することができます。🔍 「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 28）
- “100Mbps”、“10Mbps”、“接続なし”と表示されている場合は、プリントすることができません。イベントメールは、使用することができます。🔍 「イベントメール機能の設定」（P. 88）



2 LANコネクターのランプを確認する。

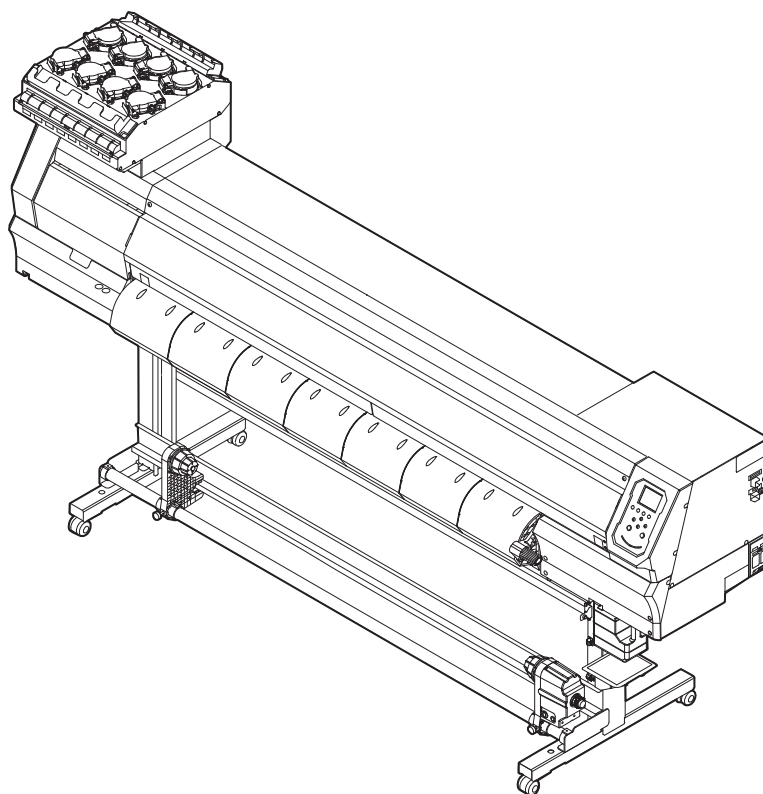
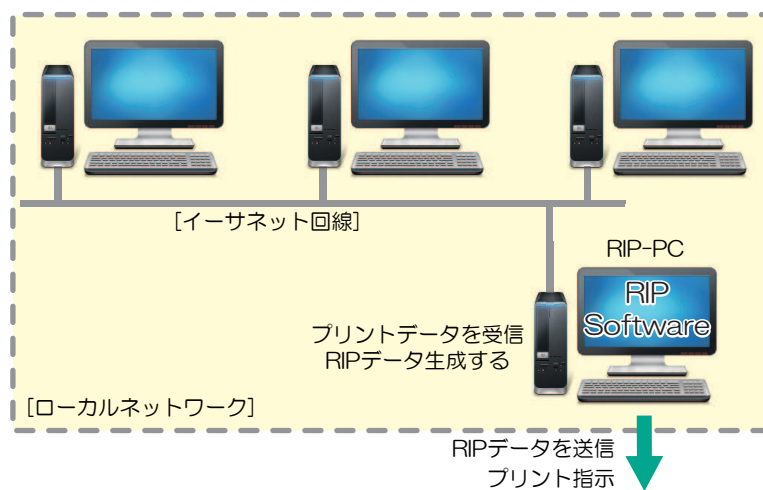
- 本機が起動しているとLAN コネクターのランプが点灯します。



色	状態	概要
緑	点灯	1000BASE-Tで接続されています。
	消灯	1000BASE-T以外で接続されています。 • 橙ランプだけが点灯、もしくは点滅している場合、1000Mbpsに対応していません。コンピューターや周辺機器、ケーブルの仕様を確認してください。
橙	点灯	リンクアップ（接続されています）。
	点滅	データを受信中です。
	消灯	リンクダウン（接続されていません）。

1.4 システム構成

IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで作成したプリントデータを、RIP用ソフトウェアを使ってプリントの指示をします。



Mimakiドライバーをインストールする

1 弊社ウェブサイトから、Mimakiドライバーをダウンロードする。

- <https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>
[UJV100-160, UJV100-160plus] > [ドライバ/ユーティリティ]

2 MIMAKIドライバーをインストールする。

RIP用ソフトウェアをインストールする

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

1 “RasterLink”をインストールする。

- インストールされている場合は、コンピューターのデスクトップ上に以下のアイコンが表示されています。



- 詳しくは、“RasterLink”のインストールガイドをご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>



- インストールしたあとに、RasterLinkのライセンス認証を完了させてください。“プロファイルアップデート”を起動することができません。

カラープロファイルを手にする

メディアやインクセットによって、プリント品質（色み、にじみなど）が、変わってしまいます。メディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択することで、プリント品質を一定に保つことができます。

- RasterLinkシリーズではインターネットから直接カラープロファイルをダウンロードして、インストールする機能を提供しています。詳しくはRasterLinkシリーズのインストールガイド「プロファイルのインストール」をご覧ください。
<https://japan.mimaki.com/download/software.html>
[ご使用のRasterLinkシリーズ] > [マニュアル]
- 弊社ウェブサイトでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）のカラープロファイルを提供しています。
<https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>
[UJV100-160, UJV100-160plus] > [プロファイル]

RIP用ソフトウェアを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

1 “RasterLink”を起動する。

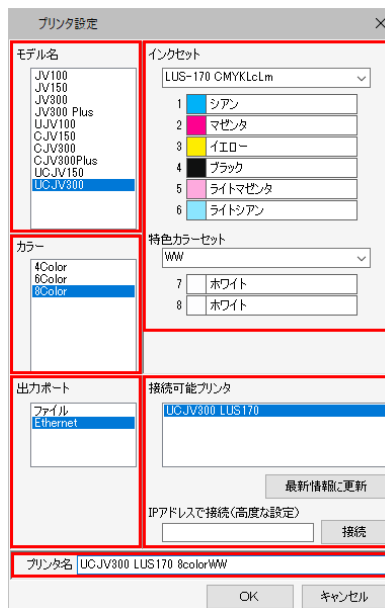
- [プリンタ管理]画面が表示されます。
- 新たに機種を追加したいときは、“RasterLink”を起動した後に、[環境設定] > [プリンタ管理]から、登録することができます。

2 UJV100-160, UJV100-160plusを登録する。

(1) [追加]をクリックする。



(2) UJV100-160, UJV100-160plusの情報を設定する。



- モデル名：モデルを選択
 - カラー：充填されているインクセットを選択
 - 出力ポート：接続しているケーブルを選択
 - 接続可能プリンタ：接続しているUJV100-160, UJV100-160plusを選択
 - プリンタ名：任意の名称を入力
- (3) [OK]をクリックする。
- 確認画面が表示されます。
- (4) [はい]をクリックする。
- プリンターの登録が開始されます。



- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>

1.5 インクの交換方法

インクニアエンドが表示されたとき

インクの残量が残りにわすかになっています。早めに新しいインクボトルに交換することをお勧めします。プリントすることはできますが、クリーニングや連続でプリントすることができません。またプリント中にインクがなくなるおそれがありますので注意してください。

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すと、交換が必要なインクボトルを確認することができます。 「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 28）

インクエンドが表示されたとき

インクがなくなりました。新しいインクボトルに交換してください。

以下をよくお読みいただき、十分に理解してからインクを交換してください。

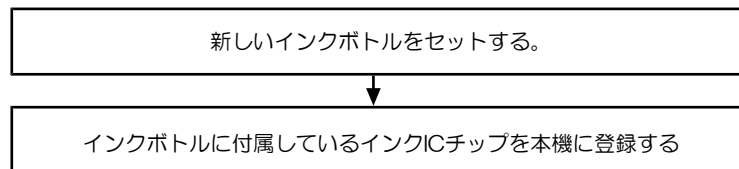
 「インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項」（P. 11）



- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



● インク交換の流れ

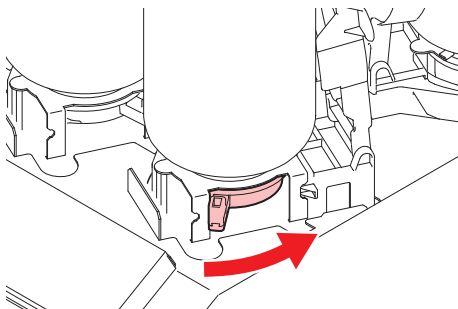


* 新しいインクボトルをセットして、エラー（インクエンド、インクニアエンド）を解消してから、インクICチップを登録してください。

インクを交換する

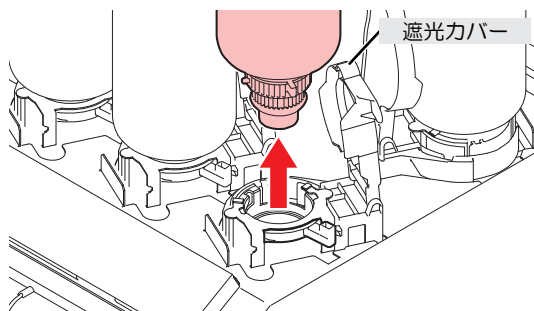
● インクボトルを外す

1 タンク部のレバーを左から右端まで回す。



・ インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。

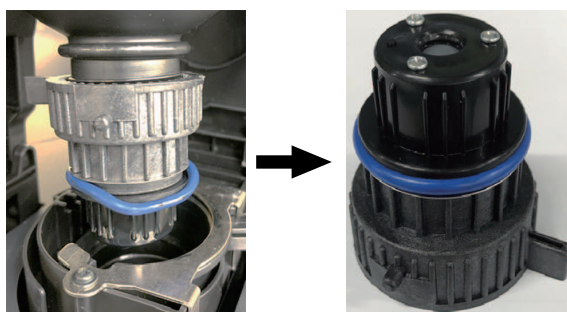
2 インクボトルを垂直に持ち上げる。



- ・ インクボトルを外したときに、遮光カバーが閉まっていることを確認してください。遮光カバーが開いているときは手で閉めてください。遮光カバーを開いたまま放置するとインクが硬化して、故障の原因になります。
- ・ インクボトルからのインク漏れに注意してください。

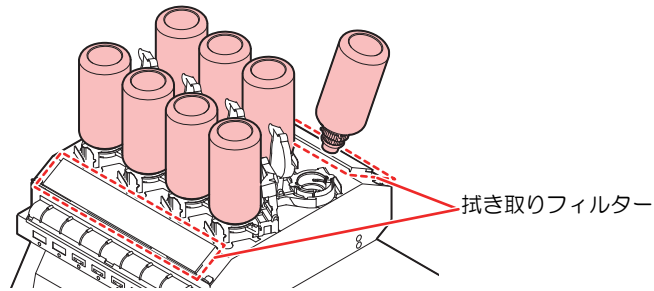
重要!

- ・ インクボトルを外したときに、ボトルキャップに付いているOリングが外れてしまうことがあります。Oリングが外れてしまったときは、元の状態に戻してください。



3 ボトルキャップに付着しているインク滴を吸い取る。

- ・ インク滴がたれない程度に拭き取りフィルターを使って吸い取ります。



4 ボトルキャップに付着しているインクを紙タオルなどで拭き取る。

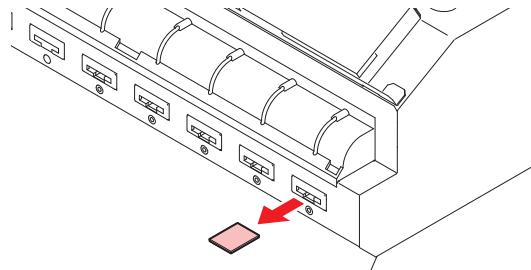


- ・ ボトルキャップに紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まって、インクが漏れてしまう原因になります。

5 インクボトルからボトルキャップを外す。

- ・ ボトルキャップが外しづらいときは、締め付け治具を使って取り外してください。

6 インクICチップを外す。



- ・ インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

● インクボトルを準備する

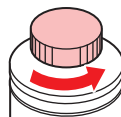
1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- ・ インクボトルのフタをしっかりと締めて、紙タオルなどでインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



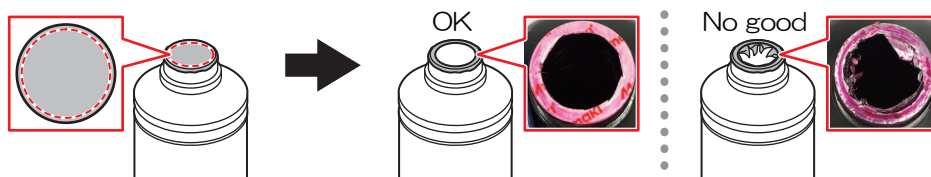
- ・ ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- ・ 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

2 インクボトルのフタを外す。



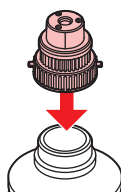
重要! インクボトルの口元にシールが付いている場合

- ・ カッターなどを使って、シールを丸く切り取ってください。切り残しがあると、インクが漏れる原因になります。



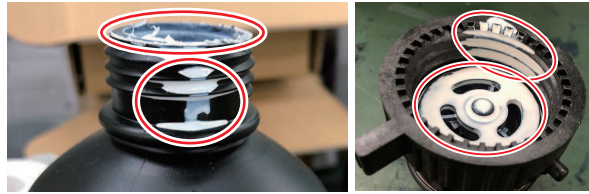
- ・ インクボトルの口元を傷付けしないでください。傷が付いた部分から、インクが漏れるおそれがあります。
- ・ シールの破片をインクボトル内に落とさないように注意してください。シールの破片がボトル内に入ったまま使用すると、ボトルキャップに詰まってインクが供給できなくなるおそれがあります。

3 インクボトルにボトルキャップをセットする。



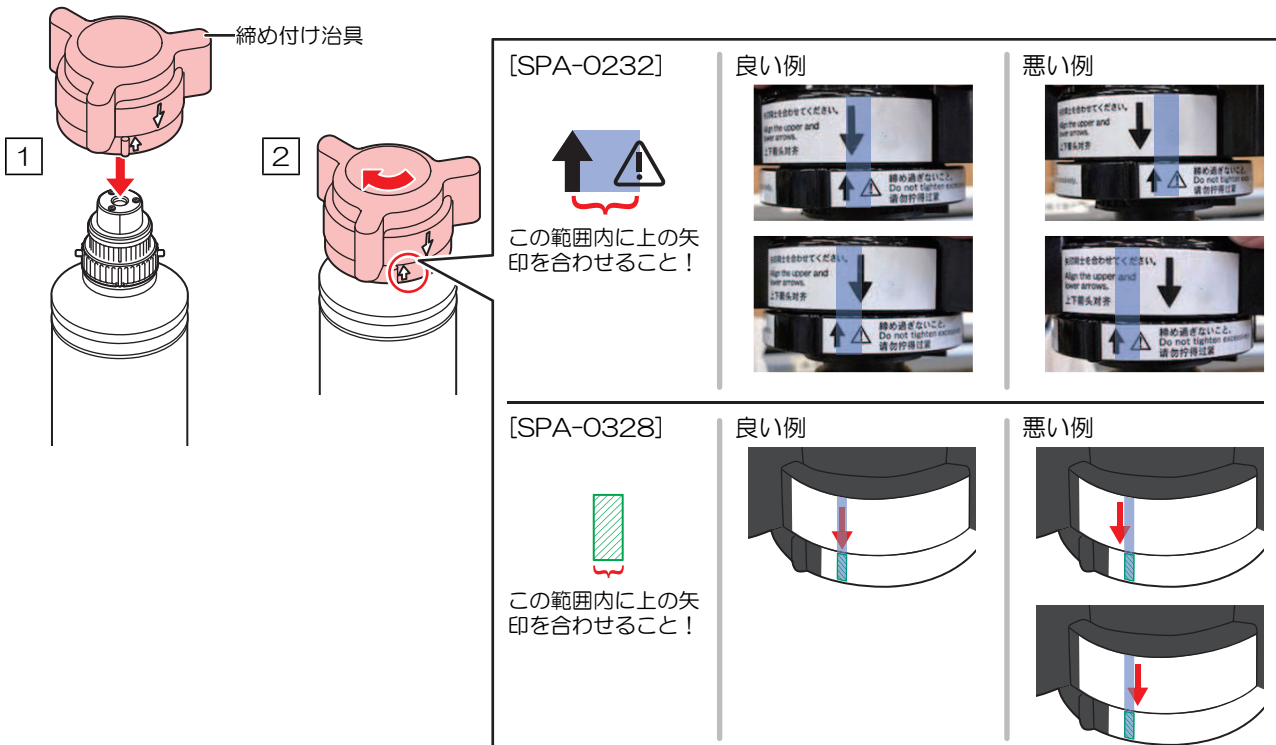


- インクボトルやボトルキャップにインクやメンテナンス液が付着しているときは、インクを拭き取ってください。ボトルキャップが空回りしてインクが漏れる原因になります。



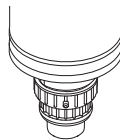
- ボトルキャップに紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まってインクが漏れる原因になります。

4 締め付け治具を使って、ボトルキャップを締める。



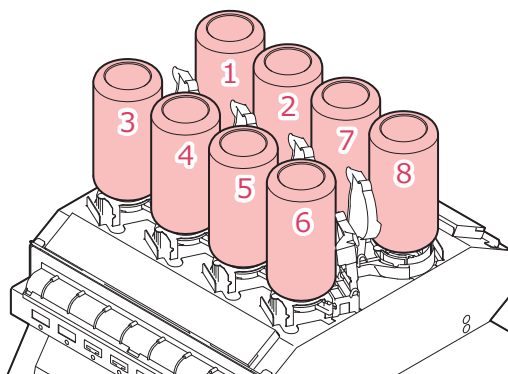
- ボトルキャップを締めすぎないでください。破損したり、空回りしたり、インクが漏れたりするおそれがあります。上記の範囲を超えた場合は、一度ボトルキャップを緩めてから、やり直してください。
- ボトルキャップを取り付けたまま、インクボトルを長時間放置しないでください。インクが硬化してしまう原因になります。

5 インクボトルを逆さにして、インクが漏れないかどうかを確認する。



● インクボトルをセットする

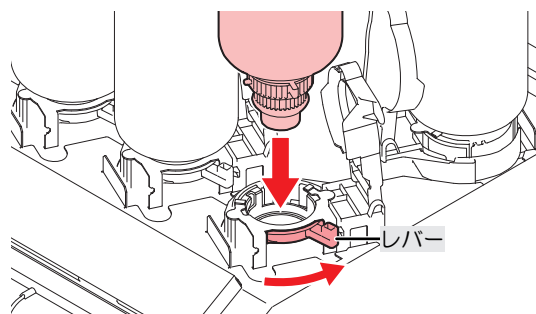
お使いになるインクセットによって、セットするインクボトルの順番が異なります。インクスロットの番号を確認してから、正しい色のインクボトルを挿し込んでください。



インクセット	インク配置							
	1	2	3	4	5	6	7	8
4-color	M	C	Y	K	M	C	Y	K
4-color, W	M	C	Y	K	-	-	W	W
4-color, W, CL	M	C	Y	K	CL	CL	W	W

1 インクボトルをセットする。

- ・ レバーを左から右端まで回してから、インクボトルをセットしてください。



- ・ ボトルキャップのOリングにメンテナンス液を塗布すると、インクボトルが入りやすくなります。メンテナンス液は使用中のインクに対応したものを使用してください。



2 右から左端までレバーを回して固定する。



- ・ インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。



- ・ 一度セットしたインクは使い切ってください。

● インクICチップを登録する

インクICチップを登録しないと、プリントできません。



- ・インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。



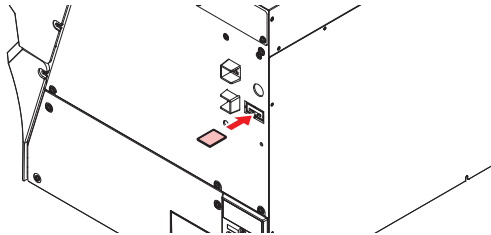
- ・インクICチップは金属が付いている面を上に向けて挿し込んでください。方向を間違えて挿し込むと、本機が故障したり、インクICチップが破損したりするおそれがあります。

1 ローカルモードにする。

- ・ローカルモード以外では、登録できません。

2 右側面のインクICチップの挿し込み口に新しいインクICチップを挿し込む。

- ・インクICチップを挿し込むと、登録画面が表示されます。



- ・同じ色のインクボトルを2つ同時に交換するとき、スロット番号を選択して登録します。登録するスロット番号を間違えないように注意してください。間違えて登録すると、インクIC情報が上書きされてインクが使えなくなってしまうです。

3 OKボタンを押す。

- ・インクICチップの情報が登録されます。



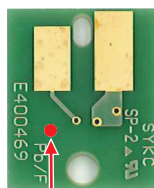
- ・インクICチップは捨てないでください。インク登録情報をインクICチップに書き戻すときに必要になります。

- ・ワーニングメッセージが表示された場合は、以下を参照して対処してください。

メッセージ	原因	対処方法
Color : Magenta 期限 : 2021/01/01 注意 : 有効期限まであとXX日	・インクの消費有効期限が迫っている。	・期限内に使い切ってください。
登録済みICチップ	・登録済みのインクICチップが挿し込まれた。	・新しいインクICチップに交換してください。☞「インクICチップを登録する」(P. 43)
登録できません。 登録上限を超えています。	・各スロットの登録上限の1本を超えた。	・1本分を使い切ってから登録してください。
登録できません。 XXXXXXX (エラー名)	・エラーにより、インクICチップを登録できない。	・正しいインクICチップをセットしてください。☞「インクICチップを登録する」(P. 43)

メッセージ	原因	対処方法
インク期限オーバー	インクが期限切れから、2か月経過した。	新しいインクに交換してください。プリントすることができません。🔗「インクエンドが表示されたとき」(P. 37)
インク種類	インクICチップに登録されているインクの種類が異なる。	正しいインク種のインクICチップをセットしてください。🔗「インクICチップを登録する」(P. 43)
インク カラー	インクICチップに登録されているカラーが異なる。	正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。🔗「インクICチップを登録する」(P. 43)
インクIC異常	インクICチップの情報にエラーが発生した。	- インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。🔗「インクICチップを登録する」(P. 43) - 主電源を切り、しばらくたってから、主電源を入れてください。 - 新しいインクに交換してください。🔗「インクエンドが表示されたとき」(P. 37)
インクを交換してください	インクエンド、インクニアエンドのエラーが発生している状態で、インクICチップを登録した。	新しいインクをセットしてから、インクICチップを登録してください。

- インクICチップについて
インクICチップのマークは、色情報を示しています。



マーク位置

インクカラー	表示マーク
シアン	● (青丸1つ)
マゼンタ	● (赤丸1つ)
イエロー	● (黄丸1つ)
ブラック	● (黒丸1つ)
ホワイト	○ (白丸1つ)
クリア	○○ (白丸2つ)



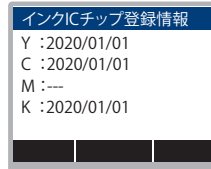
- インクと一緒に梱包されているインクICチップを挿し込んでください。インクICチップには、インクカラーやインク残量、消費有効期限などの情報が書き込まれています。異なるインクICチップを挿し込んだ場合、プリントすることができません。

● インクICチップが登録されているか確認する

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すと、インクIC登録情報を確認できます。🔗「[本機の情報を表示する\(ローカルガイドランス\)](#)」(P. 28)

- 消費有効期限と登録インクの総量が表示されます。

- インクICチップを登録していない、もしくはインク残量がなくなった場合は、 "---"が表示されます。 "---"が表示されている場合、新しいインクICチップを登録することができます。



● インク登録情報をインクICチップに書き戻す

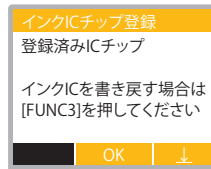
インクが残っていても新しいインクボトルに交換することができます。やむを得ずに交換する場合は、以下を参照して本機に登録されているインク情報をインクICチップに書き戻してください。書き戻しをすることで、インクボトルを再利用することができます。

1 交換するインクボトルのインクICチップを挿入する。



- インクボトルに登録したインクICチップを使用してください。その他のインクICチップは使用することができません。

2 [FUNC3]キーを押す。



- 書き戻しをしたインク情報はリセットされて、"IC未登録"と表示されます。

第2章 プリントしてみる



この章では...

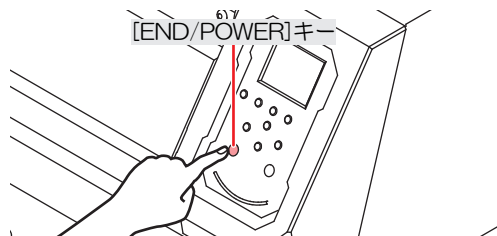
プリントの手順や設定方法について説明しています。

プリントの流れ	48	ドット位置補正をする	65
プリントヘッドの高さを調整する	51	ドット位置補正の手順	65
メディアをセットする	53	RIPデータを準備する	67
メディアについて	53	プリントする	69
巻き取りユニットについて	54	原点を変更する	69
ロールメディアをセットする	56	プリントを開始する	69
テストプリントをする	60	プリントを中止する（データクリア）	70
テストプリントの配置方向を変更する	60	メディアを裁断する	71
ホワイティンクの吐出を確認する	60	引き戻し印刷について（UCJV100Plus）	72
吐出不良について	61	トンボ付きの引き戻し印刷をする場合	72
ヘッドクリーニングをする	62	トンボ検出に失敗した場合	73
フィード補正をする	63		
フィード補正の手順	63		

2.1 プリントの流れ

1. 本機の電源を入れる

☞ 「電源を入れる」 (P. 29)



2. RIP用コンピューターと本機を接続する

☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 32)

☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 32)

3. RIP用ソフトウェアを準備する

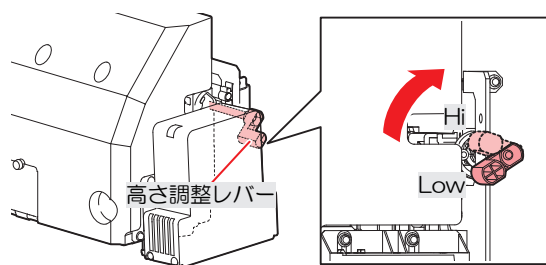
☞ 「RIP用ソフトウェアをインストールする」 (P. 35) (初回のみ)

☞ 「カラープロファイルを入手する」 (P. 35)

☞ 「RIP用ソフトウェアを準備する」 (P. 35) (初回のみ)

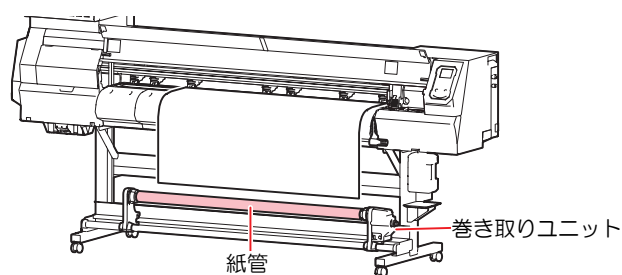
4. プリントヘッドの高さを調整する

高さ調整レバーは、お使いになるメディアに合わせて調整してください。☞ 「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 51)



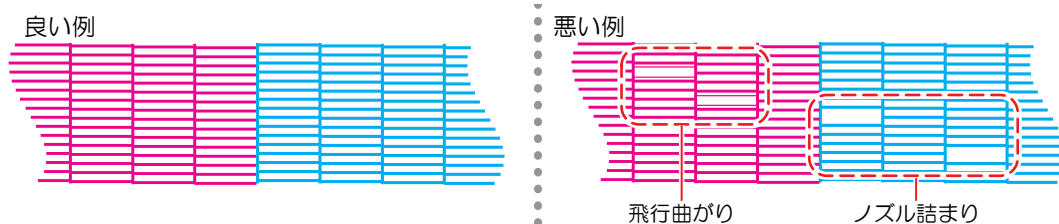
5. メディアをセットする

ロールメディアを使用できます。🔗 「メディアをセットする」 (P. 53)



6. プリントヘッドのノズルの状態を確認する

🔗 「テストプリントをする」 (P. 60)

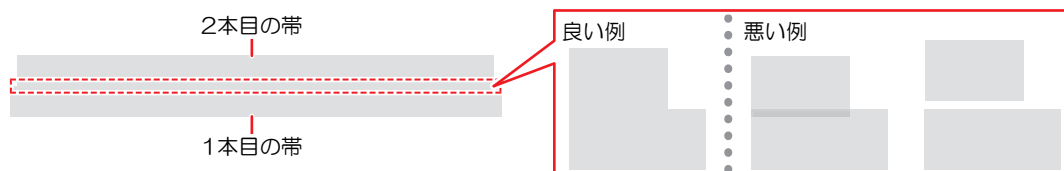


7. 不良ノズルがあったら、ヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニングは、3種類あります。テストプリントの結果によって使い分けてください。🔗 「ヘッドクリーニングをする」 (P. 62)

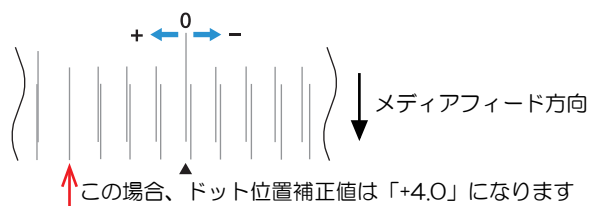
8. メディアの送り量を調整する

🔗 「フィード補正をする」 (P. 63)



9. 双方向プリントするときは、ドット位置を調整する

🔗 「ドット位置補正をする」 (P. 65)

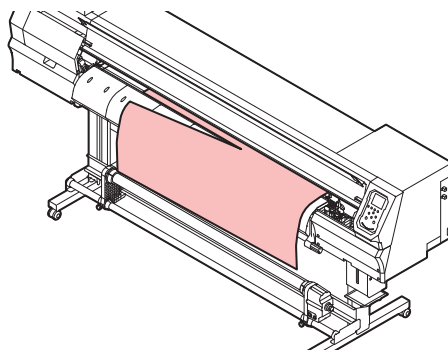


10. RIPデータをプリントする

☞ 「プリントする」 (P. 69)

11. メディアを裁断する

☞ 「メディアを裁断する」 (P. 71)



2.2 プリントヘッドの高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、プリントヘッドの高さを調整してください。

レンジ	プリントヘッドとプラテンの距離
Low	2 mm (初期設定)
High	2.5 mm



- プリントヘッドの高さを変更したあとは、必ずドット位置補正を実施してください。[「ドット位置補正をする」\(P. 65\)](#)
- プリントヘッドの高さは推奨値2.0mmで使用してください。インクジェットプリンターは、プリントヘッドとメディア間のギャップが広がると、インク滴がメディアに到達できずにミスト化してしまうおそれがあります。ミスト化したインクは、プリントヘッドのノズル面やメディア、冷却用ファンのフィルターに付着します。同時にUV-LEDユニットからプリントヘッド面に対する反射光も増えてしまいます。ノズル面に付着したミスト化したインクが、反射光で硬化したり、インク粘度が高くなったり、プリント品質に影響がでたり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

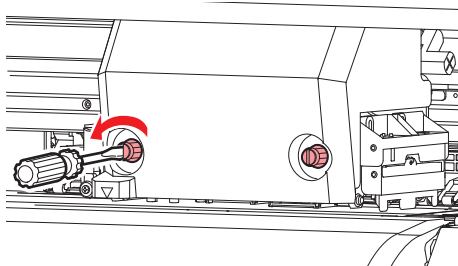
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

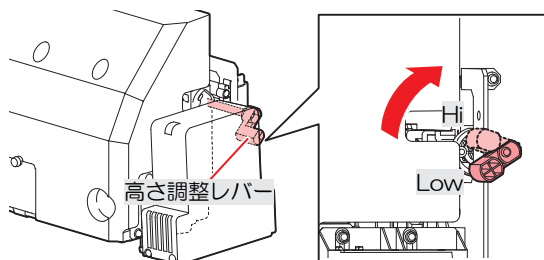
4 キャリッジカバーのネジを緩める。

- マイナスドライバーなどを使い、1回転程度回してください。

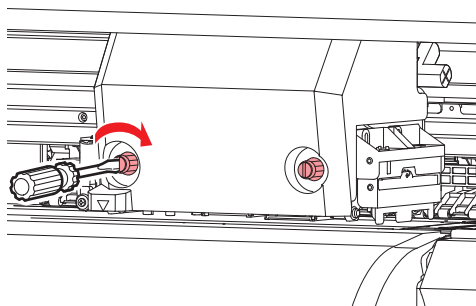


5 高さ調整レバーで高さを変更する。

- 高さ調整レバーは、設定したい高さが上になるように設定してください。正しい位置にレバーがないと、メディアジャムやミストなど、故障やプリント品質に影響がでるおそれがあります。



6 キャリッジカバーのネジを締める。



- 高さ調整レバーをさわらないでください。

7 調整が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

2.3 メディアをセットする



- メディアをセットする前に、ヘッド高さを調整してください。メディアをセットしたあとにキャリッジを動作させると、プリントヘッドがメディアに接触して、破損するおそれがあります。

メディアについて

● メディアの取り扱いに関するご注意



- 高画質で安定したプリントをするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。

⚠ 警告



- ロールメディアは、2人以上で取り付けてください。メディアの重みで腰を痛めてしまうおそれがあります。

注記



- ホコリが付着しないように保管してください。プリント品質が低下する原因になります。
- 定型サイズ紙をまとめて保管するときは、コーティング面が外側になるように保管してください。
- メディアに除電対策（イオナイザー、除電バー、ウォーターミスト加湿、アルコール系の帯電防止剤等）を実施してください。界面活性剤を含む帯電防止剤は使用しないでください。



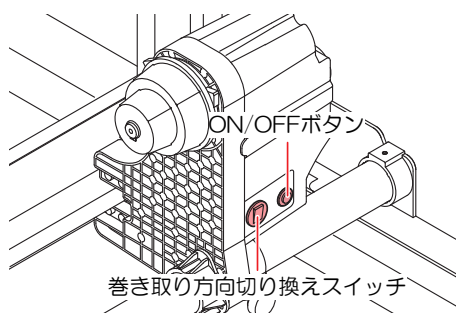
- 本機にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアにホコリが付着する原因になります。また、ホコリをふき取ったメディアは使わないでください。静電気が発生して、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- 包装を開けてから間もないメディアを使用しないでください。メディア保管場所の温度や湿度によって、メディアが伸縮しているおそれがあります。本機と同じ室内環境下で、30分以上経過してから本機にセットしてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。プリントヘッドが破損する原因になるだけでなく、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- UVインクをお使いの場合、金箔や銀箔などの光を反射するメディアは使用しないでください。メディア表面の光が反射することによって、プリントヘッドのインクが硬化してヘッドが破損するおそれがあります。保証の範囲外となりますのでご了承ください。



- 重要!** プリント済みメディアの保管状態（巻き取ったメディアの平置きによる荷重など）やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。

巻き取りユニットについて

巻き取りユニットのスイッチを使って、メディアの巻き取り方向を変更することができます。

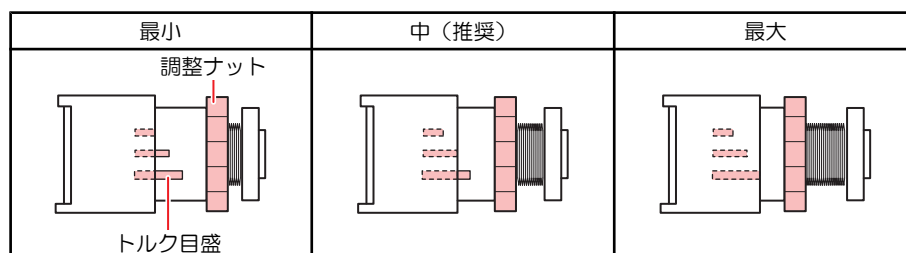


名称	概要	
方向切り換えスイッチ	上	プリント面を内側にして巻き取りたいとき。
	下	プリント面を外側にして巻き取りたいとき。
ON/OFF ボタン	ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を繰り返します。ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転するように設定できます。☞「マシン設定メニュー」(P. 85)	

トルクリミッターを調節する

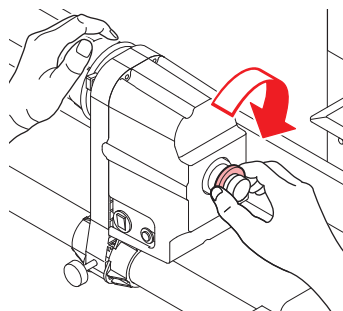
巻き取りユニットには、トルクリミッターが付いています。

トルクリミッターの調整ナットを回して、巻き取りの強さを変更できます。工場出荷時は、トルクリミッターは“中”に設定してあります。



● テンションを強くする（時計回り）

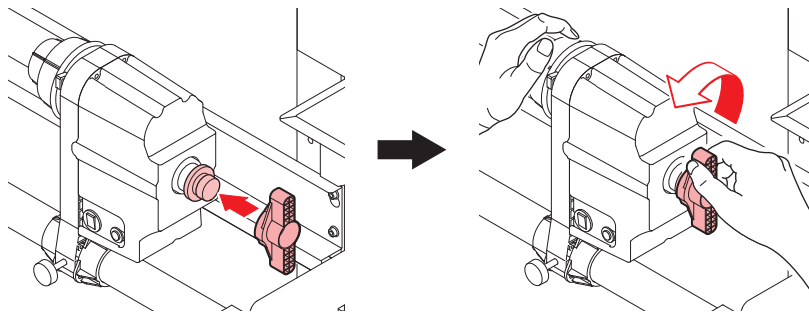
ターポリン等の重量のある厚いメディアをお使いのときにテンションを強くします。手で調整します。



- トルク調整ハンドルは使用しないでください。トルク調整ハンドルを使用すると強く締め過ぎる原因になります。強く締めてしまうと、巻き取りユニットが破損するおそれがあります。

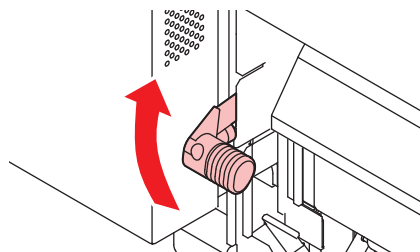
● テンションを弱くする（反時計回り）

軽量のメディアをお使いのときにテンションを弱くします。付属の"トルク調整ハンドル"を使って調整します。



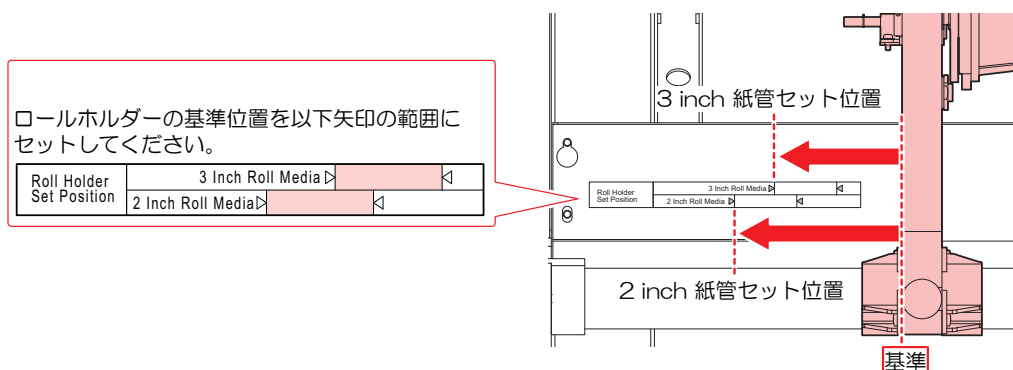
ロールメディアをセットする

1 クランプレバーを上げる。



2 背面左側のロールホルダーをロールセット位置へ移動する。

- ロールホルダーの固定ネジを緩めてから移動させます。

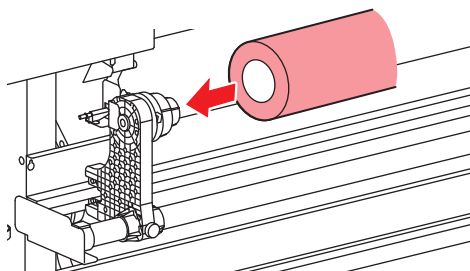


3 背面左側のロールホルダー固定ネジを締める。

4 ロールメディアを、ロールメディアハンガーに置く。

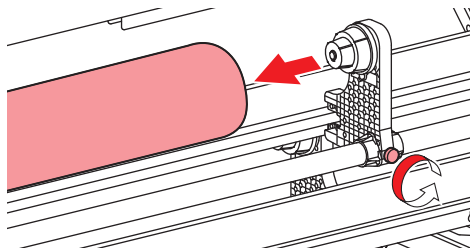
5 背面左側のロールホルダーにロールメディアの紙管を挿し込む。

- 紙管が動かなくなるまで、奥に挿し込んでください。



6 背面右側のロールホルダーを紙管に挿し込む。

- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。



7 背面右側のロールホルダー固定ネジを締める。

8 メディアを挿し込む。

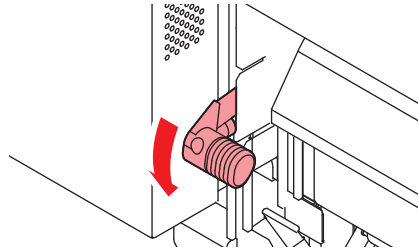
- ・ピンチローラーとグリットローラーの間に挿し込みます。



- ・メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに挿し込めます。

9 クランプレバーを下げる。

- ・ピンチローラーとグリットローラーで、メディアを保持している状態にします。



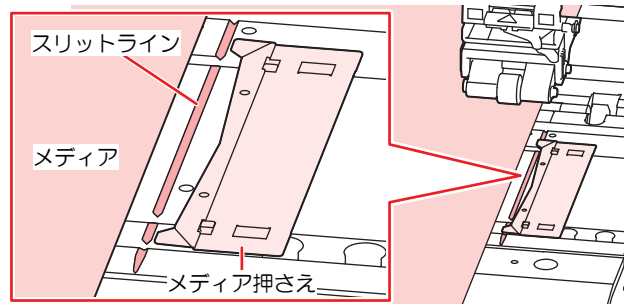
10 本機正面に移動して、正面カバーを開く。

11 クランプレバーを上げて、メディアを引き出す。

- ・メディアを後方に落とさないようにしてください。

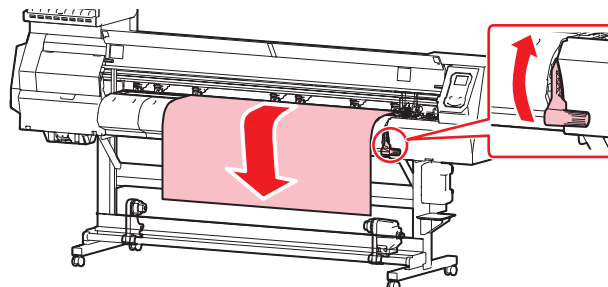


- ・プラテン右側のスリットラインがメディアに隠れないように、背面のロールホルダー位置を調整してください。メディアが斜行した場合、プリントヘッドが破損するおそれがあります。



- ・メディアの両端から5mmは、デッドスペースになります。

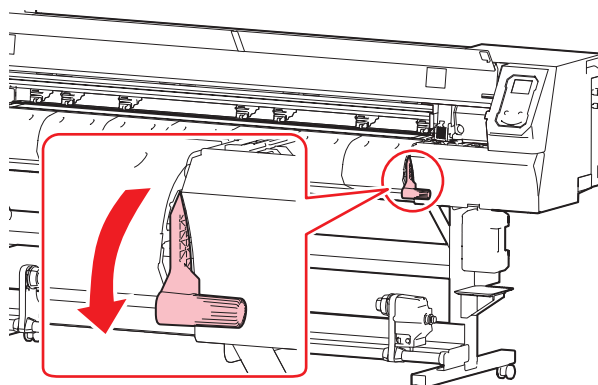
12 メディアを静かに引き出して、軽くロックのかかる位置で止める。



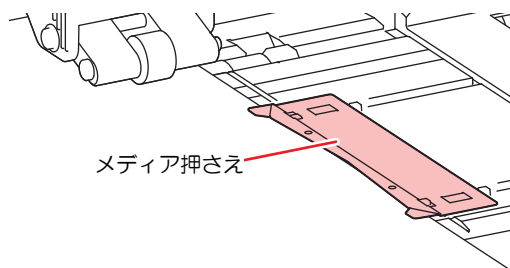
13 メディアの引き出し量を確認する。

- ・メディア前端の数カ所を軽く引っ張り、メディアの引き出し量が均等になっていることを確認してください。

14 クランプレバーを下げる。



15 メディア押さえでメディアをはさむ。



・ 厚みのあるメディアにプリントするときは、メディア押さえを使用しないでください。

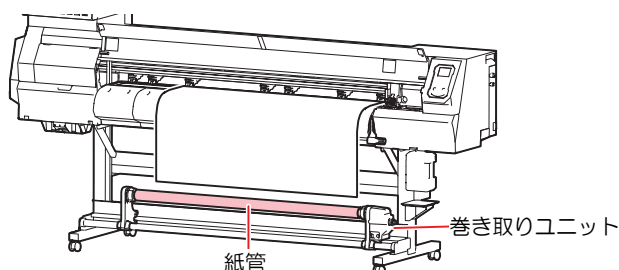
16 ④を押して、“ロール”を選択する。

- ・ メディア幅の検出を開始します。
- ・ [マシン設定] > [メディア検出] > [検出方法]の設定が、“MANUAL”に設定されている場合、プリントする範囲を手動で決定します。
- ・ [マシン設定] > [メディア検出] > [メディア残量]の設定が、“ON”に設定されている場合、メディア長さ入力画面が表示されます。



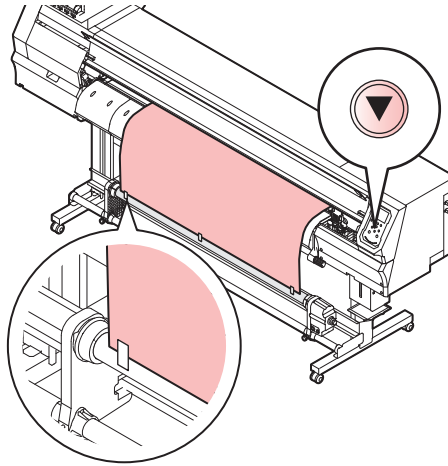
・ メディアが規定の位置より右に寄っている場合、メディア幅を検出したあと、ディスプレイに“メディア イチミギスギマス”を表示してお知らせします。メディアを既定の位置にセットし直してください。

17 巻き取りユニットに空の紙管をセットする。

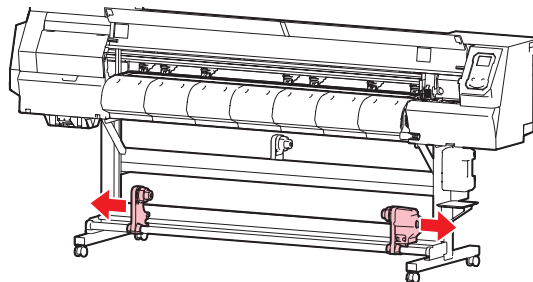


18 巻き取りユニットにメディアを固定する。

- (1) ▼を押して、巻き取りユニットの紙管に届くまでメディアをフィードする。
- (2) 粘着テープでメディアの中央を固定する。
- (3) 同様にしてメディアの左右を固定する。
 - メディア下端を左右均等に引っ張り、メディアにたるみ、シワがないことを確認してから、テープを貼ってください。

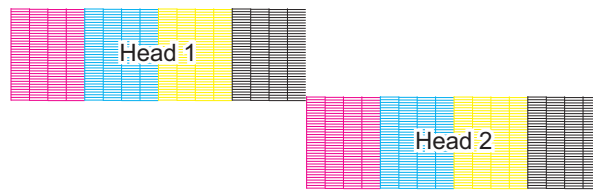


- 巻き取りユニットを使わないときは、巻き取りユニットを左右に退避させてください。メディアの前端が巻き取りユニットに触れた衝撃によって、プリント品質に影響がでるおそれがあります。



2.4 テストプリントをする

テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 62）



事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか？☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 51）
- メディアをセットしていますか？☞「メディアをセットする」（P. 53）



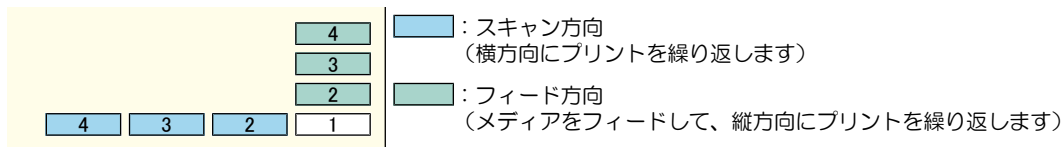
- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。



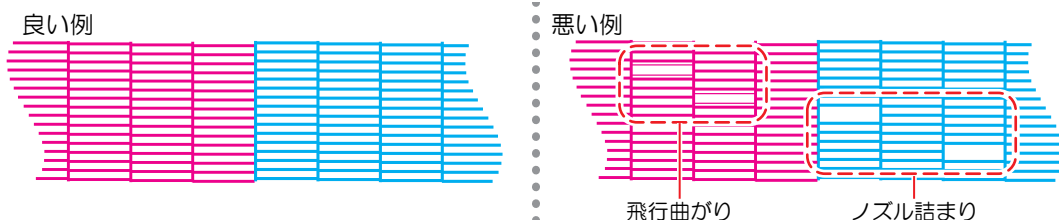
- [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリされてテストプリントされます。
ノズルリカバリは登録が必要です。☞「ノズルリカバリを登録する」（P. 82）
- 本機に使われているインクは、温めてから吐出をしています。インクの加温制御中は、プリントすることはできませんのでご了承ください。

テストプリントの配置方向を変更する

テストプリントの配置方向を変更することができます。



- 1 ローカルモード画面から[Test PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストプリントメニューが表示されます。
- 2 [スキャン方向]、もしくは[フィード方向]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストプリントを開始します。



- 3 プリント結果を確認する。

ホワイトインクの吐出を確認する

ホワイトインクを確認するときは、以下の2つの方法があります。

- ・ 透明フィルムにプリントする。
- ・ テストパターンの下地をブラックインクでプリントする。

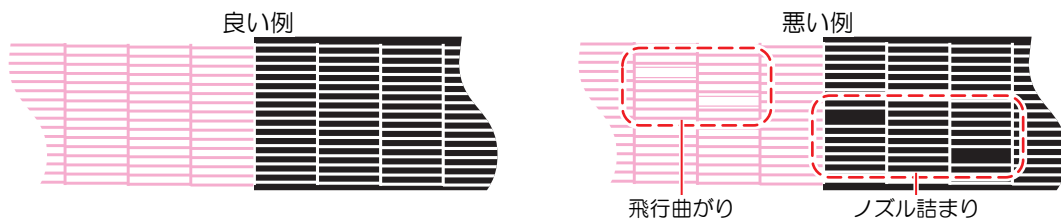
● 下地をブラックインクでプリントする方法

1 ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ テストプリントメニューが表示されます。

2 [特色確認]を選択して、[ENTER]キーを押す。

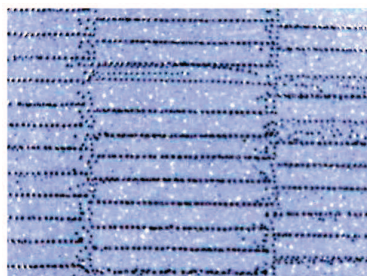
- ・ テストプリントを開始します。
- ・ 配置方向は、[スキャン方向]固定です。



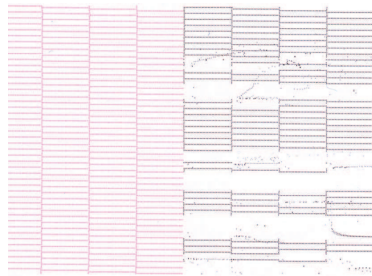
3 プリント結果を確認する。

吐出不良について

吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の代表的な例を示します。このような状態でプリントされないように、プリント前など定期的にインクが正常に吐出されているかどうかを確認してください。



飛行曲がり



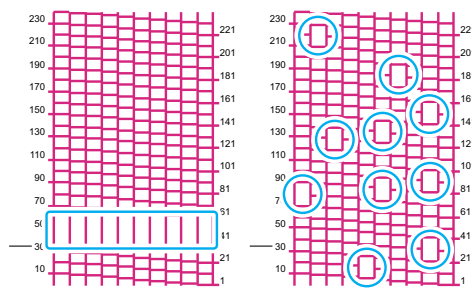
ノズル詰まり



ポタ落ち



ミスト（しぶき）



空気の混入

2.5 ヘッドクリーニングをする

ヘッドクリーニングには、以下のタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。

項目	内容
ソフト	線の曲がり（飛行曲がり）があるとき。
ノーマル	線の抜け（ノズル詰まり）があるとき。
ハード	ソフトクリーニング、ノーマルクリーニングを実行しても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善しないとき。



- [インクニアエンド]、[インクエンド]のときは、クリーニングすることができません。新しいインクに交換してください。☞ [「インクの交換方法」](#)（P. 37）



- 本機に使われているインクは温めてから吐出をしています。インクの加温制御中は、プリントやクリーニングすることはできませんのでご了承ください。

- 1 ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [クリーニング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - クリーニングメニューが表示されます。
- 2 クリーニングタイプを選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 クリーニングするヘッドを選択して、[ENTER]キーを押す。
 - チェックボックスをオンにしてください。チェックが入っているヘッドをクリーニングします。
- 4 再度、テストプリントを実行して、プリント結果を確認する。
 - プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



- ヘッドクリーニングで、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善されない場合は、以下を実施してください。
 - ☞ [「ワイパーの清掃」](#)（P. 97）
 - ☞ [「キャップゴムの清掃」](#)（P. 98）
 - ☞ [「プリントヘッドのノズル洗浄」](#)（P. 124）
- インクを充填する（[MENU] > [メンテナンス] > [インク充填]）

2.6 フィード補正をする

メディアを替えるとメディアの重さや厚さ、巻き取りユニットの使用有無などにより、メディアのフィード量が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（濃い縞や薄い縞が入るなど）の原因になります。

事前に確認してください

- メディアをセットしていますか?  「メディアをセットする」(P. 53)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか?  「ロールメディアをセットする」(P. 56)



- 本機に使われているインクは温めてから吐出をしています。インクの加温制御中は、プリントやクリーニングすることはできませんのでご了承ください。

● 引き戻し印刷について (UCJV100Plus)



- UJV100Plusの専用機能です。

引き戻し印刷をする場合は、[フィード補正/引戻し]調整を実施してください。この補正値は“引き戻し印刷”を実行したときに適用されます。



- 詳しくは、“UJV100Plusホワイトクリア印刷ガイド”をご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>

[フィード補正]と調整方法は同じです。  「フィード補正の手順」(P. 63)

- [フィード補正/引戻し]を実行すると：
 - (1) メディアの前後フィード動作が開始する。
 - メディアがたるんだ状態になります。
 - (2) 補正パターンをプリントする。

フィード補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。



- 巻き取りユニットを使用するときは、巻き取りユニットにメディアをセットしてから調整をしてください。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。



2 [フィード補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 補正パターンのプリントを開始します。

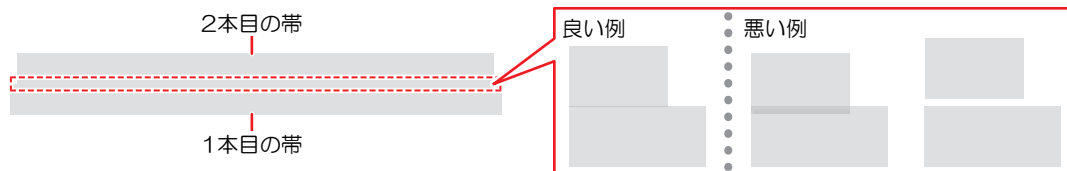


引き戻し印刷する場合（UJV100plus）：

- ・ [設定] > [フィード補正/引戻し]を選択してください。

3 プリント結果を確認する。

- ・ 補正値の入力画面が表示されます。
- ・ 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整します。



4 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- ・ "+" 入力：2本の帯の隙間が広がります。
- ・ "-" 入力：2本の帯の隙間が狭くなります。
- ・ 補正値を"30"変更することにより、帯が約0.1mm移動します。

5 [ENTER]キーを押す。

- ・ 再度、補正パターンをプリントして確認します。



- ・ 調整が終了すると、プリント原点位置までメディアがフィードして、背面のロールメディアにたるみが生じます。ロールメディアを手で巻き戻して、たるみのない状態にしてください。

プリント中にフィード補正をしたいとき

リモートモードやプリント中でも、メディアの送り量の補正ができます。

1 リモートモード、もしくはプリント中に、[ADJUST]を選択する。

2 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- ・ 補正値：-9999～9999
- ・ ここで入力した値は、すぐ補正値に反映されます。

2.7 ドット位置補正をする

メディアやプリントヘッドの高さを変更すると、ドットの着弾位置が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（線が二重、ぼやけた画像など）の原因になります。

事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか?  「[プリントヘッドの高さを調整する](#)」 (P. 51)
- メディアをセットしていますか?  「[メディアをセットする](#)」 (P. 53)



- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。



- 本機に使われているインクは温めてから吐出をしています。インクの加温制御中は、プリントやクリーニングすることはできませんのでご了承ください。

ドット位置補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。



2 [ドット位置補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

3 解像度を選択して、[ENTER]キーを押す。

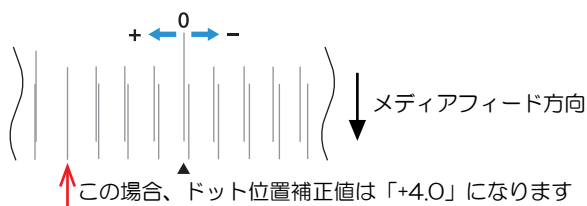
- 調整したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。  「[設定メニュー](#)」 (P. 78)



- 解像度はスキャン方向の解像度を示しています。
(F/W ver.3.0より対応)

4 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 上下2本の線が1本の直線になっている位置を入力します。



5 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 補正値：-40 ~ 40



- 補正値が-40 ~ 40の間に重なった線がない場合は、プリントヘッドの高さが適正でないことが原因と考えられます。プリントヘッドの高さを調整してください。

 [「プリントヘッドの高さを調整する」 \(P. 51\)](#)

6 パターン2以降も同様に補正値を入力する。

2.8 RIPデータを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。



- 任意のプリント用の画像データをご準備ください。

1 “RasterLink”を起動する。

- コンピューターのデスクトップ上にあるアイコンをクリックしてください。

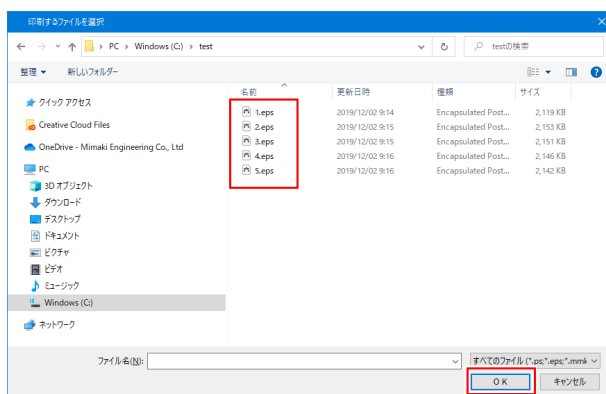


2 プリントする画像データを選択する。

(1) [ファイル] > [開く]を選択する。

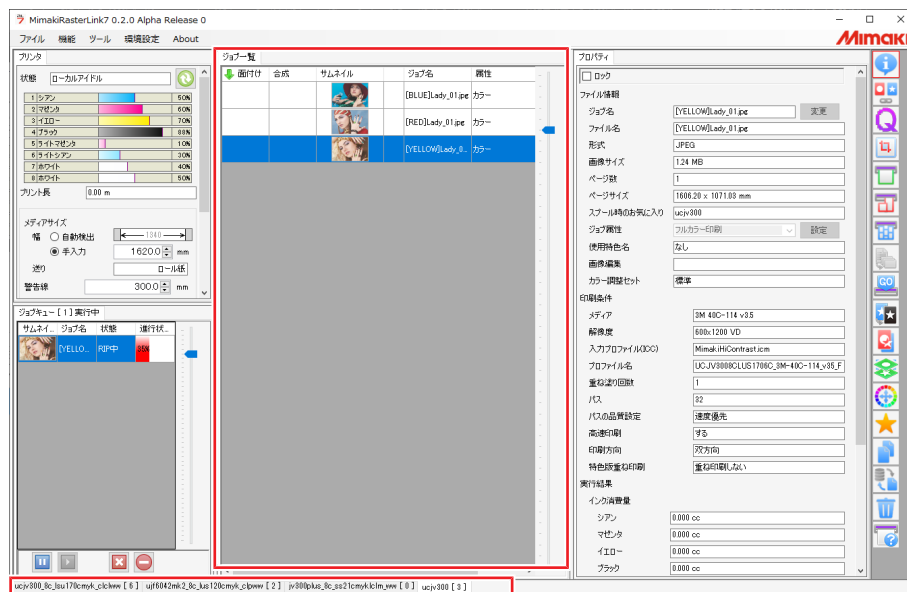
(2) 任意の画像データを選択して、[開く]をクリックする。

- 複数のプリンターが登録されている場合、“プリンタ名”からUJV100-160, UJV100-160plusを選択します。



3 読み込まれた画像データを選択する。

- “プリンタ名”で選択した、UJV100-160, UJV100-160plusのタブに表示されます。



4 各種設定を確認、変更する。

- 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。

（通常印刷）：拡大/縮小、コピーなどを設定します。

（印刷条件）：本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択します。



- 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>

5 画像データをプリントする。

- 画面右の機能アイコンから （実行）をクリックします。"RIP&印刷"、もしくは"RIP後印刷"を選択して、[開始]をクリックします。



- メディアを交換した場合、メディア幅を再取得する必要があります。
 - メインウィンドウで、UJV100-160, UJV100-160plusのタブを選択する。
 - プリンタタブの （最新のプリンタステータスを表示）をクリックする。

2.9 プリントする

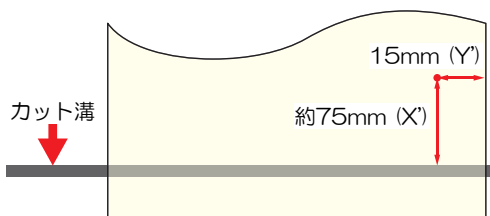
事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか?  「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 51)
- メディアをセットしていますか?  「メディアをセットする」 (P. 53)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか?  「ロールメディアをセットする」 (P. 56)

原点を変更する

プリント開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。

- プリント原点の初期値
 - フィード（縦：X'）方向：プラテンのカット溝から奥へ約75mm
 - スキャン（横：Y'）方向：メディア右端から15mm



- 1 ローカルモード画面から、    を押す。
 - 原点設定画面が表示されます。
- 2     を押して、変更したい位置に原点を合わせる。
 - キャリッジが左右に動いて、メディアがフィードします。
- 3 [ENTER]キーを押す。
 - 原点が変更されます。

プリントを開始する

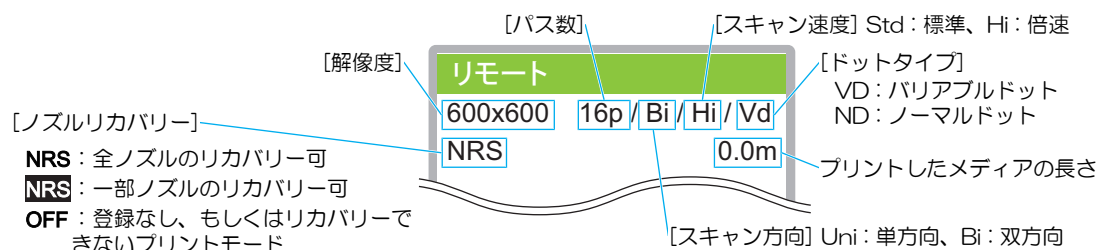
- 1 コンピューターから、RIPデータを送信する。
 -  「RIPデータを準備する」 (P. 67)



- メッセージ"Attention20A ドライバーバージョン"が表示されたときは、最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。 <https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>

2 プリントを開始する。

- ・RIPデータを受信すると、プリントが開始されます。



- ・同じ画像データをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置、解像度などによって、プリントが終了するまでの時間が異なります。
- ・エラーが発生している場合、プリントが終了したあとはローカルモードになって、続けてプリントすることはできません。
- ・本機に使用されているインクは、温めてから吐出をしています。インクの加温制御中は、プリントすることはできませんのでご了承ください。

プリントを一時停止する

1 プリント中に、[LOCAL]を押す。

- ・プリントが一時停止されます。
- ・コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。

2 [REMOTE]を押す。

- ・プリントが再開されます。



- ・一時停止中は、その他の機能は操作することができません。

プリントを中止する（データクリア）

1 ローカルモード画面から[DATA CLEAR]を選択する。

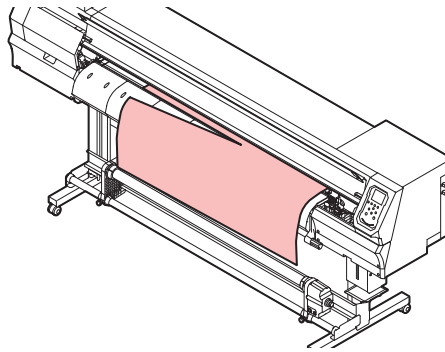


2 [ENTER]キーを押して、受信データをクリアする。

- ・受信バッファがクリアされます。

2.10 メディアを裁断する

- 1 ローカルモード画面から、▲▼◀▶を押す。
 - 原点設定画面が表示されます。
- 2 ▲▼を押して、裁断したい位置までメディアをフィードする。
- 3 [CUT]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メディアが裁断されます。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

2.11 引き戻し印刷について (UCJV100Plus)



- UJV100Plusの専用機能です。



- 詳しくは、“UJV100Plusホワイトクリア印刷ガイド”をご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>

事前に実施してください

- [フィード補正/引き戻し]調整を実施してください。🔗 「2.6 引き戻し印刷について (UCJV100Plus)」 (P. 63)
- [引き戻し原点オフセット]調整を実施してください。🔗 「トンボ付きの引き戻し印刷をする場合」 (P. 72)

トンボ付きの引き戻し印刷をする場合

以下の手順に従って調整してください。



- トンボなしの引き戻し印刷には反映されません。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。



2 [引き戻し原点オフセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

3 プリントに使用するY方向の解像度を選択して、[ENTER]キーを押す。

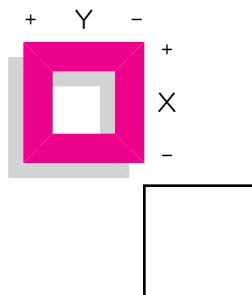
- Y解像度：360Std, 720Hi, 1200Hi, 720Std, 1200Std
- 補正パターンのプリントを開始します。

4 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。

5 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 1層目のパターンに2層目を合わせてください。
- ヘッド1にホワイトインクが充填：1層目（マゼンタ）、2層目（ホワイト）
- ヘッド2にホワイトインクが充填：1層目（ホワイト）、2層目（マゼンタ）



- 2層目のパターンがトンボと重なっている場合：+の値を入力します。
- 2層目のパターンがトンボから離れている場合：-の値を入力します。

6 [ENTER]キーを押す。

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。

トンボ検出に失敗した場合

1層目のプリントが終わると、トンボ検出が実行されます。トンボの検出に失敗した場合、以下を実施してください。



透明メディアを使ってトンボ検出に失敗する場合

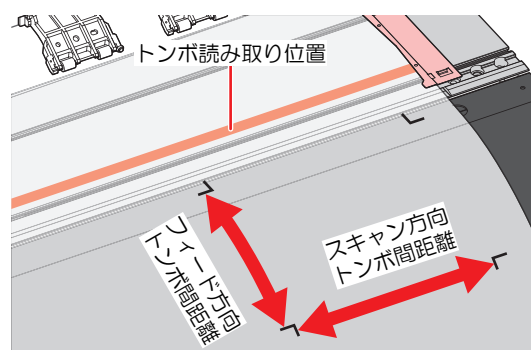
- プラテン（トンボ検出センサ位置）の清掃をしてください。汚れていると、トンボ検出を失敗する原因になります。
- 塗りつぶしトンボに変更してください。

1 [SEL]キーを押して、[FUNC2]キーを押す。



2 [トンボ検出] > [セミオート]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 3 ④⑤を押して、プリントされているトンボの後端がプラテン手前になるまでフィードする。



- 4 [ENTER]キーを押す。

- ・ トンボ検出を開始します。
- ・ トンボ検出に成功すると、2層目のプリントを開始します。
- ・ トンボ検出に失敗する場合は、以下を実施してください。

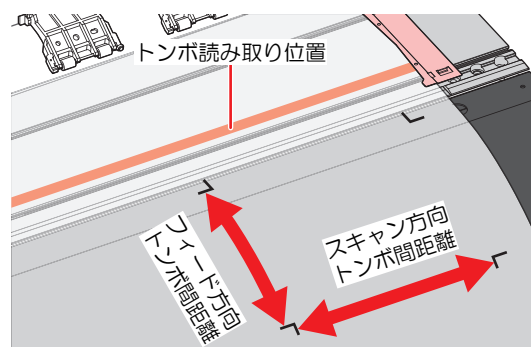
● セミオートが失敗する場合

- 1 [SEL]キーを押して、[FUNC2]キーを押す。

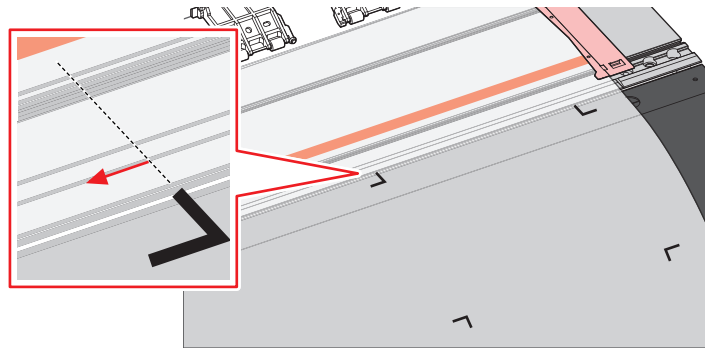


- 2 [トンボ検出] > [マニュアル]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 3 ④⑤を押して、プリントされているトンボの後端がプラテン手前になるまでフィードする。



- 4** ◀▶を押して、左側のトンボ位置付近までキャリッジを移動する。
- キャリッジカバーの“↓”マークをトンボの縦線より左側に移動します。



- 5** [ENTER]キーを押す。
- トンボ検出を開始します。
 - トンボ検出に成功すると、2層目のプリントを開始します。

第 3 章 各種設定



この章では...

[MENU]の各種機能について説明しています。

設定メニュー	78	マシン設定メニュー	85
設定タイプ名称の変更方法	80	イベントメール機能の設定	88
メンテナンスメニュー	81	ノズルチェックメニュー	90
ノズルリカバリーを登録する	82	情報メニュー	91

3.1 設定メニュー

お使いになるメディアに合わせて、プリント条件（設定1～4）を個別に登録しておくことができます。

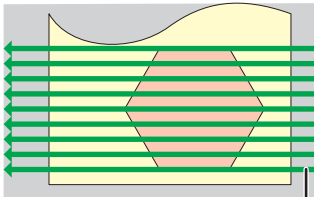
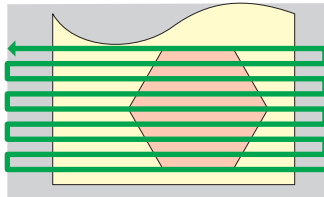
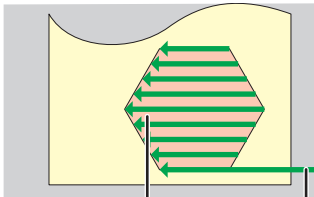
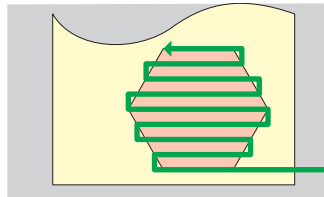
● メニュー一覧

本機の設定と接続しているコンピュータの設定、どちらを優先させるかどうかを決めることができます。各メニューを"ホスト"に設定すると、コンピュータの設定が優先されます。本機の設定を優先させたいときは、"ホスト"以外に設定してください。



- RIP用ソフトウェアの指定方法は、RIP用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

項目		設定値		内容
		*1	*2	
フィード補正		-9999 ~ <u>0</u> ~ 9999	-	メディアの送り量を補正します。 ・ パターンをプリントして、補正量を入力します。☞ 「フィード補正をする」 (P. 63)
ドット位置補正		-	-	双方向プリントのドット着弾位置を補正します。☞ 「ドット位置補正をする」 (P. 65)
	(解像度)	全て / 360std / 720std / 720hi / 1200std / 1200hi	-	補正したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。 (F/W ver.3.0より対応)
	(補正值)	-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0	-	パターンを確認して補正值を入力します。
自動補正		-	-	補正パターンをセンサーで検出して、自動でドットの着弾位置を補正します（自動補正機能）。 ・ メディアに浮きがないことを確認してください。 ・ 白くて汚れのないメディアを使用してください。 ・ 合成紙や布系メディアは、検出できないおそれがあります。 ・ パターンをプリント中にコンピュータから、RIPデータを送信しないでください。 ・ 自動補正に失敗した場合は、手動で補正してください。 [MENU] > [設定] > [フィード補正] or [ドット位置補正]
	フィード補正	-	-	
	ドット位置補正	-	-	
	(解像度)	全て / 360std / 720std / 720hi / 1200std / 1200hi	-	補正したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。 (F/W ver.3.0より対応)
	(補正值)	-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0	-	パターンを確認して補正值を入力します。
フィード補正/引き戻し		-9999 ~ <u>0</u> ~ 9999	-	引き戻し印刷をする場合は、本項目を調整してください。引き戻し印刷機能専用のメディアの送り量を補正します。 ・ パターンをプリントして、補正量を入力します。☞ 「フィード補正をする」 (P. 63)
ロジカルシーク		ホスト / OFF / ON	OFF	キャリッジの可動範囲を設定します。

項目	設定値		内容
	*1	*2	
			- OFF：マシンサイズ領域 単方向プリント  - 双方向プリント  キャリッジの動き - ON：プリントデータ領域 単方向プリント  - 双方向プリント  プリントデータ キャリッジの動き
マージン / 左	ホスト / -10 ~ 85 mm	0mm	メディア左右の標準余白（15mm）からオフセットする値を設定します。 - メディア押さえを使用する場合、左右のマージンを-5mm以上に設定してください。メディア押さえの上にプリントをするおそれがあります。 - 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、マージンの指定ができません。本機を"ホスト"に設定すると、左右のマージンはオフセット値が"0mm"になります。
マージン / 右			
吸着ファン	ホスト / 弱 / 標準 / 強	強	メディアを吸着する強さを設定します。 メディアの浮きによるメディアジャムやプリントヘッド破損を防止できます。
フィード速度	ホスト / 10 ~ 100 ~ 200 %	100	メディアの送り速度を設定します。 - プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。 100%以上に設定した場合、プリント終了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られないため、画質に影響するおそれがあります。
オートクリーニング	-	-	設定値を超えたファイルがプリント終了したあとに、自動でヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
設定	ファイル / 距離 / 時間 / OFF	-	自動でヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
間隔	-	-	自動でヘッドクリーニングをさせる間隔を設定します。
(ファイル)	1 ~ 1000	-	ファイル数を選択したときの間隔を設定します。
(距離)	0.1 ~ 100.0 m	-	プリント長さを選択したときの間隔を設定します。
(時間)	10 ~ 60 ~ 240 min	-	プリント時間を選択したときの間隔を設定します。
タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	-	ヘッドクリーニングのタイプを設定します。

項目		設定値		内容
		*1	*2	
	クリーニング後 チェック	ON / OFF	-	自動でヘッドクリーニングが終了したあとに、ノズルチェックをさせるかどうかを設定します。
UVモード		ON / OFF / 印刷無し	ON	UV-LEDの照射するかどうかを設定します。 - ON：UV-LEDを照射します。 - OFF：UV-LEDを照射しません。 - 印刷なし：プリントせずに、UV-LEDを照射します（通常は使用しません）。
MAPS4		-	-	MAPS：Mimaki Advanced Pass System - パスの境界を分散させて、パス間の送り縞を目立ちにくくさせる機能です。 - MAPSを変更すると、色の変化がみられることがあります。また、画像によっては効果が得られないことがあります。
	MAPS4	AUTO / MANUAL	-	通常は"AUTO" で使用してください。"MANUAL"に設定すると、以下の項目が表示されます。
	スミージング レベル	0 ~ 100 %	-	スミージングレベルを上げると、縞が目立ちにくくなります。
	速度	50 ~ 100 %	-	速度を下げると、縞が目立ちにくくなります。ただし、プリント速度が遅くなります。
	拡張	ON / OFF	-	"ON"に設定すると、縞が目立ちにくくなります。ただし、粒状感が増すおそれがあります。
イオナイザ		ON / OFF	-	イオナイザー（オプション）の設定します。詳しくは、"イオナイザ取扱説明書"をご覧ください。 オプションを接続しているときに表示されます。
設定リセット		-	-	設定した内容を初期化します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. RIP用 ソフトウェア（ホスト）から設定できない、もしくは本機を優先設定しているときに使用される値です。

設定タイプ名称の変更方法

設定タイプの名称を変更することができます。登録できる文字は、英数字および記号が使用することができます。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 設定タイプが表示されます。

2 設定1~4を選択して、[FUNC2]キーを押す。

- 名称変更画面が表示されます。

3 お好きな名称を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 設定タイプの名称が変更されます。

3.2 メンテナンスメニュー

メンテナンスにお使いいただくメニューです。そのほかにクリーニングやノズル洗浄をしてもノズル詰まりが直らないときに使用するノズルリカバリー機能を設定することができます。

● メニュー一覧

項目		設定値 ^{*1}	内容
ステーションメンテ		-	キャリッジを移動させて、ステーションやプリントヘッド周辺のメンテナンスをします。
	キャリッジアウト	-	
	プラテン右端まで移動	-	キャップやワイパー、NCUなどステーション周辺を清掃します。  「ワイパーの清掃」 (P. 97)  「キャップゴムの清掃」 (P. 98)  「NCUの清掃」 (P. 99)
	メンテスペースまで移動	-	プリントヘッド周辺を清掃します。  「キャリッジ底面の清掃」 (P. 100)  「メディアセンサーの清掃」 (P. 103)  「自動補正センサー (DAS) の清掃」 (P. 101)
ノズル洗浄		1 ~ 60 min	プリントヘッドのノズル面をメンテナンス液で浸して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を復旧します。  「プリントヘッドのノズル洗浄」 (P. 124)
ポンプチューブ洗浄		-	吸引ポンプチューブ（キャップ下）を洗浄します。  「インク排出経路の洗浄」 (P. 102)
保管洗浄		1 ~ 60 min	本機を長期間使わないときに実施します。ノズル洗浄と排路洗浄をして、本機を快適な状態に保ちます。  「長期間使用しないときは」 (P. 105)
ワイパー交換		-	ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー交換をすると、本機で管理されていたワイパー使用回数が初期化されます。  「ワイパーの交換」 (P. 108)
ノズルリカバリ		-	ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。
	プリント	-	パターンをプリントして、ノズルの状態を確認、登録します。  「ノズルリカバリーを登録する」 (P. 82)
	登録	-	パターンをプリントせずに、ノズルを登録します。
	リセット	-	設定した内容を初期化します。
	チェック	-	登録されたノズルがノズルリカバリーできるかどうかをチェックします。  「ノズルリカバリーができるかどうかをチェックする」 (P. 83)
	テストプリント	ON / OFF	テストプリントにノズルリカバリーをしてプリントをするかどうかを設定します。
オートメンテナンス		-	各種メンテナンスを自動で実行するように設定できます。各メンテナンスを実行する間隔を設定してください。 ・ワーニングメッセージ"廃インクタンク交換"が表示されていると、オートメンテナンス機能が実行できません。  「廃インクタンクの交換」 (P. 117)
リフレッシュ		0.5 ~ 4.0 h	リフレッシュをする間隔を設定します。

項目	設定値 ^{*1}	内容
		プリントヘッドのノズルから、少量のインクを吐出します。ノズル詰まりを防止する効果があります。
クリーニング間隔	1 ~ 12 h	ヘッドクリーニングをする間隔を設定します。 プリントヘッドをクリーニングします。ノズル詰まりを防止する効果があります。
クリーニングタイプ	ノーマル / ソフト / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
廃インクタンク	-	廃インクタンクの使用カウントを初期化、もしくは補正します。  「 廃インクタンクの交換 」 (P. 117)
インク充填	-	インクを充填して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を解消します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

ノズルリカバリーを登録する

ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。

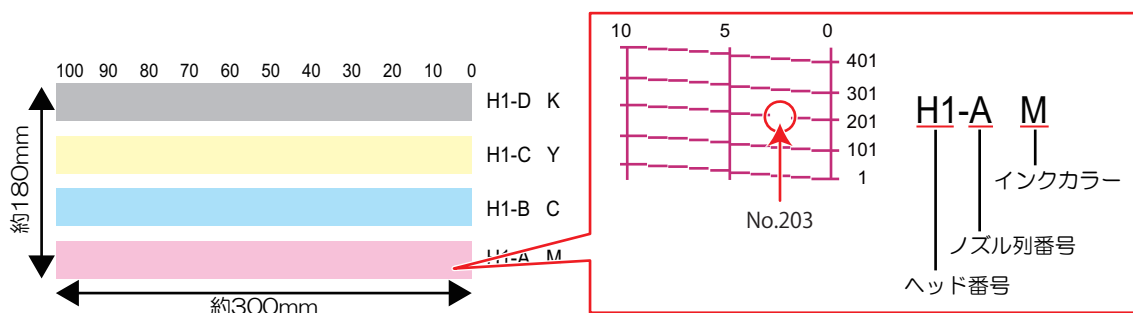


- ノズルリカバリーを1ノズル列あたり10個まで登録できます。ノズルリカバリーを設定しても、プリント時間は変わりません。

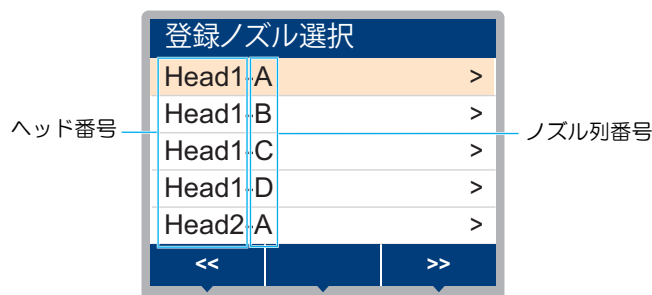


- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

- メディアをセットする。
- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ノズルリカバリ] > [プリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- ノズルリカバリーしたいヘッドを選択して、[ENTER]キーを押す。
- “プリント開始”を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ノズルリカバリーパターンをプリントします。
 - プリントが終了したあとに、登録ノズル選択画面が表示されます。

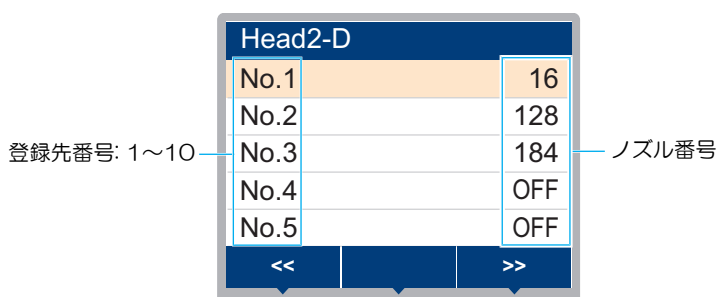


6 ノズルリカバリーをしたい”ヘッド番号-ノズル列番号”を選択して、[ENTER]キーを押す。



7 ノズルリカバリーをしたい”ノズル番号”を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 登録先の番号を選択してから、"ノズル番号"を入力します。
- ノズルリカバリーが設定されます。



8 登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。



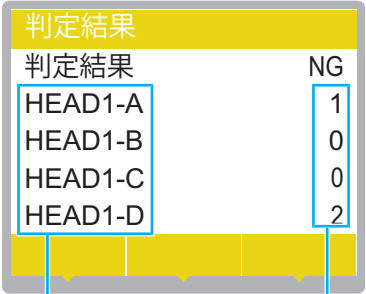
- [メンテナンス]>[ノズルリカバリ]>[テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリされてテストプリントされます。☞「テストプリントをする」(P. 60)

ノズルリカバリーができるかどうかをチェックする

- メディアをセットする。
- ローカルモードから[MENU]>[メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ノズルリカバリ]>[チェック]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - 判定条件画面が表示されます。
- お使いになるプリント条件を入力する。



- 5 [FUNC2]キーを押す。
- 判定結果が表示されます。

OK	No good										
 The screen shows a blue header with the text "判定結果" (Judgment Result). Below it, the text "判定結果" is on the left and "OK" is on the right.	 The screen shows a yellow header with the text "判定結果" (Judgment Result). Below it, the text "判定結果" is on the left and "NG" is on the right. A table lists the results for four heads: <table><thead><tr><th>判定結果</th><th>NG</th></tr></thead><tbody><tr><td>HEAD1-A</td><td>1</td></tr><tr><td>HEAD1-B</td><td>0</td></tr><tr><td>HEAD1-C</td><td>0</td></tr><tr><td>HEAD1-D</td><td>2</td></tr></tbody></table> Below the table, there are four yellow bars. A label "ヘッド番号-ノズル列" (Head number-Nozzle row) points to the first bar. A label "リカバリーできないノズル数" (Number of nozzles that cannot be recovered) points to the value "2" in the NG column for HEAD1-D.	判定結果	NG	HEAD1-A	1	HEAD1-B	0	HEAD1-C	0	HEAD1-D	2
判定結果	NG										
HEAD1-A	1										
HEAD1-B	0										
HEAD1-C	0										
HEAD1-D	2										

- 6 登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。

3.3 マシン設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー一覧

項目		設定値 ^{*1}	内容
オートパワーオフ		しない / 5 ~ 15 ~ 600min	自動で電源を切る時間を設定します。
オートパワーオン		-	自動で電源を入れて、インクの加温制御を開始する時間を設定します。インクの加温制御中は、プリントすることができません。オートパワーオンを設定しておく、インクの加温制御の待ち時間が短縮することができます。ただし、インクの加温制御が規定値に達してから20分間何も操作しないと、スタンバイ状態になります。 (F/W ver.3.0より対応)
	設定	ON / OFF	電源を入れるかどうかを設定します。
	時刻	0:00 ~ 23:59	電源を入れる時刻を設定します。
	曜日	-	曜日ごとに、電源を入れる/入れないを設定します。
	ノズルチェック	ON / OFF	オートパワーオンで起動されたとき、自動でノズルチェック機能を実行します。"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
	クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
	リトライ回数	0 ~ 3回	指定回数分、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
巻取ユニット		-	巻き取りユニットの動作を設定できます。
	巻取ユニット	ON / OFF	巻き取りユニットを使わない場合は、OFFにしてください。
	巻取スイッチ	継続 / 一時	ローカルモードで、巻き取りユニットのON / OFFボタンの動作を設定します。 - 継続：ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を繰り返します。 - 一時：ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転します。スイッチを放すと、回転が止まります。
メディア残量		ON / OFF	リモートモードでロールメディア残量を表示、プリントすることができます。 - ON：メディア幅検出後に、入力画面が表示されます。▲ ▼を押して、メディアの長さを設定します。 "原点設定"画面で[FUNC3]キーを押すと、日付とメディア残量をプリントすることができます。 - OFF：メディア残量は表示されません。
メディア検出		-	メディア幅の検出方法を設定します。
	検出方法	AUTO / MANUAL	- AUTO：センサーを使って、メディアの幅を自動で検出します。 - MANUAL：◀ ▶を押して、メディアの幅を手動で決定します。 - AUTOで検出できないメディアを使用する場合、"MANUAL"に設定してください。
	起動時検出	ON / OFF	本機起動時にクランプレバーが下がっているとき、自動でメディアを検出します。自動で検出したくない場合は、OFFにしてください。

項目		設定値 ^{*1}	内容
	検出速度	高速 / 標準	- 高速：透明、反射メディアを検出する場合など、メディアの検出に失敗するおそれがあります。検出に失敗した場合は"標準"で設定してください。 - 標準：メディアの検出に失敗したりする場合は、"標準"に設定してください。
LANGUAGE		English / 日本語 / 中文	表示言語を設定します。
時刻設定		-20h ~ 0 ~ +4h	現在の日付と時刻を設定します。（日本時間基準） -20 ~ +4 時間の間で設定できます。
単位 / 温度		°C / °F	温度の表示単位（摂氏/華氏）を設定します。
単位 / 長さ		mm / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。 "inch"に設定しても、"mm"単位で表示している項目もあります。
キーブザー		ON / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。 "OFF"に設定しても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。
確認フィード		ON / OFF	テストプリントなどのプリント結果を確認するために、メディアを前方向にフィードさせるかどうかを設定します。
ページ間余白		無し / 10~500mm	連続プリントのとき、プリント間の余白を削減することができます。 - 余白の長さを短くすると、メディアにたるみが生じて、メディアの送り量が変わってしまうおそれがあります。 - フィード方向のデータサイズやパス数によって、設定した値より余白が広くなる場合があります。
余白フィード方式		間欠 / 連続	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。 - 間欠：パス分割単位での間欠フィード動作する。 - 連続：データがない部分を一度にフィードする。
ネットワーク		-	ネットワークのアドレスを設定します。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。
	IPアドレス確認	-	本機が使用中のIPアドレスが表示されます。 IPアドレスが確定するまで、時間がかかります。IPアドレスが未確定の場合、"0.0.0.0"と表示されます。
	MACアドレス確認	-	本機が使用中のMACアドレスが表示されます。
	DHCP	ON / OFF	"ON"の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスが使用されます。
	AutoIP	ON / OFF	"ON"の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスが決定されます。ただし、DHCPが"ON"の場合は、DHCPが優先されます。
	IPアドレス	-	本機が使用するIPアドレスを設定します。 [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	デフォルト ゲートウェイ	-	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。 [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	DNS アドレス	-	本機が使用するDNSサーバーのアドレスを設定します。 [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。

項目		設定値 ^{*1}	内容
	サブネット マスク	-	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
イベントメール		-	イベント（プリントの開始や終了、中断など）が発生したときに、設定したメールアドレスにメールを送信させることができます。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。🔗「イベントメール機能の設定」（P. 88）
	メール送信	ON / OFF	イベントメールを送信するかどうかを設定します。
	送信イベント選択	-	
	プリント開始	ON / OFF	プリント開始時にメールを送信するかどうかを設定します。
	プリント終了	ON / OFF	プリント終了時にメールを送信するかどうかを設定します。
	プロット開始	ON / OFF	カット開始時にメールを送信するかどうかを設定します。
	プロット終了	ON / OFF	カット終了時にメールを送信するかどうかを設定します。
	エラー	ON / OFF	エラー発生時にメールを送信するかどうかを設定します。
	ワーニング	ON / OFF	ワーニング発生時にメールを送信するかどうかを設定します。
	その他	ON / OFF	上記以外のイベント発生時にメールを送信するかどうかを設定します。
メールアドレス		-	送信先メールアドレス（英数字、記号、96 文字以内）を設定します。
件名		-	件名に記載する文字（英数字、記号、8文字以内）を設定します。
サーバー設定		-	
	SMTPアドレス	-	SMTPサーバーを設定します。
	SMTPポート No.	-	SMTPのポート番号を設定します。
	送信元メールアドレス	-	送信元メールアドレス（英数字、記号、64文字以内）を設定します。 • サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定すると、メールを送信させることができます。
	認証方式	OFF / POP before SMTP / SMTP 認証	SMTP サーバーの認証方式を設定します。
	ユーザー名	-	認証に使用するユーザー名を設定します（英数字、記号、30 文字以内）。 • [認証方式]が"OFF"以外を選択したときに設定することができます。
	パスワード	-	認証に使用するパスワードを設定します（英数字、記号、15 文字以内）。 • [認証方式]が"OFF"以外を選択したときに設定することができます。
	POP3アドレス	-	POPサーバーを設定します。 • [認証方式]が"POP before SMTP"の場合に設定することができます。
	APOP	-	APOPのON / OFFを設定します。

項目		設定値 ^{*1}	内容
			・ [認証方式]が“POP before SMTP”の場合に設定することができます。
	テストメール送信	-	テストメールを送信します。🔗 「テストメール送信」 (P. 88)
自動リモート		ON / OFF	ローカルモードのときにデータを受信すると、自動的にリモートモードへ移行してプリントを開始するかどうかを設定します。
カット前フィード		ON / OFF	メディアカット前のメディアフィードをするかどうかを設定します。
リセット		-	設定した内容を初期化します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

イベントメール機能の設定

イベント（プリントの開始や終了、中断など）が発生したときに、設定したメールアドレスにメールを送信することができます。



- ・ SSL（Secure Socket Layer）暗号化通信には対応していません。



- ・ イベントメール機能を使用するには、LANケーブルを接続してください。
🔗 「LANケーブルを使う」 (P. 32)

免責事項

- ・ メール通知、その他インターネットの通信費用は、お客様負担となります。
- ・ インターネット環境や機器の不具合などの要因により、イベントメールが届かないことがあります。不達や遅延などにおいて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。

テストメール送信

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [マシン設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ マシン設定メニューが表示されます。
- 2 [イベントメール] > [テストメール送信]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 [ENTER]キーを押す。
 - ・ 送信結果が表示されます。
 - ・ テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードが表示されます。エラーコード一覧表を参照して、対処してください。

テストメール 送信
失敗 : 1 2 3 4 5

エラーコード



- ・ 送信が完了してもメールが届かないことがあります。メールを受信する端末側で、迷惑メールフィルターなど設定していないかどうかを確認してください。
- ・ サーバーの設定等については、ネットワーク管理者、またはプロバイダーにご相談ください。

- 4 テストが終了したあとに、[ENTER]キーを押す。

● エラーコード一覧

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワークの接続エラーです。	- 本機がネットワークに接続されているかどうかを確認してください。 - 本機のIPアドレスを確認してください。 - 本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません。	正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POPサーバーが見つかりません。もしくはDNSサーバーにアクセスできません。	- POPサーバーのアドレスを確認してください。 - 本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認してください。
11021	POPサーバーに接続できません。	- POPサーバーの設定を確認してください。 - ファイアウォールの設定を確認してください。
12010	POPサーバーからエラーが返答されました。	POPサーバーの設定を確認してください。
13000	POP認証に失敗しました。	- ユーザー名とパスワードを確認してください。 - APOPの設定を確認してください。 - 認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTPサーバーが見つかりません。もしくはDNSサーバーにアクセスできません。	- SMTPサーバーのアドレスを確認してください。 - 本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認してください。
10021	SMTPサーバーに接続できません。	- SMTPサーバーの設定を確認してください。 - SMTPポート番号を確認してください。 - ファイアウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTPサーバーからエラーが返答されました。もしくは応答がありません。	- SMTPサーバーの設定を確認してください。 - SSL通信が必須のサーバーとは通信できません。 - プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです。	サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定してください。
13***	メールの宛先が見つかりません。もしくは無効なメールアドレスです。	- メールアドレスを確認してください。 - メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 - サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定してください。
22000 22008	SMTP認証エラー。	認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP認証に失敗しました。	ユーザー名とパスワードを確認してください。

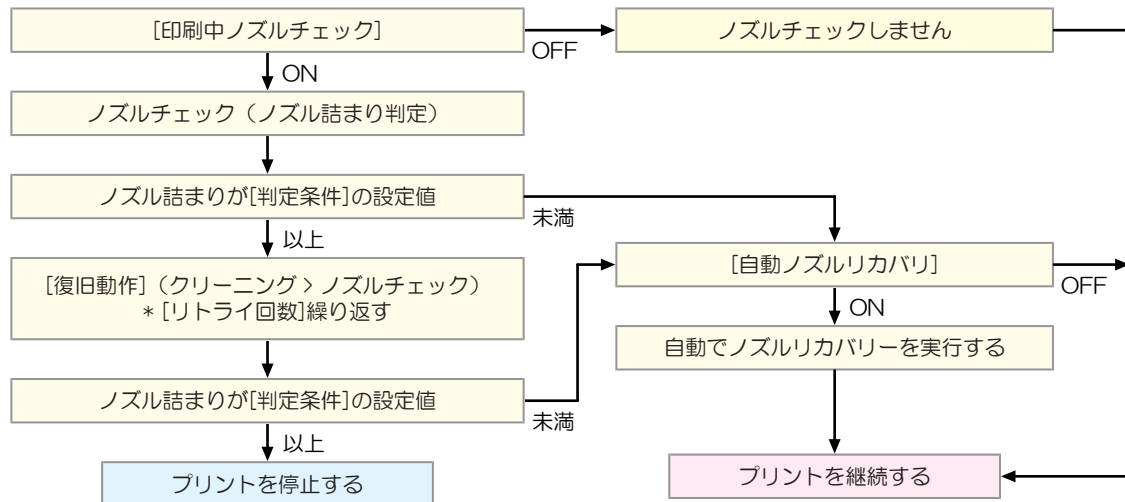
1. ***はメールサーバーから返答されたエラーコード



- エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してください。

3.4 ノズルチェックメニュー

プリント前にノズル詰まりがあるかどうかをチェックします。ノズル詰まりがあった場合、自動でメンテナンス機能を実行させるかどうかを設定します。



● メニュー一覧

項目	設定値 ^{*1}	内容
印刷中チェック	ON / OFF	プリント開始前に自動でノズル詰まり検出動作を実行します。
チェック間隔	-	ノズル詰まり検出動作のタイミングを設定します。
距離	0.1 ~ <u>30.0</u> ~ 100.0m	設定した距離に達したあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
ファイル	1 ~ <u>30</u> ~ 1,000ファイル	設定した数のファイルをプリントしたあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
復旧動作	-	"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
クリーニング	<u>ソフト</u> / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	<u>0</u> ~ 3回	指定回数分、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
自動ノズルリカバリ	ON / OFF	"ノズル詰まり"と判定された場合、自動でノズルリカバリを実行します。手動で設定したいときは、以下を参照してください。 ☞ 「ノズルリカバリを登録する」 (P. 82)
判定条件 ^{*2}	OFF / 1 ~ <u>10</u> ~ 100ノズル	"ノズル詰まり"と判定するノズル数をノズル列ごとに設定します。連続プリント中に"ノズル詰まり"と判定された場合、次のプリントは開始されません。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. ノズルリカバリが適用されないプリント条件があります。



- ノズルチェックを実行中にエラーが発生した場合、次のプリントを自動で停止して、[印刷中チェック]が"OFF"に変更されます。エラーを解消したら、[印刷中チェック]を手動で"ON"に設定してください。

3.5 情報メニュー

本機の各種情報を確認することができます。

● メニュー一覧

項目		内容
使用状況	ワイピング	ワイピングした回数が表示されます。 ・表示中に[FUNC2]キーを押すと、使用回数を初期化することができます。
	廃インクタンク	廃インクタンクに溜まっている廃インク量の目安（%）が表示されます。 ・表示中に[FUNC1]キーを押すと、廃インク量を初期化することができます。
	プリント長	累積されたプリント長が表示されます。
	プリント面積	累積されたプリント面積が表示されます。
	使用時間	累積された電源オンの時間が表示されます。
	UVランプ	累積されたUVランプ照射時間が表示されます。
バージョン		本機のファームウェア、その他のバージョンが表示されます。
エラー履歴		エラー、ワーニングの履歴が表示されます。 ・発生順に発生日時とエラー、ワーニング情報をキー操作で切り替えて表示します。
リスト		本機の情報をプリントすることができます。

第4章 メンテナンス



この章では...

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。

メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

メンテナンスに関するご注意.....	94	消耗品の交換.....	108
メンテナンスの方法.....	95	ワイパーの交換.....	108
メンテナンス項目とタイミング.....	95	キャップの交換.....	109
インクのメンテナンス.....	96	キャップ吸収材の交換.....	110
ホワイトインクのメンテナンス.....	96	LEDガラスの交換.....	112
ワイパーの清掃.....	97	ピンチローラーの交換.....	113
キャップゴムの清掃.....	98	メディア押さえの交換.....	113
NCUの清掃.....	99	メディア裁断カッターの交換.....	116
キャリッジ底面の清掃.....	100	廃インクタンクの交換.....	117
自動補正センサー（DAS）の清掃.....	101		
インク排出経路の洗浄.....	102		
メディアセンサーの清掃.....	103		
メディア押さえの清掃.....	104		
プラテンの清掃.....	104		
カバー（外装）の清掃.....	105		
長期間使用しないときは.....	105		

4.1 メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



注記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

4.2 メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
定期的に	インクボトルを振ってください。☞ 「インクのメンテナンス」 (P. 96)
1週間の作業が始まる前	ホワイトインクのメンテナンスをしてください。☞ 「ホワイトインクのメンテナンス」 (P. 96)
1週間の作業が終わったとき	ワイパーとワイパーブラケットを清掃してください。☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 97)
	キャップゴムを清掃してください。☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 98)
	NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 99)
	キャリッジの底面を清掃してください。☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 100)
	UV-LEDランプの底面を清掃してください。キャリッジ底面の清掃
	DASセンサーを清掃してください。☞ 「自動補正センサー (DAS) の清掃」 (P. 101)
	インク排出の経路を清掃してください。☞ 「インク排出経路の洗浄」 (P. 102)
	メディアセンサーを清掃してください。☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 103)
	メディア押さえを清掃してください。☞ 「メディア押さえの清掃」 (P. 104)
	プラテンを清掃してください。☞ 「プラテンの清掃」 (P. 104)
	カバー (外装) を清掃してください。☞ 「カバー (外装) の清掃」 (P. 105)
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞ 「廃インクタンクを交換する」 (P. 118)
1週間以上使わないとき	ワイパーの清掃、キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了した後は、主電源は切らずに保管してください。☞ 「長期間使用しないときは」 (P. 105)

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクボトルを振っていただくことをお勧めします。

UVインク：1か月に1回程度。

UVホワイトインク：1日に1回程度。



- 本機はホワイトインクを攪拌してからの経過時間をカウントしています。規定値になるとディスプレイに「ホワイトインクボトルを振ってください」と表示されます。メッセージが表示されたら、以下の内容にしたがってホワイトインクを振ってください。
メッセージが表示されるタイミング：24時間ごと（電源を切っている場合は、電源を入れたとき）。

● インクボトルを振る

1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- インクボトルのフタをしっかりと締めて、紙タオルなどでインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

ホワイトインクのメンテナンス

ホワイトインクに含まれている成分が、他のインクに比べて沈降しやすい性質があります。インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。1週間に一回、本機をご使用になられる前に、以下の内容にしたがってメンテナンスをしてください。

1 ホワイトインクのインクボトルを振る。

- 🔊 「インクのメンテナンス」 (P. 96)

2 正面カバーを閉める。



- 必ず正面カバーを閉めてください。インクを攪拌する動作が開始されます。

3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

4 [ホワイトメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

5 メディアを外して、[ENTER]キーを押す。

6 [ENTER]キーを押す。

- ・ 自動で排出/充填/クリーニングを実行します。
- ・ 経過時間が表示されます。

ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面を傷つけて、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

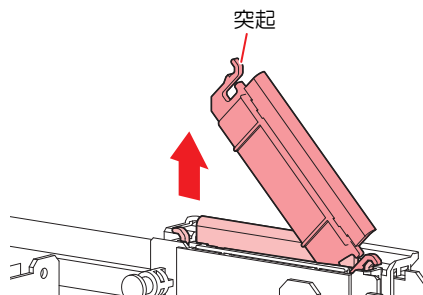
- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

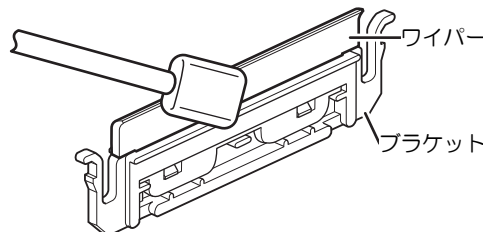
- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。**4** ワイパーを外す。

- ・ ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。

**5** ワイパーとブラケットを清掃する。

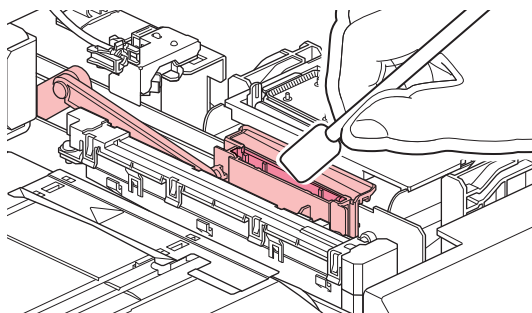
- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



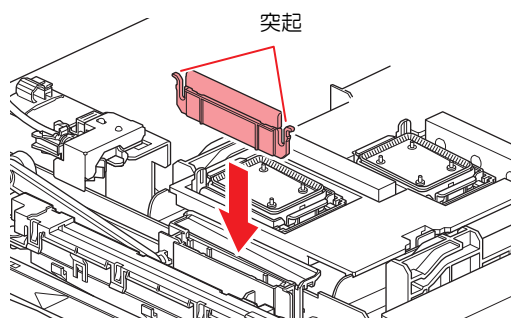
- ・ ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。🔧 「ワイパーの交換」 (P. 108)

6 ワイパースライダーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 ワイパーを元の位置にセットする。



- 吸収材ケースの中の吸収材は、取り外さないでください。インクが溢れるおそれがあります。

8 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割があります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

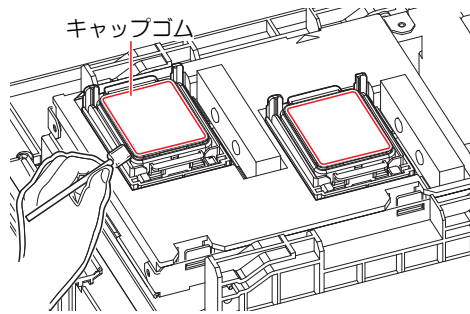
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

4 キャップゴムを清掃する。

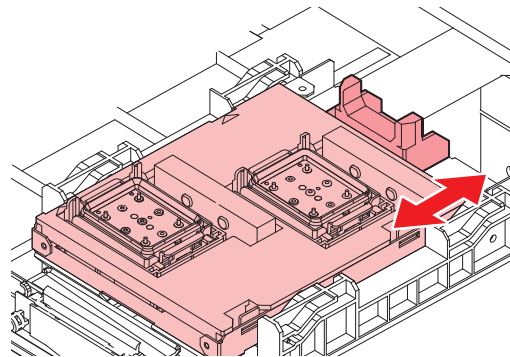
- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終わったら、キャップスライダーの傾きを確認する。



- キャップスライダーが傾いている場合、スライダーストックを左右へ動かして、傾きを直してください。



6 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

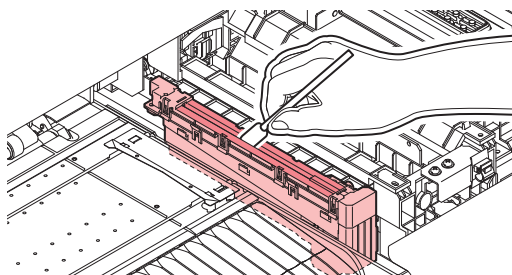
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

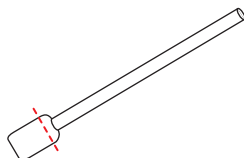
3 正面カバーを開く。

4 NCUを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

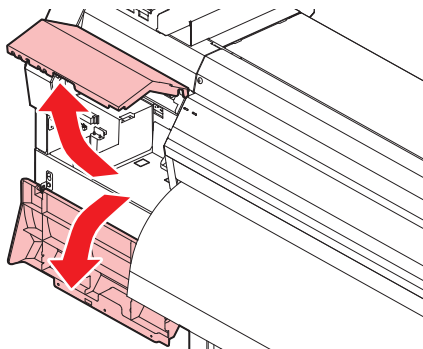
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

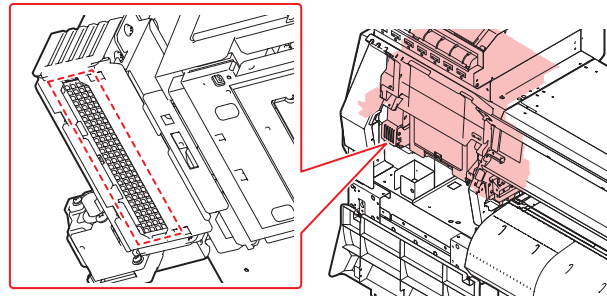
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。



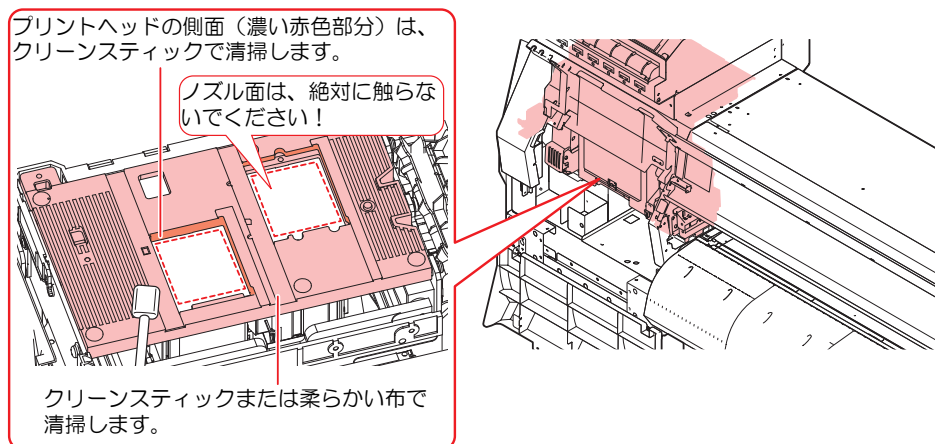
4 UV-LEDランプを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 プリントヘッド周辺を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。

6 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

自動補正センサー（DAS）の清掃

キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、自動補正機能（ドットの着弾位置を自動で補正）が実行できないおそれがあります。

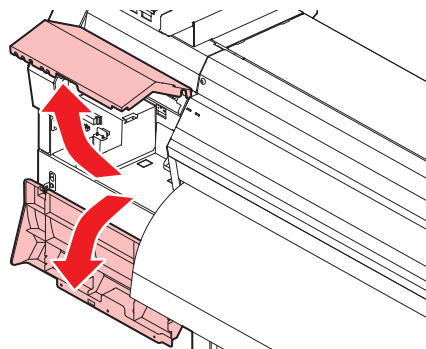
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

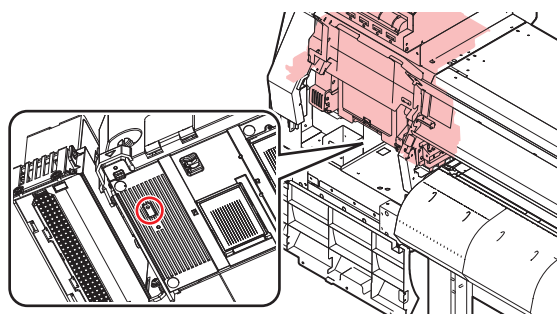
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。



4 DASセンサーを清掃する。

- 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

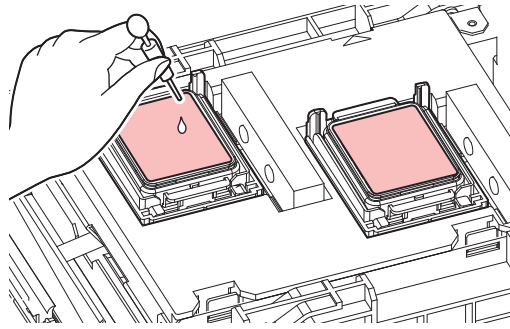
2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。
- ディスプレイに「洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]」と表示されます。

3 正面カバーを開く。

4 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

- スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

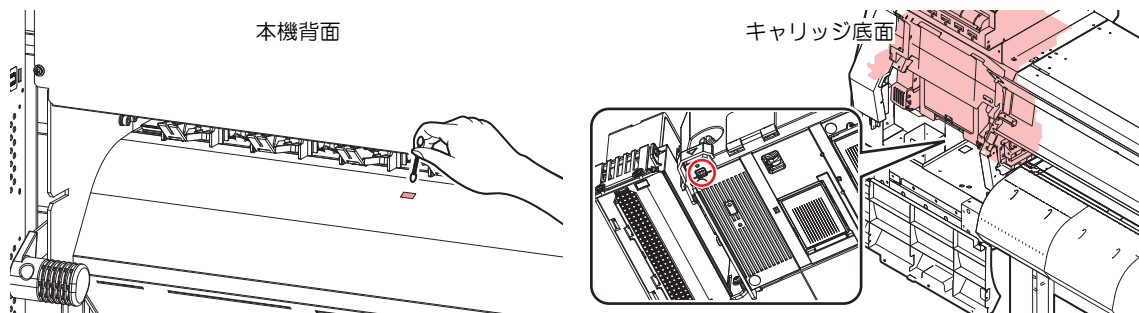


5 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

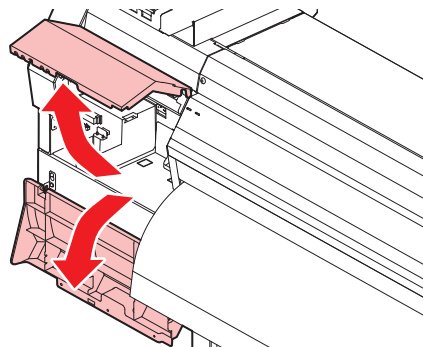
メディアセンサーの清掃

背面側のリアカバーとキャリッジ底面に、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



● キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



4 メディアセンサーを清掃する。

5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

メディア押さえの清掃

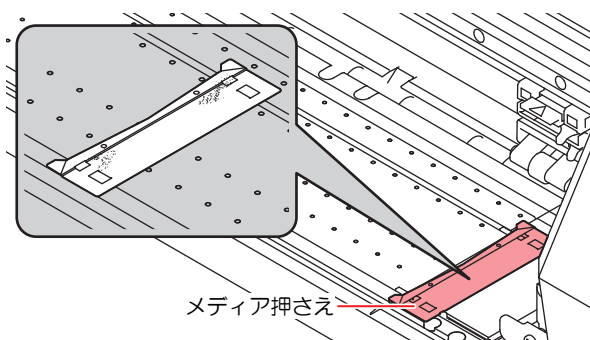


- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

プラテンの清掃

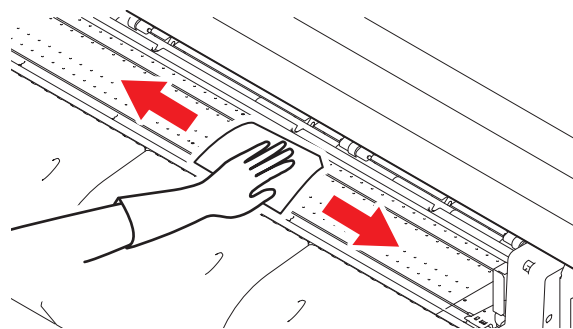


- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- メディア押さえをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。

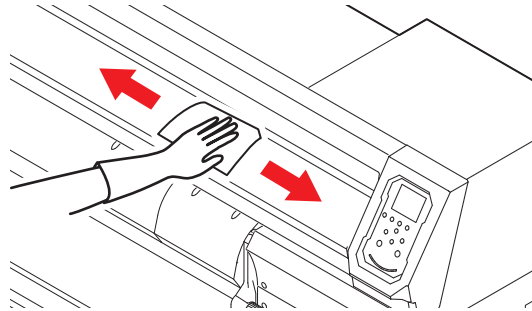


- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

事前に確認してください

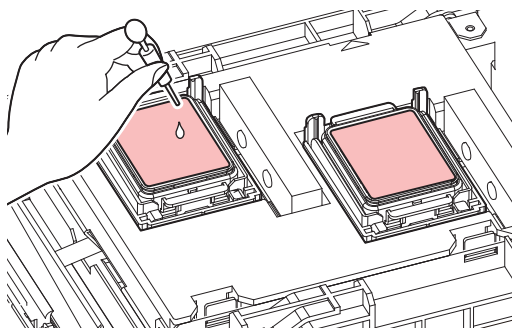
[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？

- 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 ワイパーとブラケットを清掃する。
 - 「ワイパーの清掃」 (P. 97)
- 5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。
 - ディスプレイに「キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]」と表示されます。
- 6 キャップゴムを清掃する。
 - 「キャップゴムの清掃」 (P. 98)
- 7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
 - ディスプレイに「洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]」と表示されます。

8 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

- ・ スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**9** 正面カバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**10** 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

- ・ プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。

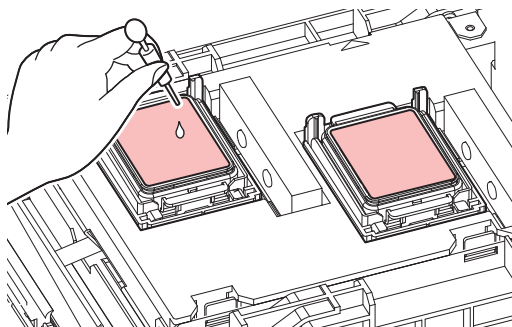


- ・ F/W ver.6.3より、放置時間を設定できるようになりました。

- ・ プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- ・ ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。

11 正面カバーを開く。**12** キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

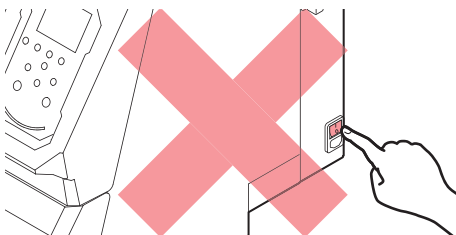
- ・ スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**13** 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ・ ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。



- ・ 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。





- プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。



- ディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されたら、以下を実施してください。
 「[廃インクタンクの交換](#)」(P. 117)

4.3 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>）にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

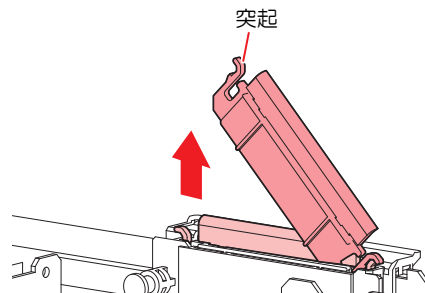


- ・ 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

ワイパーの交換

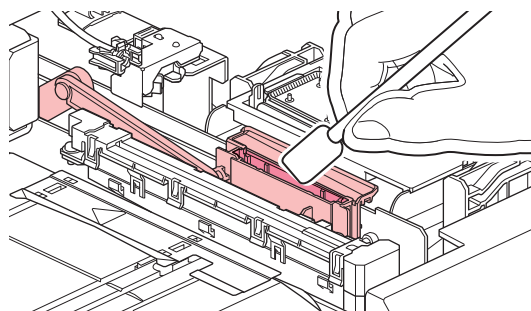
本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに"ワイパー交換"が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

- 1 ディスプレイに"ワイパー交換"が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 4 正面カバーを開く。
- 5 ワイパーを外す。
 - ・ ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。

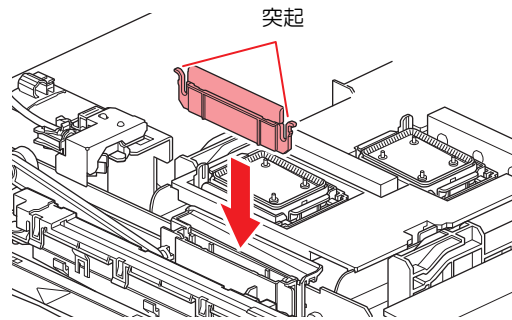


6 ワイパーライダーを清掃する。

- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 新しいワイパーをセットする。



8 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

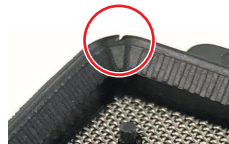
- ・ ワイパーの使用回数が初期化されます。

キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。



- ・ キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

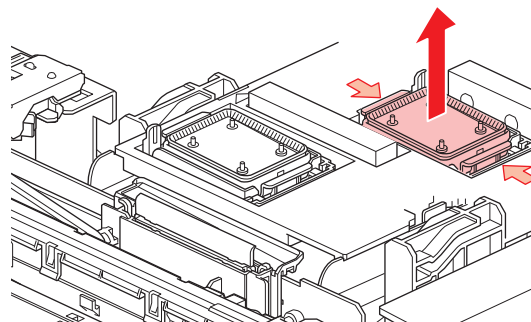
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

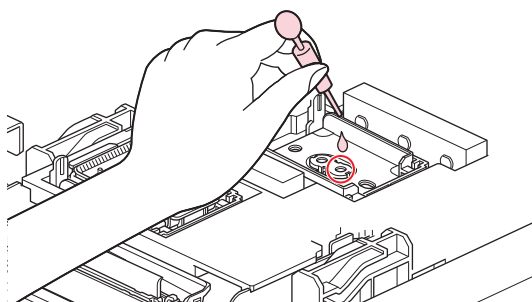
4 キャップを外す。

- ・ キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。



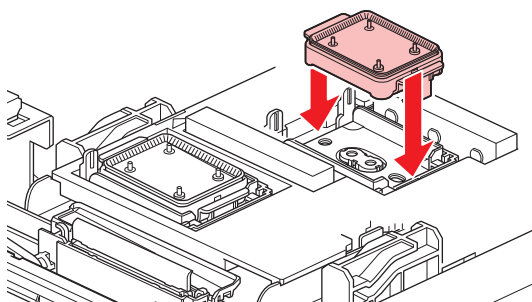
5 メンテナンス液を塗布する。

- ・ スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。



6 新しいキャップをセットする。

- ・ 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。



7 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャップ吸収材の交換

キャップ吸収材の汚れが激しいときや、メディアにボタ落ちなどがみられる場合は、新しいキャップ吸収材に交換してください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

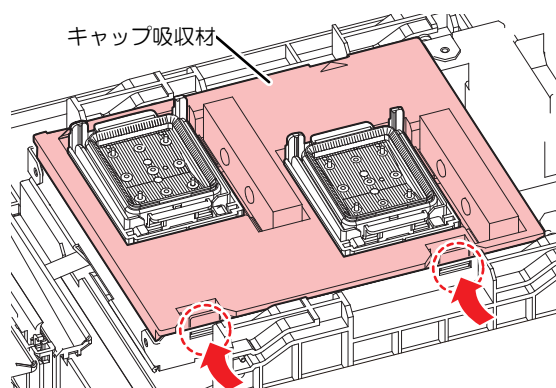
- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 主電源を切る。

4 正面カバーを開く。

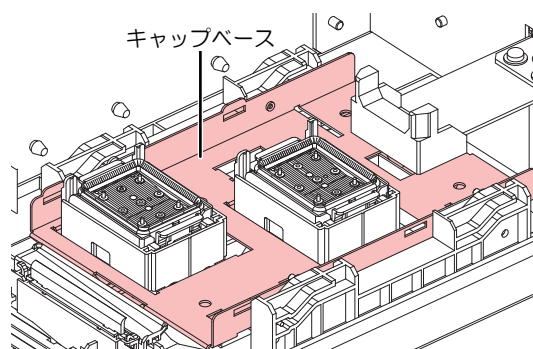
5 キャップ吸収材を外す。

- 手前のツメを押し上げて外します。



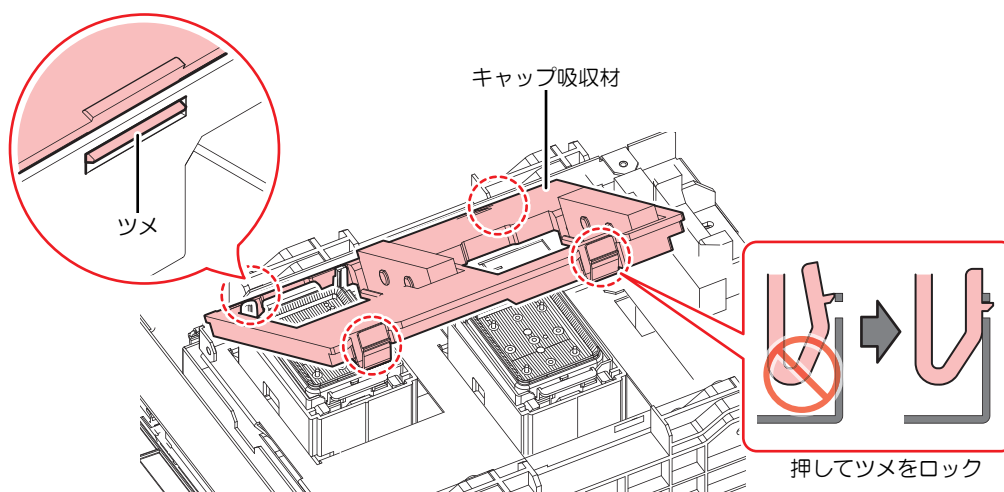
- キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

6 キャリッジベースを清掃する。



7 新しいキャップ吸収材をセットする。

- Cスライダーの奥側のスリットにキャップ吸収材のツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。



8 交換が終わったら、ワイパーを手動で奥に戻す。

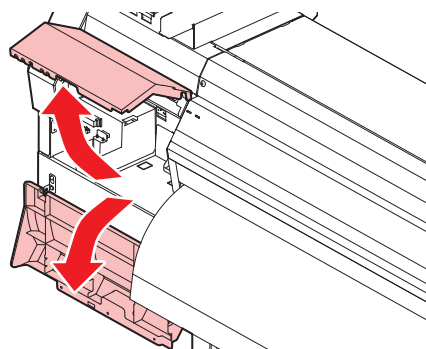
9 正面カバーを閉めて、電源を入れる。

- キャリッジがステーションに戻ることを確認してください。

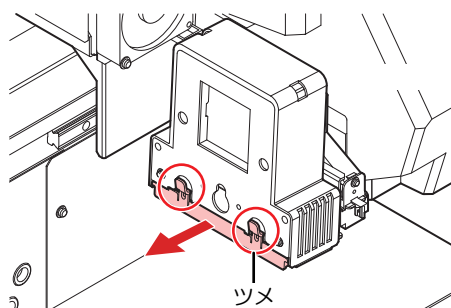
LEDガラスの交換

インクが硬化して汚れているときは、新しいLEDガラスに交換してください。

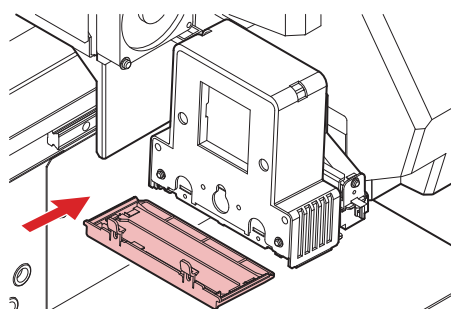
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



- 4 LEDガラスを外す。
 - ・ ツメを外してから、矢印の方向にスライドさせて外します。
 - ・ ツメを外すときに、力を入れすぎないようにご注意ください。ツメが折れてしまうおそれがあります。



- 5 新しいLEDガラスをセットする。
 - ・ カチッと音がするまで挿し込み、ツメが固定されたことを確認してください。



- 6 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

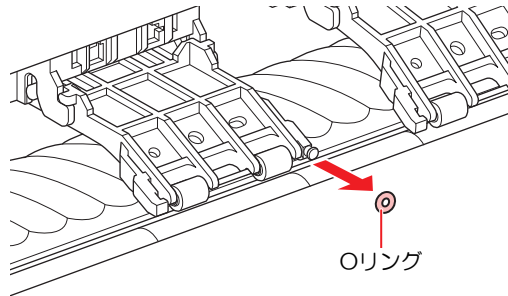
ピンチローラーの交換

ピンチローラーに摩耗や汚れがみられる場合は、新しいピンチローラーに交換してください。



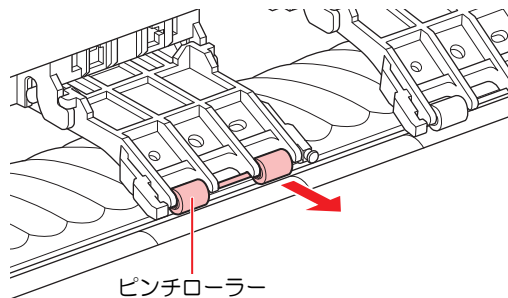
- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 ピンチローラーを固定しているOリングを外す。



- ・ 部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

- 4 ピンチローラーを外す。



- 5 新しいピンチローラーをセットして、Oリングで固定する。
- 6 正面カバーを閉める。

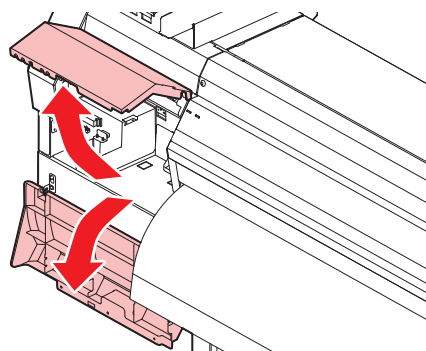
メディア押さえの交換

メディア押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえに交換してください。

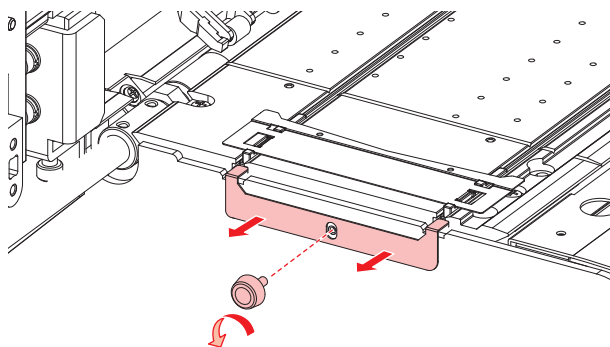


- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

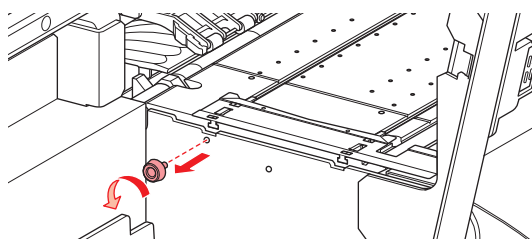
1 メンテナンスカバーを開く。



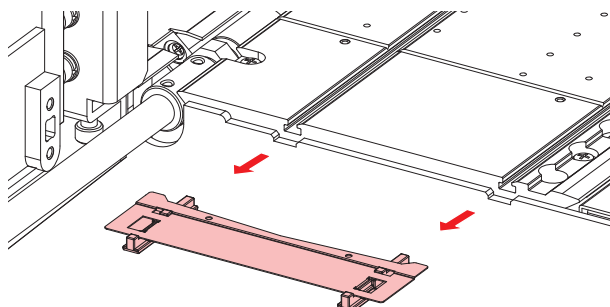
2 側面のネジを外して、メディア押さえストッパーを外す。



• メディアストッパーがない場合は、イラストのネジを外します。

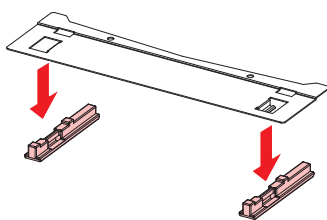


3 メディア押さえを外す。

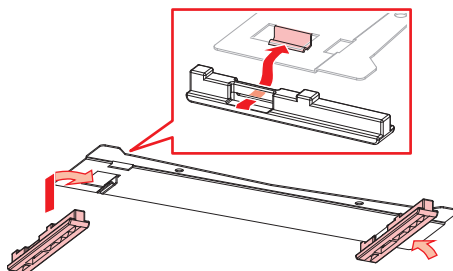
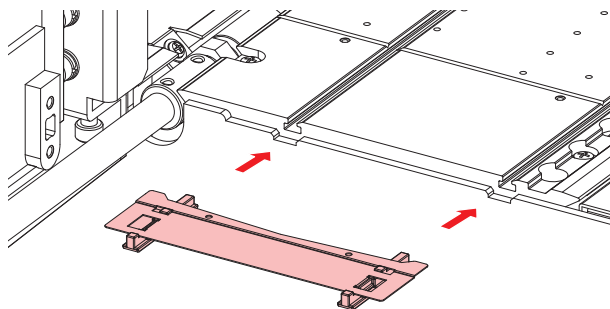
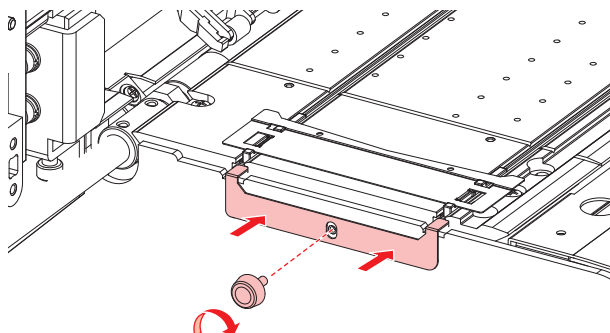


4 メディア押さえから、スライダーを外す。

- ・ 外したスライダーは紛失しないように注意してください。

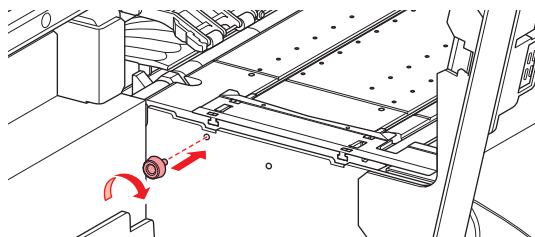
**5** 新しいメディア押さえに、スライダーをセットする。

- ・ メディア押さえの突起にスライダーの穴を引っ掛けます。

**6** プラテンに新しいメディア押さえをセットする。**7** メディア押さえストッパーをネジで固定する。



- メディアストッパーがない場合は、イラストのネジ穴にネジを固定してください。



8 メンテナンスカバーを閉める。

メディア裁断カッターの交換

刃先が欠けたり切れ味が悪くなってきたら、新しいカッターに交換してください。



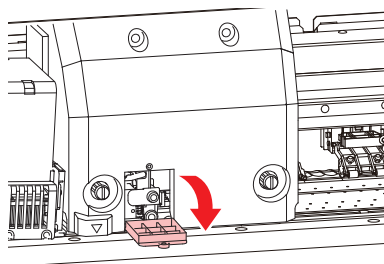
- カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。



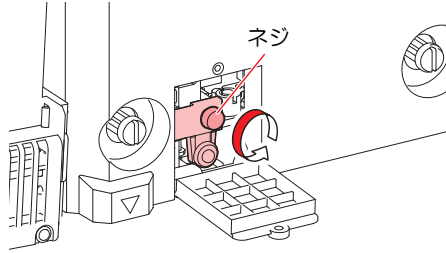
- キャリッジを手動で移動できます。交換しやすい位置にゆっくり移動させてください。

4 ネジを緩めて、キャリッジカバーの窓を開く。

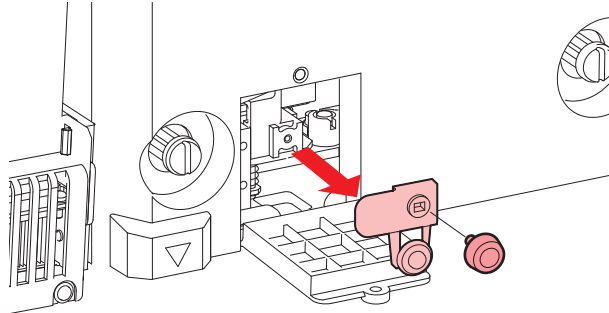


5 メディア裁断カッターを交換する。

(1) カッターのネジを緩める。



(2) カッターを外す。



(3) 新しいカッターをセットする。

(4) ネジを締めて固定する。

6 キャリッジカバーの窓を閉めて、ネジを締める。

7 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクの交換

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機右下にある廃インクタンクにたまります。

本機はインクの排出量をカウントして、規定値になるとディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示されます。廃インクタンクを交換する目安としてお使いください。



- 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



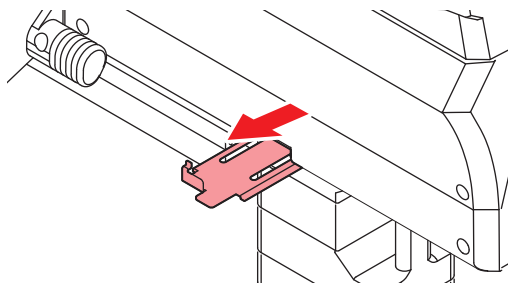
メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

1 ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示される。

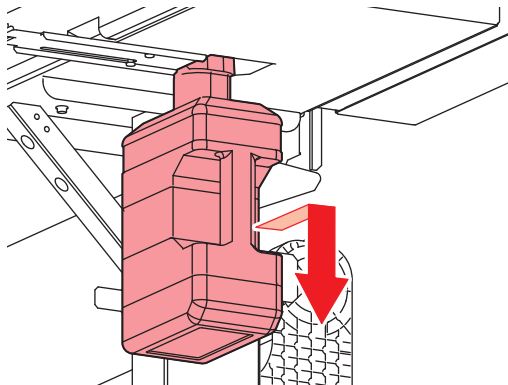
- 2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。
 - ・ 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
 - ・ 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、 「[廃インクタンクを交換する](#)」（P. 118）を実施してください。
- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 4 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)”と表示されます。
- 5 [廃インク量補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 6  を押して、レベルを調整する。
- 7 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクを交換する

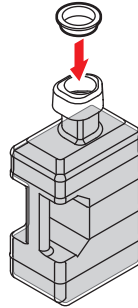
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)”と表示されます。
- 3 [廃インク量リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 4 廃インクタンクのストッパーを手前に引く。



- 5 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。

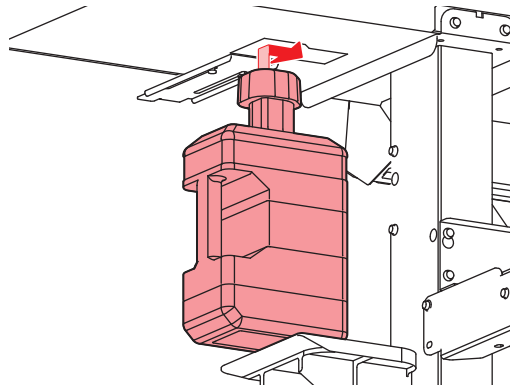


- 6 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。

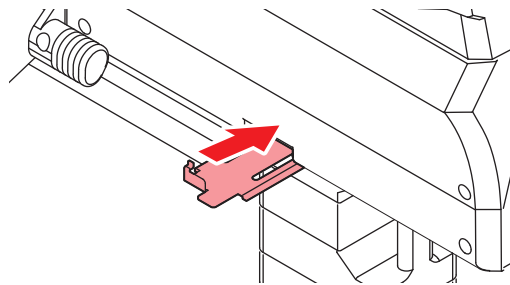


- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

- 7 新しい廃インクタンクをセットする



- 8 廃インクタンクのストッパーを閉じる。



- 9 [ENTER]キーを押す。

- 廃インク排出量が初期化されます。

第5章 困ったときは



この章では...

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示されるメッセージの対処方法などについて説明しています。

故障かな?と思ったときは	122	メッセージを表示するトラブル	127
電源が入らない	122	ワーニングメッセージ	127
プリントできない	122	インクエラー	129
メディア詰まり、メディアが汚れる	122	インクICチップ登録画面で表示されるメッ	
画質不良が発生した	123	セージ	129
インクが漏れた	125	エラーメッセージ	130
遮光カバーが外れてしまった	125	SYSTEM HALT	135

5.1 故障かな?と思ったときは

故障かなと思ったときは、本章を参照して対処してください。また、本機に関するよくあるご質問やサポート動画などは、弊社ウェブサイト（<https://japan.mimaki.com/support/>）にてご覧になれます。

対処しても正常に戻らない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

電源が入らない

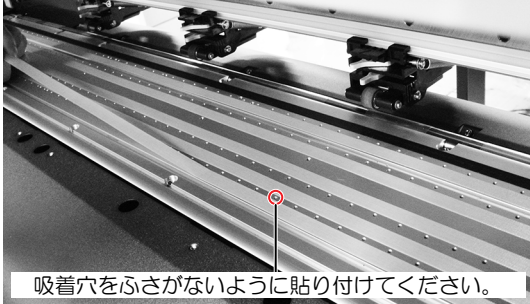
確認すること	対処方法
本機とコンセントが電源ケーブルで接続されていますか？	電源プラグの刃を根元まで挿し込んでください。☞ 「 電源ケーブルを接続する 」（P. 29）
付属の電源ケーブルを使用していますか？	付属の電源ケーブルを使用してください。
主電源が入っていますか？	主電源を入れてください。☞ 「 電源を入れる 」（P. 29）
操作パネルにある、[END/POWER] キーがオンになっていますか？	電源を入れてください。☞ 「 電源を入れる 」（P. 29）

プリントできない

確認すること	対処方法
USBインターフェースケーブルが、接続されていますか？	USB2.0ポートに、根元まで挿し込んでください。☞ 「 USBケーブルを使う 」（P. 32）
LANケーブルが、接続されていますか？	LANポートに、根元まで挿し込んでください。☞ 「 LANケーブルを使う 」（P. 32）
弊社指定のLANケーブルを使用していますか？	LANケーブルの種類を確認してください。☞ 「 LANケーブルを使う 」（P. 32）
操作パネルにあるステータスランプが、赤色に点滅/点灯していませんか？	エラーが発生しています。ディスプレイのメッセージを確認してください。☞ 「 操作パネル 」（P. 25）

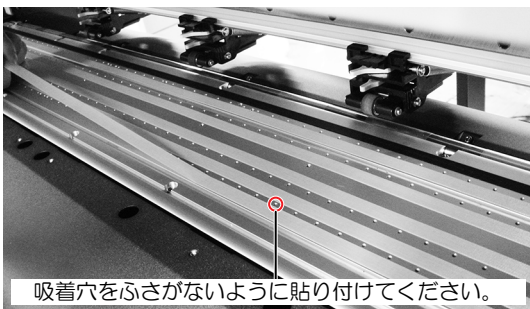
メディア詰まり、メディアが汚れる

確認すること	対処方法
推奨のメディアを使用していますか？	推奨のメディアを使用してください。 https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html
カールしてるメディアを使用していないですか？	カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。
メディアが斜行していませんか？	巻き取りユニットを使用してください。もしくはメディアを再セットしてください。☞ 「 メディアをセットする 」（P. 53）

確認すること	対処方法
メディアが波打ったり、浮いたりしていませんか？	ロールメディアの場合、波打っていない面までフィードしてから、お使いください。また付属されているNITOFLON[®]（ニトフロン）テープをプラテンに貼ることで改善することができます。  吸着穴をふさがないように貼り付けてください。 詳しくは、「プラテン上のメディアの搬送について」をご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html

画質不良が発生した

現象	対処方法
白スジ、カスレ、色の濃いスジが発生する （キャリッジスキャン方向）	1. メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。🔧 「メディア押さえの清掃」（P. 104）🔧 「プラテンの清掃」（P. 104） 2. 🔧 「ヘッドクリーニングをする」（P. 62）を実施してください。 3. 🔧 「フィード補正をする」（P. 63）を実施してください。 4. 🔧 「ワイパーの清掃」（P. 97）を実施してください。 5. 🔧 「キャップゴムの清掃」（P. 98）を実施してください。 6. 🔧 「キャリッジ底面の清掃」（P. 100）を実施してください。
文字がメディアフィード方向に2重、3重にズレが発生する	1. 🔧 「フィード補正をする」（P. 63）を実施してください。
往復プリントでズレが発生する	1. 🔧 「ドット位置補正をする」（P. 65）を実施してください。
プリント中にインク滴が落ちる	1. 🔧 「ワイパーの清掃」（P. 97）を実施してください。 2. 🔧 「キャップゴムの清掃」（P. 98）を実施してください。 3. 🔧 「キャリッジ底面の清掃」（P. 100）を実施してください。 4. 🔧 「ヘッドクリーニングをする」（P. 62）を実施してください。 5. オートメンテナンスを設定してください。🔧 「メンテナンスメニュー」（P. 81）
ノズル詰まりを解消したい	1. 🔧 「ヘッドクリーニングをする」（P. 62）を実施してください。 2. 🔧 「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 124）を実施してください。 3. 🔧 「ワイパーの交換」（P. 108）を実施してください。 4. 🔧 「ノズルリカバリーを登録する」（P. 82）を実施してください。

現象	対処方法
縦方向の色ムラが発生する	付属されているNITOFLO[®]（ニトフロン）テープをプラテンに貼ることで改善することができます。  吸着穴をふさがないように貼り付けてください。 詳しくは、「プラテン上のメディアの搬送について」をご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
ホワイの画像がメディアフィード方向にズレが発生する	1.  「フィード補正をする」（P. 63）を実施してください。

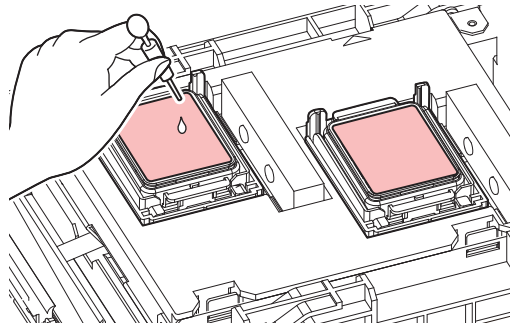
プリントヘッドのノズル洗浄

ヘッドクリーニング（ 「ヘッドクリーニングをする」（P. 62））を実行しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、プリントヘッドのノズル洗浄をしてください。

- 1** ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2** [ステーションメンテ] > [ノズル洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3** 正面カバーを開く。
- 4** ワイパーとブラケットを清掃する。
 - ・  「ワイパーの清掃」（P. 97）
- 5** 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに「キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]」と表示されます。
- 6** キャップゴムを清掃する。
 - ・  「キャップゴムの清掃」（P. 98）
- 7** 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに「洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]」と表示されます。

8 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

- スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



9 正面カバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

10 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

- プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。



- F/W ver.6.3より、放置時間を設定できるようになりました。

- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。



- ノズル洗浄を何回か繰り返しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

インクが漏れた

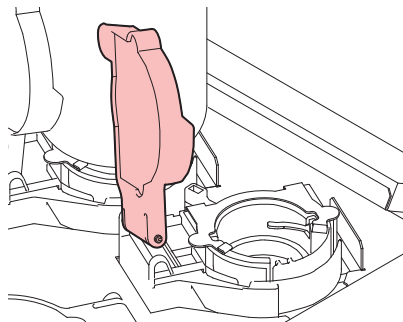


- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

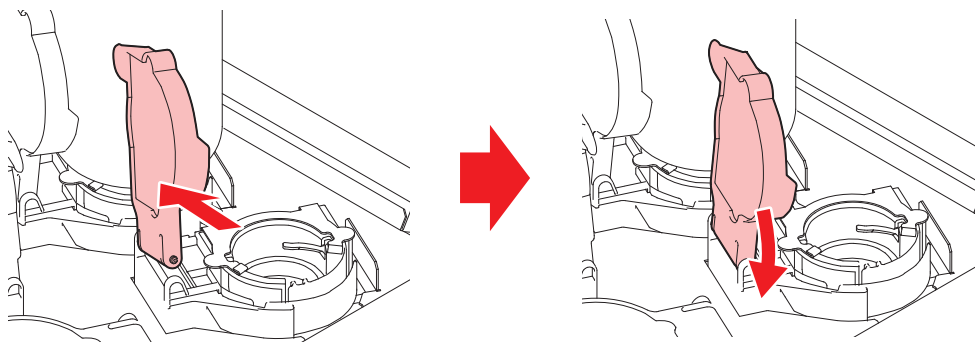
遮光カバーが外れてしまった

遮光カバーが外れたまま放置すると、タンク内部に光が射し込み、インクが硬化するおそれがあります。遮光カバーが外れたときは、次の手順で取り付けてください。

1 遮光カバーの片方の突起をタンクの穴に挿し込む。



2 手順1で挿し込んだ穴の方に押しながら、もう一方の突起を挿し込む。



5.2 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。

ローカルガイドンスでも確認することができます。🔍 「[本機の情報を表示する（ローカルガイドンス）](#)」（P. 28）

メッセージの内容に応じて、対処してください。記載されている処置をしても、再度メッセージが表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ワーニングメッセージ

メッセージ	原因	対処方法
MOTOR POWER OFF	・ カバーを開けたあとなど初期化動作によってモーターが停止している。	・ 初期化動作が終了するまでお待ちください。
NCU インク吸収材交換	・ インク吸収材の交換時期になった。	・ NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU交換	・ ノズル詰まり判定に異常を検出した。	・ NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU センサー感度低下	・ センサー感度が低下している。	・ NCUを清掃してください。🔧 「 NCUの清掃 」 (P. 99) ・ エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU 感度調整エラー H	・ センサー感度調整に失敗した。	
NCU 感度調整エラー L		
NCU接続異常	・ NCUの接続に異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
IC未登録	・ インクICチップが登録されていない。 ・ 登録されているインク残量がなくなった。	・ 新しいインクに交換してください。🔧 「 インクエンドが表示されたとき 」 (P. 37)
インクエンド M _ _ _ _ _	・ インクがなくなった。	・ 新しいインクに交換してください。🔧 「 インクエンドが表示されたとき 」 (P. 37)
インクニアエンド M _ _ _ _ _	・ インクの残量が残りわずかになっている。	・ 間もなくインクがなくなります。新しいインクを用意してください。
インクエラーあり	・ インクエラーが発生している。	・ インクエラーの内容を確認してください。🔧 「 インクエラー 」 (P. 129)
カバーオープン	・ カバーが開いている。	・ カバーを閉めてください。
クランプレバー下げてください	・ クランプレバーが上がっている。	・ クランプレバーを下げてください。🔧 「 正面 」 (P. 20)
プリントデータあり	・ プリント (RIP) データを受信している。	・ リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント一時中断	・ プリントを一時停止している。	・ リモートモードに移行して、プリントを再開します。もしくはデータクリアを実行して、プリントを中止します。

メッセージ	原因	対処方法
プリント不可/インクIC	使用できないインクICチップが使われている。	新しいインクとインクICチップに交換してください。
ホワイトインクボトルを振ってください	ホワイトインクは他のインクに比べて沈降しやすい性質があります。24時間ごとにメッセージを表示します。	インクボトルを外して、振ってください。🔧 「インクのメンテナンス」 (P. 96)
メディアがありません	メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。	- メディアをセットしてください。🔧 「メディアをセットする」 (P. 53) - メディアセンサーを清掃してください。🔧 「メディアセンサーの清掃」 (P. 103)
メディアをセットしてください	メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。	メディアをセットしてください。🔧 「メディアをセットする」 (P. 53)
メディア未検出	メディア幅を検出していない。	メディア幅を検出してください。🔧 「メディアをセットする」 (P. 53)
ワイパー交換	ワイピングのカウント値が規定量を超えた。	ワイパーを交換して、カウント値を初期化してください。🔧 「ワイパーの交換」 (P. 108)
ワイパー動作不良	ワイパーが正常に動作しない。	“ワイパー”と“ワイパー周辺”を清掃してください。🔧 「ワイパーの清掃」 (P. 97) - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
廃インクタンク交換	廃インクタンクのカウントが規定量（90%）を超えた。	オートメンテナンス機能が実行できません。以下を対処してください。 - 廃インクタンクの排液量を確認してください。🔧 「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」 (P. 117) - 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。🔧 「廃インクタンクを交換する」 (P. 118)
廃インクタンク確認	廃インクタンクのカウントが規定量（80%）を超えた。	- 廃インクタンクの排液量を確認してください。🔧 「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」 (P. 117) - 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。🔧 「廃インクタンクを交換する」 (P. 118)
環境温度が高い ** °C	室内の温度が高い。	仕様の範囲内に室温を調節してください。範囲外の場合は、良好なプリント結果を得られないおそれがあります。🔧 「設置上のご注意」 (P. 14)
環境温度が低い ** °C	室内の温度が低い。	
自動補正に失敗しました	- 白いメディアを使っていない。 - メディアが汚れている。 - メディアが浮いている。 - センサー周辺が汚れている。	- 白くて汚れのないメディアを使用してください。 - メディアが浮かないようにセットしてください。 - センサー周辺を清掃してください。🔧 「自動補正センサー（DAS）の清掃」 (P. 101) - 失敗を繰り返す場合は、手動で補正してください。[MENU] > [設定] > [フィード補正] or [ドット位置補正]

メッセージ	原因	対処方法
**日メンテナンスを行っていません	一定期間メンテナンスしていない	- メンテナンスしてください。☞「メンテナンス項目とタイミング」(P. 95) - [ステーションメンテ]>[キャリッジアウト]機能を使ってメンテナンスしたあとに、メッセージが非表示になります。

インクエラー

メッセージ	原因	対処方法
インクエンド	インクがなくなった。	新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 37)
インク ニアエンド	インク残量が残りがわずかになっている。	間もなくインクがなくなります。新しいインクを用意してください。☞「インクニアエンドが表示されたとき」(P. 37)
インクIC異常	インクICチップの情報にエラーが発生した。	- インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクICチップを登録する」(P. 43) - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 - 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 38)
インク カラー	充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。	正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。☞「インクICチップを登録する」(P. 43)
インク種類	充填されているインクタイプとインクICチップに登録されているタイプが異なる。	正しいインクタイプのインクICチップをセットしてください。☞「インクICチップを登録する」(P. 43)
期限切れ	インクが期限切れになった。	新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクを交換する」(P. 38)
期限切れ (1か月)	インクが期限切れから、1か月経過した。	
期限切れ (2か月)	インクが期限切れから、2か月経過した。	新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞「インクを交換する」(P. 38)

インクICチップ登録画面で表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処方法
Color : Magenta 期限 : 2021/01/01 注意 : 有効期限まであとXX日	インクの消費有効期限が迫っている。	期限内に使い切ってください。
登録済みICチップ	登録済みのインクICチップが挿し込まれた。	新しいインクICチップに交換してください。☞「インクICチップを登録する」(P. 43)

メッセージ	原因	対処方法
登録できません。 登録上限を超えています。	各スロットの登録上限の1本を超えた。	1本分を使い切ってから登録してください。
登録できません。 XXXXXXX（エラー名）	エラーにより、インクICチップを登録できない。	正しいインクICチップをセットしてください。☞「インクICチップを登録する」（P. 43）
インク期限オーバー	インクが期限切れから、2か月経過した。	新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 37）
インク種類	インクICチップに登録されているインクの種類が異なる。	正しいインク種のインクICチップをセットしてください。☞「インクICチップを登録する」（P. 43）
インク カラー	インクICチップに登録されているカラーが異なる。	正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。☞「インクICチップを登録する」（P. 43）
インクIC異常	インクICチップの情報にエラーが発生した。	- インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクICチップを登録する」（P. 43） - 主電源を切り、しばらくたってから、主電源を入れてください。 - 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 37）
インクを交換してください	インクエンド、インクニアエンドのエラーが発生している状態で、インクICチップを登録した。	新しいインクをセットしてから、インクICチップを登録してください。

エラーメッセージ

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
04	PARAM ROM	・メイン基板に異常を検出した。	・主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
108	HD THERMIS [1234]	・プリントヘッド温度制御に異常を検出した。	・主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
108	HD CONNECT [1234]	・プリントヘッドの接続に異常を検出した。	
122	CHECK:SDRAM	・SDRAMに異常を検出した。	・主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
128	HDC FIFO OVER	・プリントヘッド制御基板に異常を検出した。	
128	HDC FIFO UNDER		
129	バッテリー交換	・内臓時計の電池切れを検出した。	・販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
12a	HDC SPEED	・プリントヘッド制御に異常を検出した。	・主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
130	HD DATA SEQ		
148	E-LOG SEQ	・ログの制御に異常を検出した。	・主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
151	Main PCB V1R2	メイン基板の電源系統に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
152	Main PCB V2R5		
153	Main PCB V3R3		
154	Main PCB V05		
157	Main PCB VTT		
158	Main PCB V36-2		
15f	HEAD DRIVE HOT	COMドライブが高温になっている。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
16e	Main PCB V3R3B	メイン基板の電源系統に異常を検出した。	
171	NEW HEAD CONNECT	新しいプリントヘッドの接続を認識した。	
18a	Main PCB V_CORE	メイン基板の電源に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
18b	Main PCB V1R5B		
18c	Main PCB V12		
18e	FLS NOT COMP	プリントヘッド制御に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
18f	OFFSET START		
18f	OFFSET END		
19f	LED接続異常	UV-LED基板が認識できない。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
1d9	Main PCB V48-1	メイン基板の電源に異常を検出した。	
1e6	PRAM サイズ不足	メモリーサイズが不足している。	
201	コマンド エラー	プリント（RIP）データ以外のデータを受信した。もしくは受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	- データクリアを実行して、再度データを送信してください。 - USBケーブルの接続を確認してください。☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 32)
202	パラメータ エラー	受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	- 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞ 「USB接続についての注意事項」 (P. 32) - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
206	プリント モード エラー	プリントできないプリント条件のプリント（RIP）データを受信した。	RIP用ソフトウェアで、出力条件やプロファイルを変更してください。
20A	ドライバーバージョン	Mimakiドライバーのバージョンが古いため、プリントすることができない。	最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。 https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
304	USB INIT ERR	USBケーブルの接続に異常を検出した。	- USBケーブルの接続を確認してください。☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 32) - 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞ 「USB接続についての注意事項」 (P. 32)
305	USB TIME OUT		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
307	MCFDファイルIF エラー	・ プリント条件データへのアクセス中に異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
401	モーターアラーム X	・ Xモーターに過大な負荷がかかった。	1. メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 53) 2. 正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
402	モーターアラーム Y	・ Yモーターに過大な負荷がかかった。	
403	X オーバー カレント	・ Xモーターの過電流エラーを検出した。	
404	Y オーバー カレント	・ Yモーターの過電流エラーを検出した。	
406	ワイパー動作不良	・ ワイパー原点が検出できなかった。	1. ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 97) 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
44e	UV ユニット ファン異常	・ UV-LEDユニットのファンに異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
44f	巻取ロール センサ異常	・ 巻き取りユニットのセンサー軸に異常を検出した。	1. [マシン設定] > [線出/巻取ユニット] > [巻取ユニット] が、[ON]に設定されているかどうかを確認してください。 2. メディアのセット状態を確認してください。☞ 「ロールメディアをセットする」 (P. 56) 3. 巻き取りユニットのスイッチで動作するかどうかを確認してください。☞ 「巻き取りユニットについて」 (P. 54)
48a	巻取不良検出	・ 巻き取りユニットが巻き取りできない。	・ メディアのセット状態を確認してください。☞ 「ロールメディアをセットする」 (P. 56)
504	CLAMP UP	・ クランプレバーを上げた。	・ クランプレバーを下げてください。
505	メディアジャム	・ メディアジャムセンサーが反応した。	1. 接触したメディアを取り除き、きれいなメディアをセットし直してください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 53) 2. 正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。
509	HDC POSCNT	・ 位置制御に異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
50a	Y原点検出	・ Y原点検出（初期化動作）に異常を検出した。	
50c	メディア幅センサー確認	・ メディア幅の検出に異常を検出した。	1. メディアのセット位置を確認してください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 53) 2. メディア幅センサーを清掃してください。☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 103)

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
50f	L-SCALE BLACK	・ リニアスケールに異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
516	メディア位置 右過ぎます	・ メディアが範囲外にセットされている。	1. メディアのセット位置を確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 53) 2. メディア幅センサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 103)
525	イオナイザー異常	・ イオナイザーの内部回路が破損したか、異常放電が発生している。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
526	イオナイザー イオンレベル	・ 電極針の汚れや摩耗によって、イオン発生量が低下している。	・ イオナイザー取扱説明書を参照して、電極針を清掃してください。
527	イオナイザー コンディション	・ 周囲の金属によってイオンが吸収されるなど、設置環境の不安定さから除電能力に影響が出ている。	・ イオナイザーの近くに導体や別の除電器がある場合は、導体や除電器を遠ざけてください。
528	ポンプモーター センサ	・ ポンプセンサー検出に異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
549	LEnc. Count DIO	・ DIO基板へのリニアスケール配線に異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
602	インクエンド	・ インクがなくなった。	・ 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 38)
608	インク IC異常	・ インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクICチップを登録する」(P. 43) 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 3. 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 38)
64C	NCUエラー	・ 何らかのエラーにより機能が実行できない。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
650	NCU接続異常	・ NCUの接続に異常を検出した。	
651	NCU交換	・ ノズル詰まり判定に異常を検出した。	・ NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
652	NCU 検出エラー (HW)	・ ノズル詰まり判定に異常を検出した。	・ NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」(P. 99)
653	NCU 検出エラー (マーク)		
654	NCU センター位置検出エラー	・ 吐出位置の調整に失敗した。	
655	NCU 吐出位置検出エラー		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
656	NCU SN調整エラー	・ センサー感度調整に失敗した。	
657	NCU インク吸収材交換	・ NCUのインク吸収材が満杯になった。	・ NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
658	NCU センサー感度低下	・ センサー感度が低下している。	・ NCUを清掃してください。  「NCUの清掃」(P. 99)
65b	NCU感度調整エラー H	・ センサー感度調整に失敗した。	・ エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
65c	NCU感度調整エラー L		
715	インクヒータ サーミスタ	・ インクヒータのサーミスタに異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
716	インクヒータ温度		
717	インクヒータ断線		
71a	UV-DRV ヒューズ	・ UV-DRV基板ヒューズが切れた。	
901	実行できません	・ 何らかのエラーにより機能が実行できない。	・ エラーの内容を確認してください。
902	未作図 データ アリ	・ プリント (RIP) データを受信している。	・ リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
90d	ヘッド 選択 ナシ	・ プリントヘッドに異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
90f	プリント エリア不足	・ プリント領域が不足している。	・ メディア幅が広い、もしくはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 ・ 原点移動により、プリントできる領域が狭くなっている場合は、原点を移動してプリントできる領域を広げてください。
b0f	DIO PCB Uvpow	・ UV-DRV基板の電源電圧に異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
b1b	BaselO PCB Vpow-s	・ Base IO基板の電源に異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
b1c	BaselO PCB V24		
b1d	BaselO PCB V24-A		
b21	SLIDER1 PCB V3R3	・ スライダー基板の電源に異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
b22	SLIDER1 PCB V2R5		
b23	SLIDER1 PCB V1R8		
b24	SLIDER1 PCB V1R2		
d09	HD MEMORY [1234]	・ ヘッド内蔵メモリーに異常を検出した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

SYSTEM HALT

エラー番号	メッセージ	対処方法
406	WIPER ORG	1. ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。🧽 「ワイパーの清掃」(P. 97) 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。



- その他のSYSTEM HALT番号が表示された場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

第 6 章 付録



この章では...
本機の仕様など説明しています。

6.1 仕様

項目		内容
プリントヘッド	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	ヘッド（420ノズルx4列）を2つ搭載（スタガ配列）
	解像度	Y：360dpi、720dpi、1,200dpi X：900dpi、1,200dpi
インクセット	4-color	C, M, Y, K
	4-color, W	C, M, Y, K, W
	4-color, W, CL	C, M, Y, K, W, CL
メディア	種類	ラベル原紙（紙ベース）、塩ビシート（ラミネート加工を含み、厚さ0.25mm以下）、蛍光シート、反射シート（高輝度反射シートは除く）
	最大プリント幅 ^{*1}	1,610mm
	最大幅	1,620mm
	最小幅	210mm
	厚さ	1.0mm以下
	ロール外径 ^{*2}	ø250mm以下（紙メディア）、ø210mm以下（その他）
	ロール重量 ^{*2, *3}	45kg以下
	紙管内径 ^{*4}	2インチ、または3インチ
	プリント面	外面、内面
	巻き終り処理	紙管にテープ止め、または弱粘着
プリントマージン	左右	15.0mm（デフォルト値）、最小値：左右 5mm
	前端	120mm
	後端	150mm
距離精度 ^{*5}	絶対精度	±0.3mm、または指定距離の±0.3%の大きい方
	再現性	±0.2mm、または指定距離の±0.1%の大きい方
直角度		±0.5mm/1,000mm
メディアスキュー		5mm以下/10m
プリントギャップ		手動2段階（2.0、2.5mm）
メディア裁断		裁断精度（段差）0.5mm以下
原点位置合わせ		LEDポインター式
インク供給		インクボトル
メンテナンス液供給		なし
廃インクタンク		ボトル式（2,000ml）
巻き取りユニット		内巻き、外巻き 切り替え可能
メディアヒーター		なし
NCU（ノズル詰まり検出）		搭載
UV装置		空冷LED UV照射装置2基
インターフェイス	データ転送機能	USB 2.0 Hi-speed、Ethernet 1,000BASE-T

項目		内容
	メール機能	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
コマンド		MRL-V
言語		日本語、英語、中国語
騒音	待機時	58dB以下（FAST-A、前後左右1m）
	連続動作時	65dB以下
	不連続動作時	75dB以下
適合規格		VCCI-classA、FCC-classA、IEC62368-1 準拠ETL、CE マーキング（EMC 指令、低電圧指令、機械指令、RoHS指令）、CB 認証、REACH、EnergyStar、EACマーク、RCMマーク
電源仕様 ^{*6}		単相AC100-120V±10%/12A、単相AC200-240V±10%/8A、50/60±1Hz
消費電力	最大 ^{*7}	500W以下
	最小 ^{*8}	4.5W以下
設置環境 ^{*9}	使用可能温度	20 - 30°C
	相対湿度	35 - 65%Rh（結露なきこと）
	精度保証温度	20 - 25°C
	温度勾配	±10°C/h 以下
	粉塵	0.15mg/m ³ （オフィス相当）
	動作最高高度	2,000m
外形寸法 ^{*10}	幅	2,775mm（2,912mm）
	奥行き	700mm（750mm）
	高さ ^{*11}	1,475mm（1,041mm）
重量 ^{*10}		167kg（214kg）

*1. 設定メニューのマージンを左右を最小値（5mm）に設定

*2. メディア巻き取り後の外径および重量

*3. 重量によるたわみがない範囲

*4. 高速プリント時は3インチのみ

*5. メディアの伸縮、セット初期蛇行は除く

*6. オプション類除く

*7. プリントモードによって異なる

*8. スリープ時

*9. 範囲外の環境ではインク吐出安定性が低下する

*10. （ ）内は、梱包時のサイズ

*11. インクボトル除く

6.2 LICENSE Library (EPL5 StarterWare)

Mimaki printer Firmware

Copyright ©2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - <http://www.ti.com/>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

A	
ACインレット	21
D	
DAS	78, 95, 101
E	
[END/POWER]キー	24, 25, 30
[ENTER]キー	25
F	
[FUNCTION]キー	25, 27
J	
[JOG]キー	25
L	
LANGUAGE	86
LANケーブル	32
LANポート	21
M	
MAPS	80
Mimakiドライバー	35
N	
NCU	22, 95, 99
R	
RasterLink	35, 36, 67, 68, 79
S	
[SEL]キー	25
SYSTEM HALT	25
U	
USBインターフェースケーブル	32
USBポート	21
UV-LEDランプ	95, 101
UVモード	80
UVランプ	91

V

VCCI.....	5
-----------	---

い

イオナイザー.....	80
イベントメール.....	87, 88
インクICチップスロット.....	21
インクICチップ.....	43, 44, 129
インクエラー.....	26
インクエンド.....	37
インク供給ユニット.....	20
インク残量.....	26
インク充填.....	82
インクニアエンド.....	37
インクの状態.....	26
インク排出経路.....	95, 102
インクふき取りフィルター.....	20, 21
印刷中チェック.....	90
インストールガイド.....	35, 36
インターロック.....	16
インレット.....	29

え

エラー履歴.....	91
エラー.....	25, 127

お

オートクリーニング.....	79
オートパワーオフ.....	85
オートパワーオン.....	85
オートメンテナンス.....	81

か

確認フィード.....	86
カット前フィード.....	88
カット溝.....	23
カラープロファイル.....	35

き

キープザー.....	86
キャッピングステーション.....	20, 22
キャップ吸収材.....	110

キャップ	95, 98, 109
キャリッジアウト	81
キャリッジの移動	25
キャリッジ	20, 22, 95, 100
キャンセル	25
吸着ファン	79

く

クランプレバー	20, 21
クリーニング後チェック	80
繰り出しユニット	21
グリットローラー	20, 22

け

警告ラベル	17
-------------	----

こ

コンセント	29
-------------	----

し

時刻設定	86
自動ノズルリカバリー	90
自動補正	78, 101, 128
自動リモート	88
遮光カバー	38
受信障害	5
受信バッファ	70
主電源スイッチ	21, 24, 29
使用時間	91
使用状況	91
情報メニュー	91
シンボルマーク	6

す

スイッチングハブ	33
ステーションメンテ	81
ステータスランプ	25
スムージングレベル	80

せ

設置スペース	15
設定メニュー	78

センサー感度 127, 134

そ

操作パネル 20, 25

た

高さ調整レバー 51

単位 / 温度 86

単位 / 長さ 86

て

ディスプレイ 25, 26

テストプリント 25, 60

電源ケーブル 29

電源プラグ 29

電波障害自主規制 5

と

吐出不良 122

ドット位置補正 27, 49, 65, 78

トルクリミッター 54

ね

ネットワーク 86

の

ノズル洗浄 81, 124

ノズルチェックメニュー 90

ノズルリカバリ 81

ノットレディモード 26

は

バージョン 91

廃インクタンク 20, 82, 91, 95, 117, 118

廃インク量補正 118

判定条件 90

ひ

引き戻し印刷 63

引き戻し 78

表示言語 86

ピンチローラー 20, 22, 113

 い

フィード速度	79
フィード補正	27, 49, 63, 78
ブラテン右端まで移動	81
ブラテン	20, 23, 95, 104
プリント原点	69
プリント長	91
プリント面積	91

 え

ページ間余白	86
ヘッドクリーニング	25, 62
ヘッド高さ	51

 ほ

保管洗浄	81, 105
ボトルキャップ	38, 39, 41
ホワイトインク	60
ポンプチューブ洗浄	81, 102

 ま

マージン	79
巻取スイッチ	85
巻き取りユニット	20, 54
巻取ユニット	85
マシン設定メニュー	85

 め

メディア押さえ	95, 104
メディア検出	85
メディア残量	85
メディアセンサー	21, 23, 95, 103
メディアハンガー	56
メディアフィード	25
メディア	53
メニューモード	26
免責事項	5
メンテスペースまで移動	81
メンテナンスカバー	20
メンテナンスメニュー	81

 よ

余白フィード方式..... 86

り

リスト..... 91

リファレンスガイド 68

リモートモード 25, 26

ろ

ローカルガイダンス 28

ローカルモード 25, 26

ロールホルダー 56

ロールメディア 56

ロジカルシーク 78

わ

ワイパー交換..... 81, 108

ワイパー 95, 97, 108

ワイピング..... 91

取扱説明書

2023年10月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

